

前橋市地域公共交通計画 (現況・課題編)

中間報告

前 橋 市
令和 7 年 2 月

[目 次]

1 計画の概要	1
1-1 計画策定の目的及び背景	1
1-2 計画の位置付け	2
1-3 計画対象	2
1-4 計画期間	2
2 地域公共交通を取り巻く現状	3
2-1 地域特性	3
2-2 地域公共交通の現状	38
2-3 各種調査結果の概要	60
2-4 全国的な公共交通事業者の現状	61
2-5 上位・関連計画において公共交通に求められる役割	63
3 前橋市の地域公共交通を取り巻く現状・課題の整理（中間） . . .	82

1 計画の概要

1-1 計画策定の目的及び背景

人口減少や少子高齢化、マイカー依存、ライフスタイルや移動ニーズの多様化等により、鉄道や路線バスをはじめとする地域公共交通の利用者は減少傾向にあります。また、近年、地域公共交通を担う運転者不足が深刻化していることや、高齢運転者による交通事故の社会問題化などにより、誰もが利用しやすい地域公共交通サービスとして、住民の移動手段の確保が切実な課題となっています。

このような中、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」が令和2年11月に施行され、まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの形成や地域における輸送資源を総動員することにより、持続可能な移動サービスを確保することの重要性が示されました。

また、法定計画の作成を努力義務化し、乗合バスの運行費等に対する国庫補助制度を法定計画と連動化させています。

本市の地域公共交通は、前橋駅や新前橋駅周辺を中心として、民間事業者が運行する鉄道（JR 両毛線、JR 上越線、上毛電気鉄道）や路線バス（シャトルバス、マイバス含む）、高速バス、タクシーのほか、デマンドバス（一部エリア）などが運行しており、市民の日常生活の移動手段としての役割を担っています。

今後、本市でも高齢者人口の増加が見込まれている中、公共交通の重要性は増していくことが想定されますが、乗務員の不足や燃料費の高騰など、交通事業者を取り巻く環境は厳しい状況であり、その維持が大きな課題となっています。

本市では、交通環境を整備し、市内外を様々な手段で安全で快適に移動できる生活の実現を目指している中、まちづくりにおいて、医療・福祉・商業などの都市機能を有するエリアを公共交通でつなぎ、その沿線に居住を誘導することで、誰もが快適で暮らしやすいまちを実現し、市内人口の維持に交通の観点から寄与するなど、まちづくりと連携した地域公共交通を形成する必要があります。

こうした状況を踏まえ、令和3年6月に策定した「前橋市地域公共交通計画」が令和7年度をもって目標年次を迎えることから、交通に関わる様々な主体が相互に協力して、本市にとって持続可能な地域公共交通網を形成し、公共交通サービスの維持確保を図ることを目的として、新たな地域公共交通のマスタープランとなる「次期前橋市地域公共交通計画」を策定します。

1-2 計画の位置付け

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条第1項に規定する地域公共交通計画として策定します。

市の上位計画である「第七次前橋市総合計画」や関連計画である「前橋市都市計画マスタープラン」、「前橋市立地適正化計画」などとの整合を図り、本市の地域公共交通のマスタープランとして位置付けます。

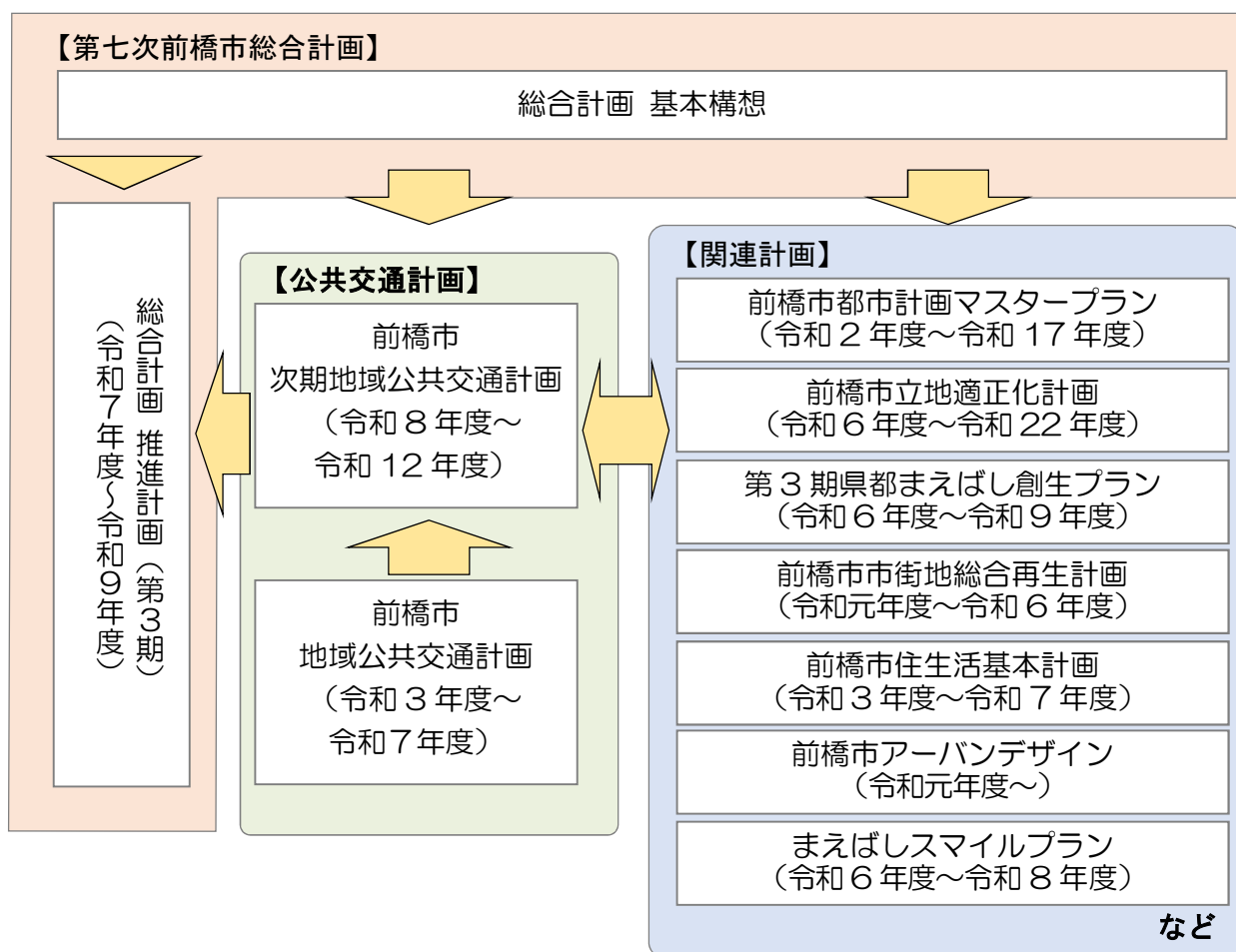


図 計画の位置付け

1-3 計画対象

本計画の区域は、前橋市全域とします。なお、近隣市町を結ぶ広域交通については、関係自治体や交通事業者と連携を図ります。

1-4 計画期間

計画期間は令和8年度～令和12年度の5年間とします。ただし、社会情勢やまちづくりに大きな変化が生じた場合は、適宜、改定を行います。

2 地域公共交通を取り巻く現状

2-1 地域特性

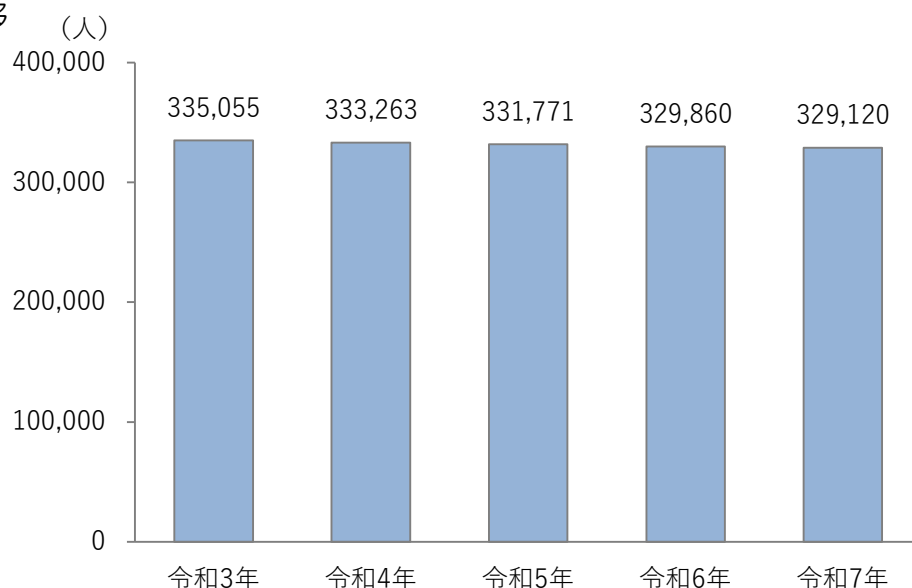
2-1-1 人口動態

(1) 人口推移

本市の人口は、令和 7 年 1 月 1 日現在で約 330,000 人となっています。5 年前の令和 2 年に比べて、約 7,000 人減少しています。

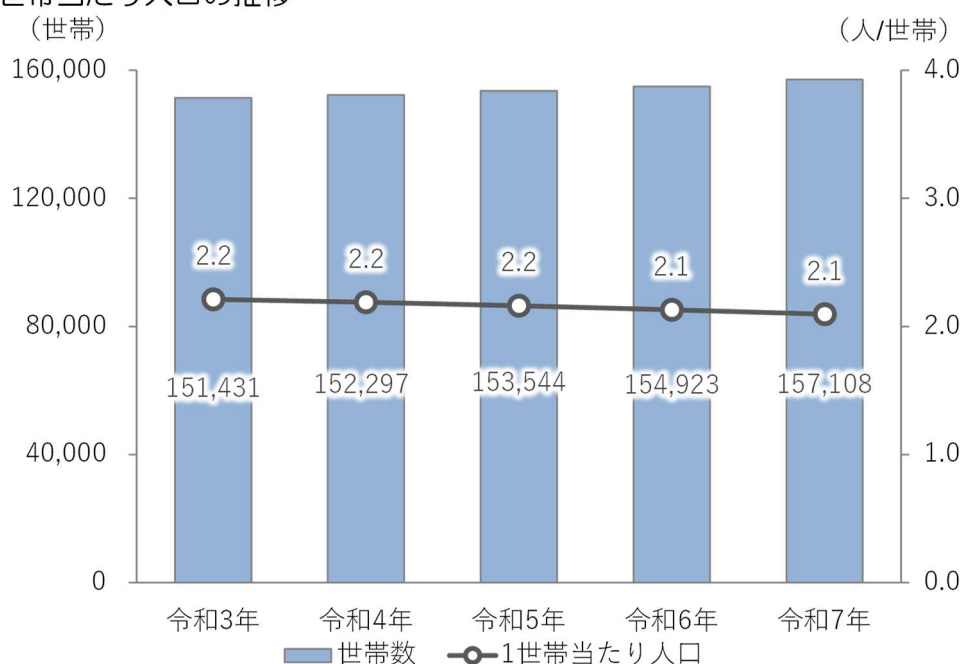
本市の世帯数は、令和 7 年 1 月 1 日現在で約 157,000 世帯となっています。5 年前の令和 2 年に比べて、約 7,000 世帯増加しており、令和 5 年の 1 世帯当たり人口は 2.1 人です。

■人口の推移



資料：住民基本台帳（令和 7 年 1 月 1 日現在）

■世帯数及び 1 世帯当たり人口の推移



資料：住民基本台帳（令和 7 年 1 月 1 日現在）

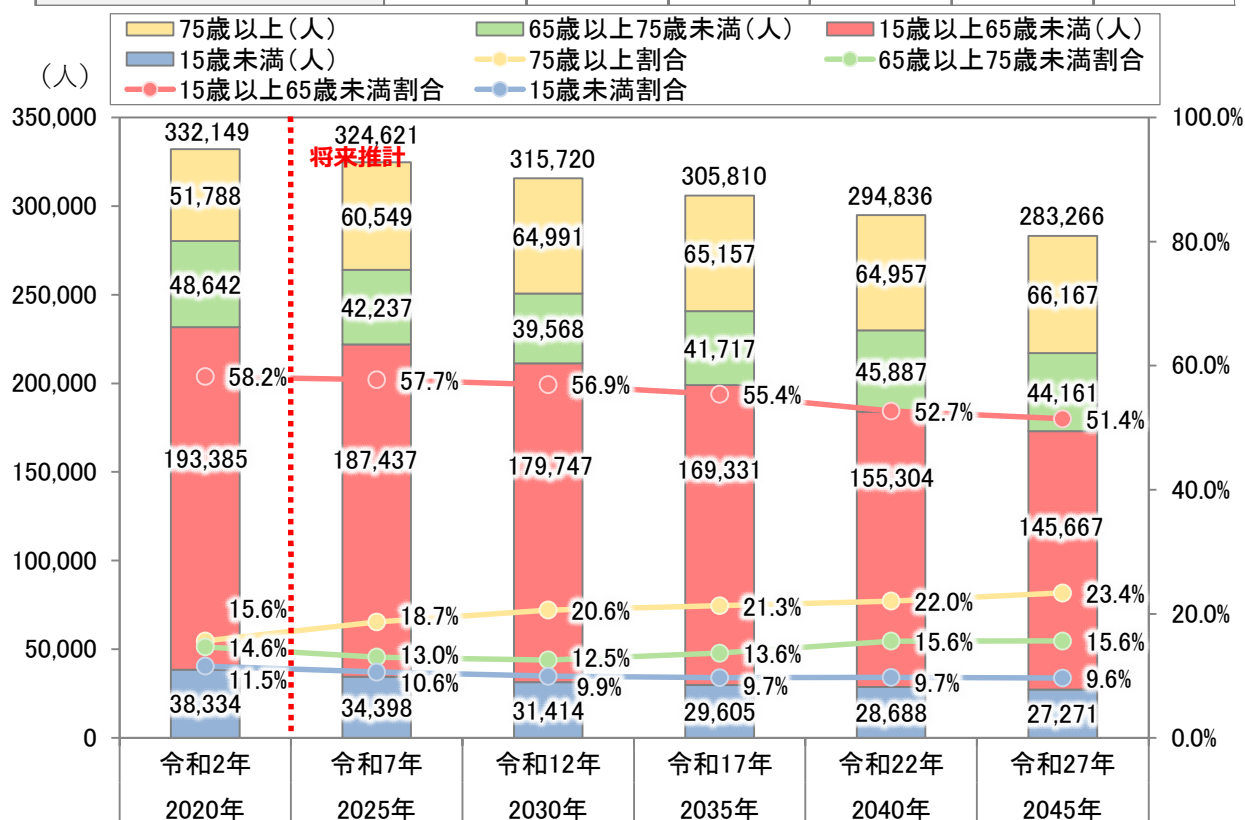
(2) 将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、本市の人口は、令和2年の約332,100人から令和27年には約283,300人にまで減少することが見込まれています。

15歳未満の年少人口割合は、令和2年の11.5%から令和27年の9.6%に減少、15歳以上65歳未満の生産年齢人口割合は、58.2%から51.4%にまで減少、65歳以上の老年人口割合は、30.2%から38.9%に増加する見込みとなっています。

■人口の推計（目標人口）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
15歳未満（人）	38,334	34,398	31,414	29,605	28,688	27,271
15歳以上65歳未満（人）	193,385	187,437	179,747	169,331	155,304	145,667
65歳以上（人）	100,430	102,786	104,559	106,874	110,844	110,328
65歳以上75歳未満（人）	48,642	42,237	39,568	41,717	45,887	44,161
75歳以上（人）	51,788	60,549	64,991	65,157	64,957	66,167
総人口（人）	332,149	324,621	315,720	305,810	294,836	283,266
15歳未満割合	11.5%	10.6%	9.9%	9.7%	9.7%	9.6%
15歳以上65歳未満割合	58.2%	57.7%	56.9%	55.4%	52.7%	51.4%
65歳以上割合	30.2%	31.7%	33.1%	34.9%	37.6%	38.9%
65歳以上75歳未満割合	14.6%	13.0%	12.5%	13.6%	15.6%	15.6%
75歳以上割合	15.6%	18.7%	20.6%	21.3%	22.0%	23.4%

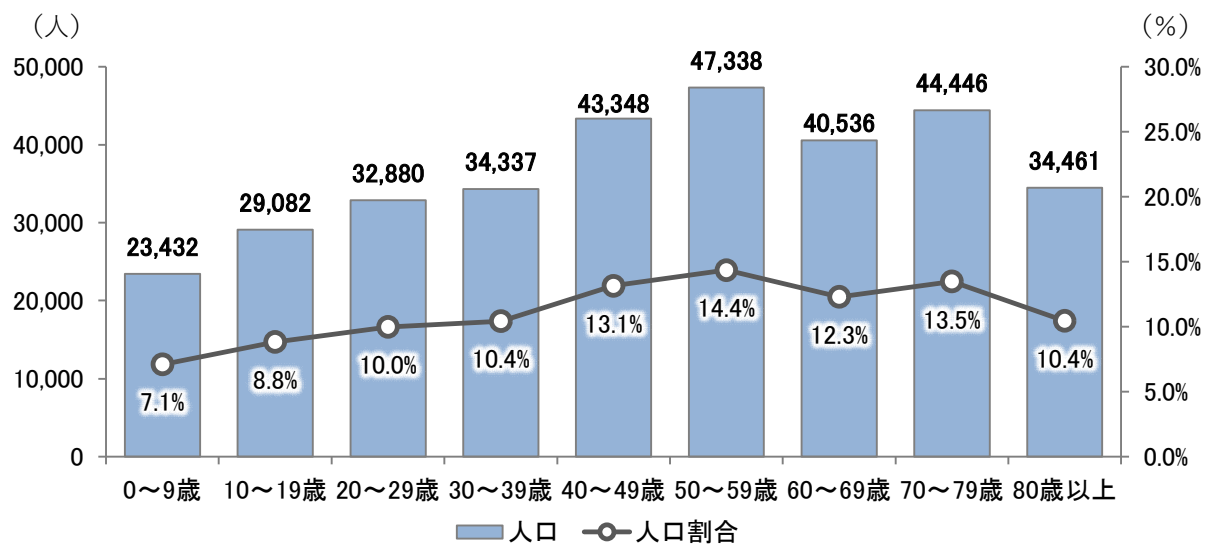


資料：令和2年国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所（各年10月1日現在）

(3) 年齢別人口

令和6年1月1日現在の年齢別人口を見ると50歳代が約47,300人、70歳代が約44,400人と多くなっています。60歳以上の人口は、全人口の36.2%となっています。

■年齢別人口

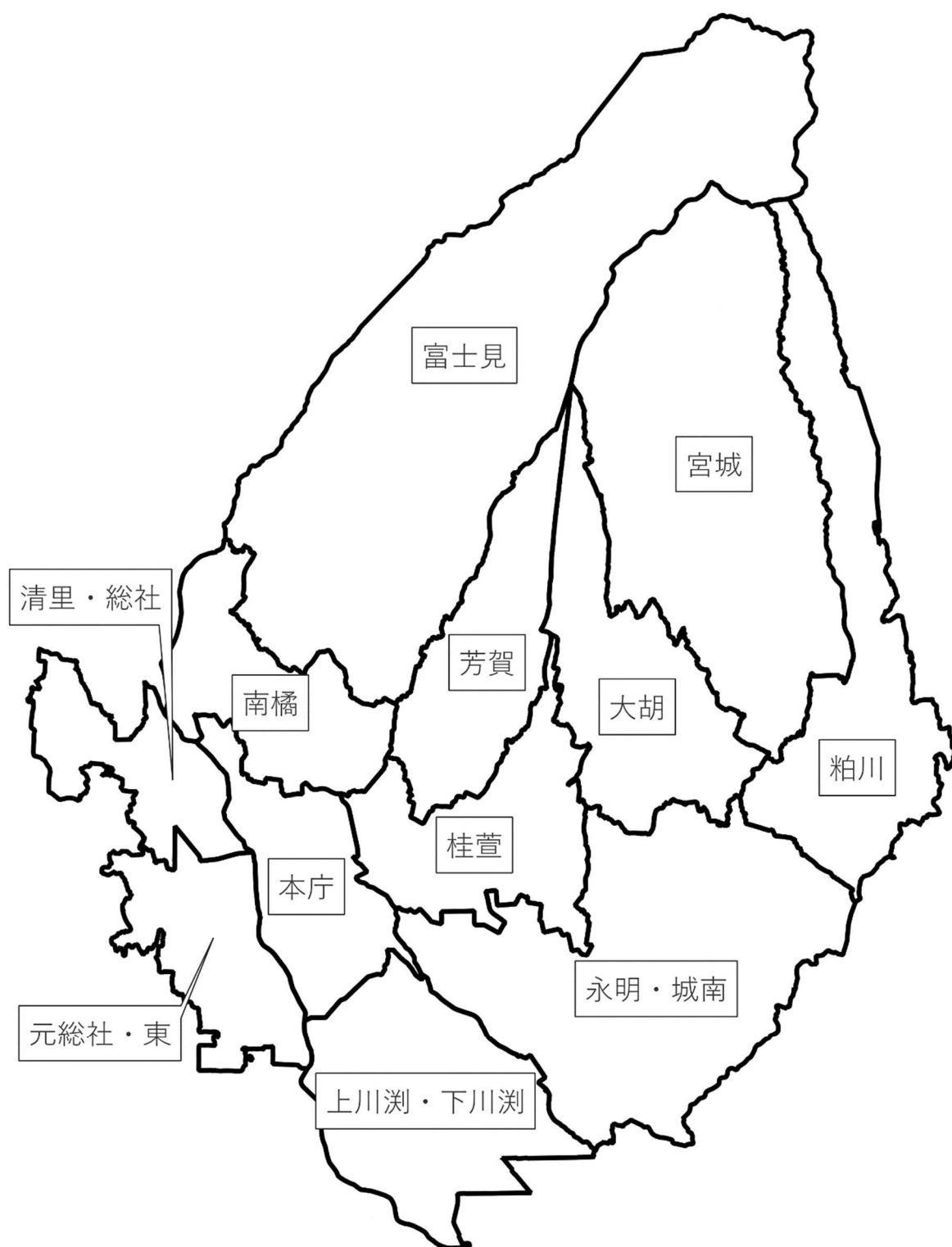


資料：住民基本台帳（令和6年1月1日現在）

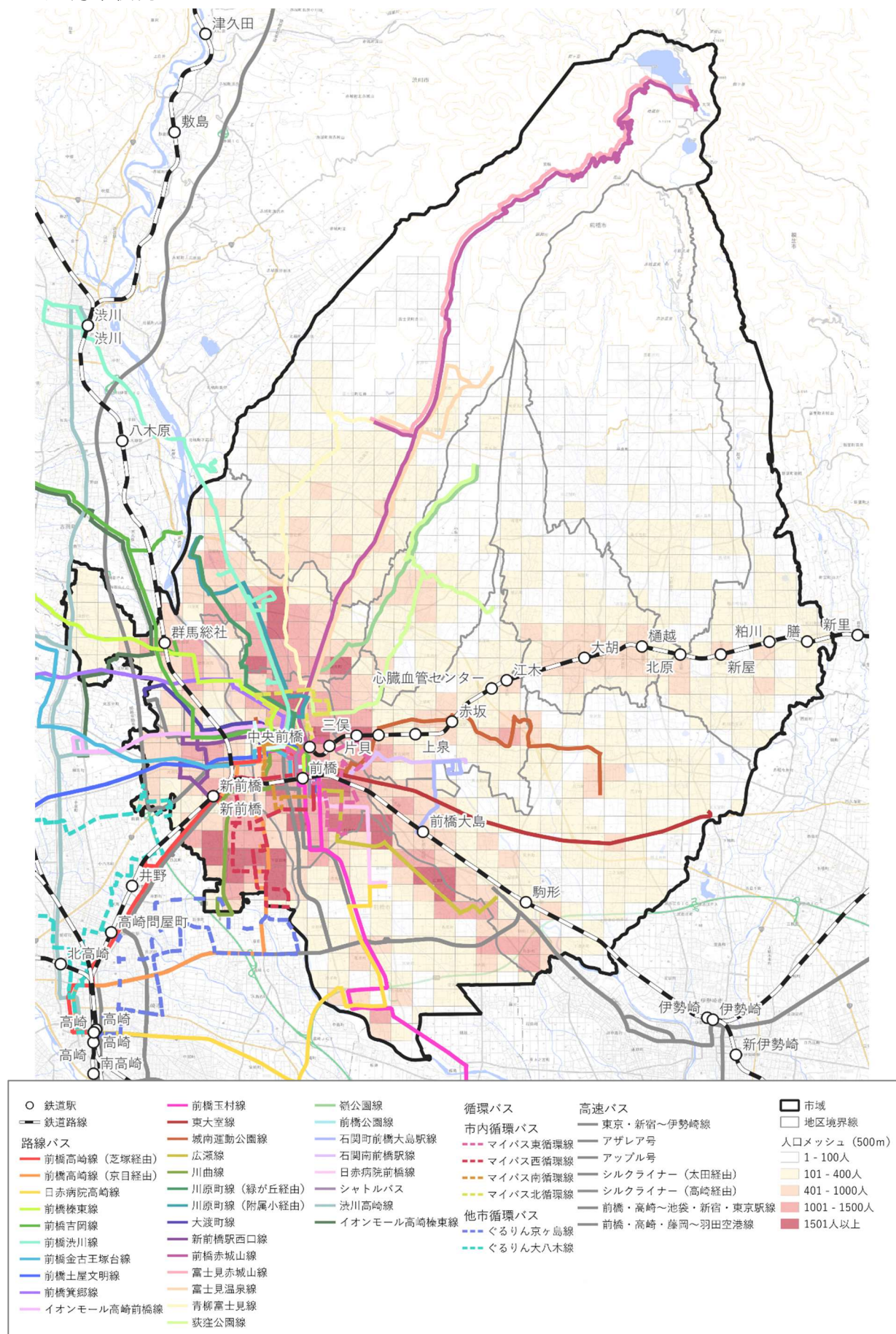
(4) 地区別人口および高齢化率

集計中

■地区区分図



■人口分布状況



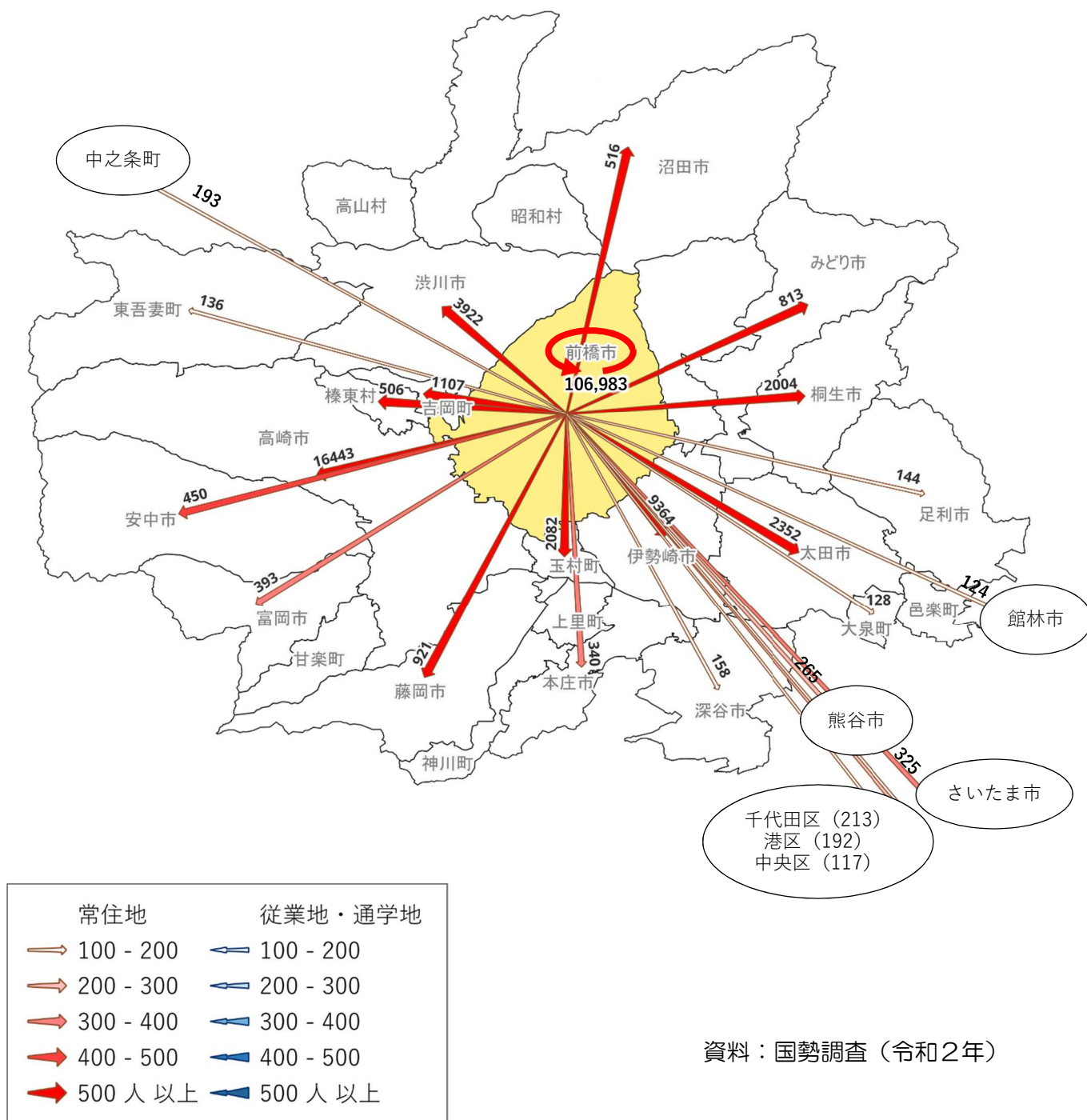
2-1-2 通勤および通学における流入出

(1) 通勤流動（常住地）

市内に通勤している人が最も多く 106,983 人となっています。

市外への通勤を見ると、高崎市（16,443人）、伊勢崎市（9,364人）が多くなっています。

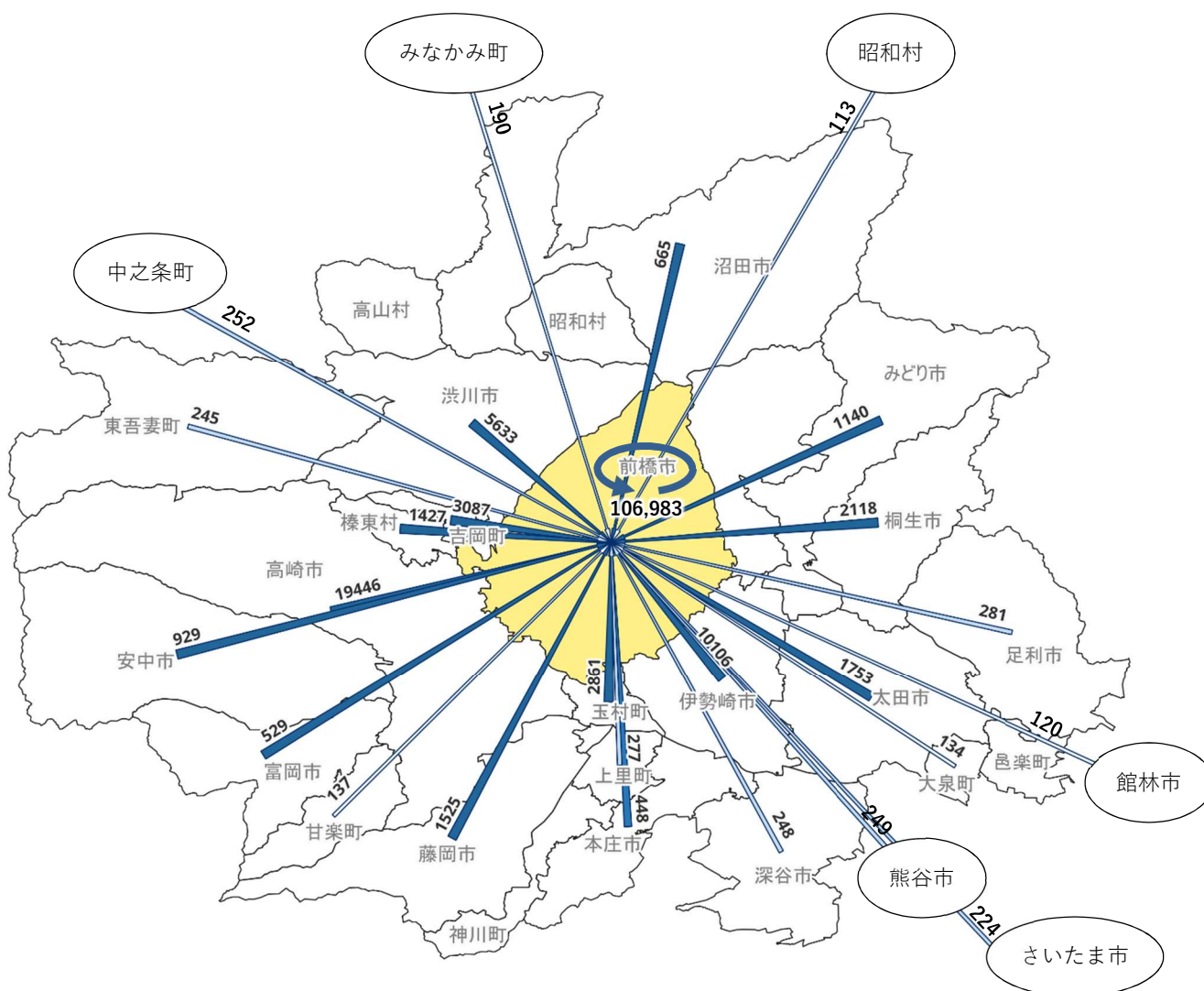
■前橋市から他市町への通勤流動図



(2) 通勤流動（流入）

市外からの通勤を見ると、高崎市（19,446人）、伊勢崎市（10,106人）が多くなっています。

■他市町から前橋市への通勤流動図



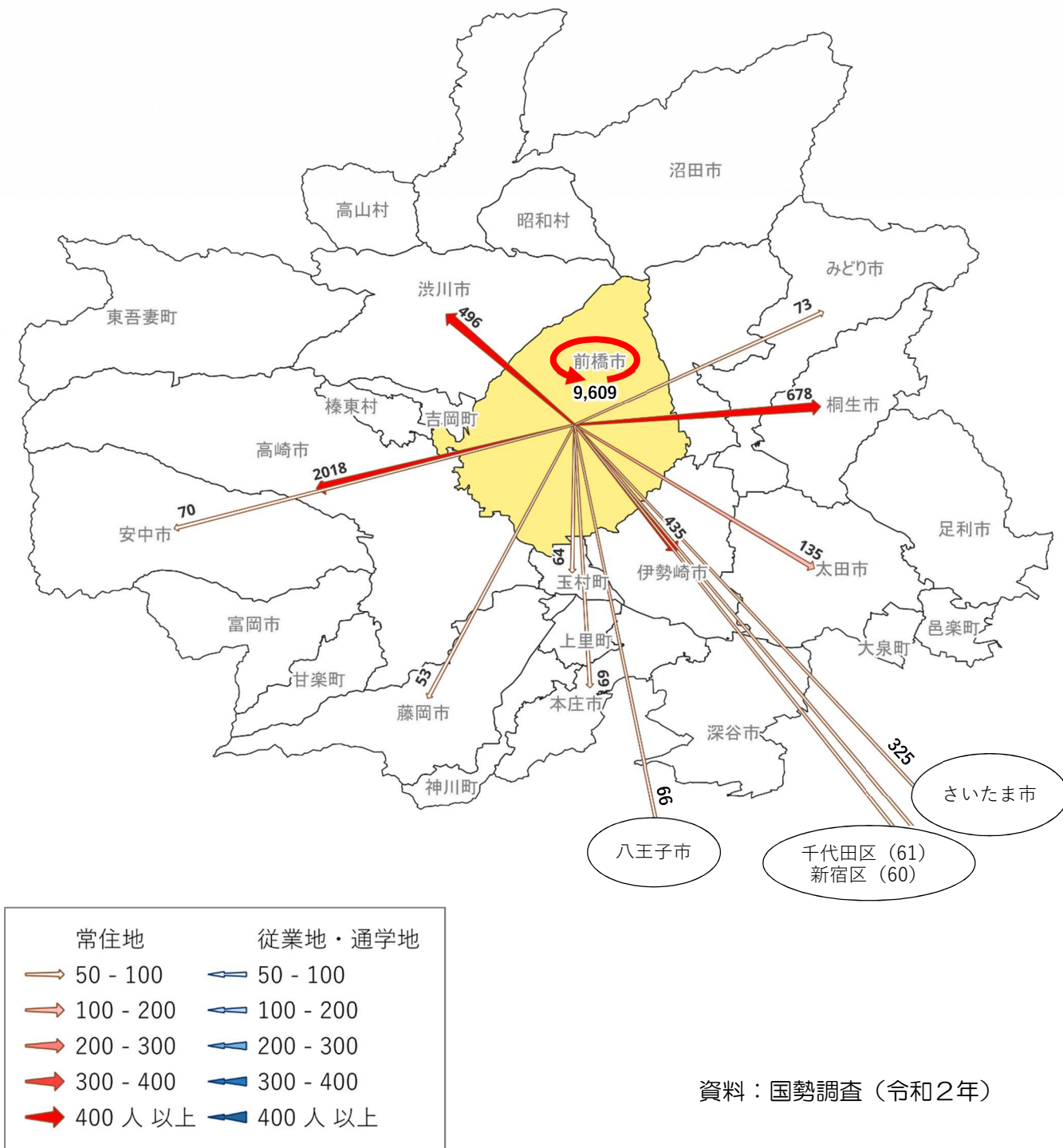
資料：国勢調査（令和2年）

(3) 通学流動（流出）

市内に通学している人が最も多く 9,609 人となっています。

市外への通学を見ると、高崎市（2,018人）、桐生市（678人）が多くなっています。

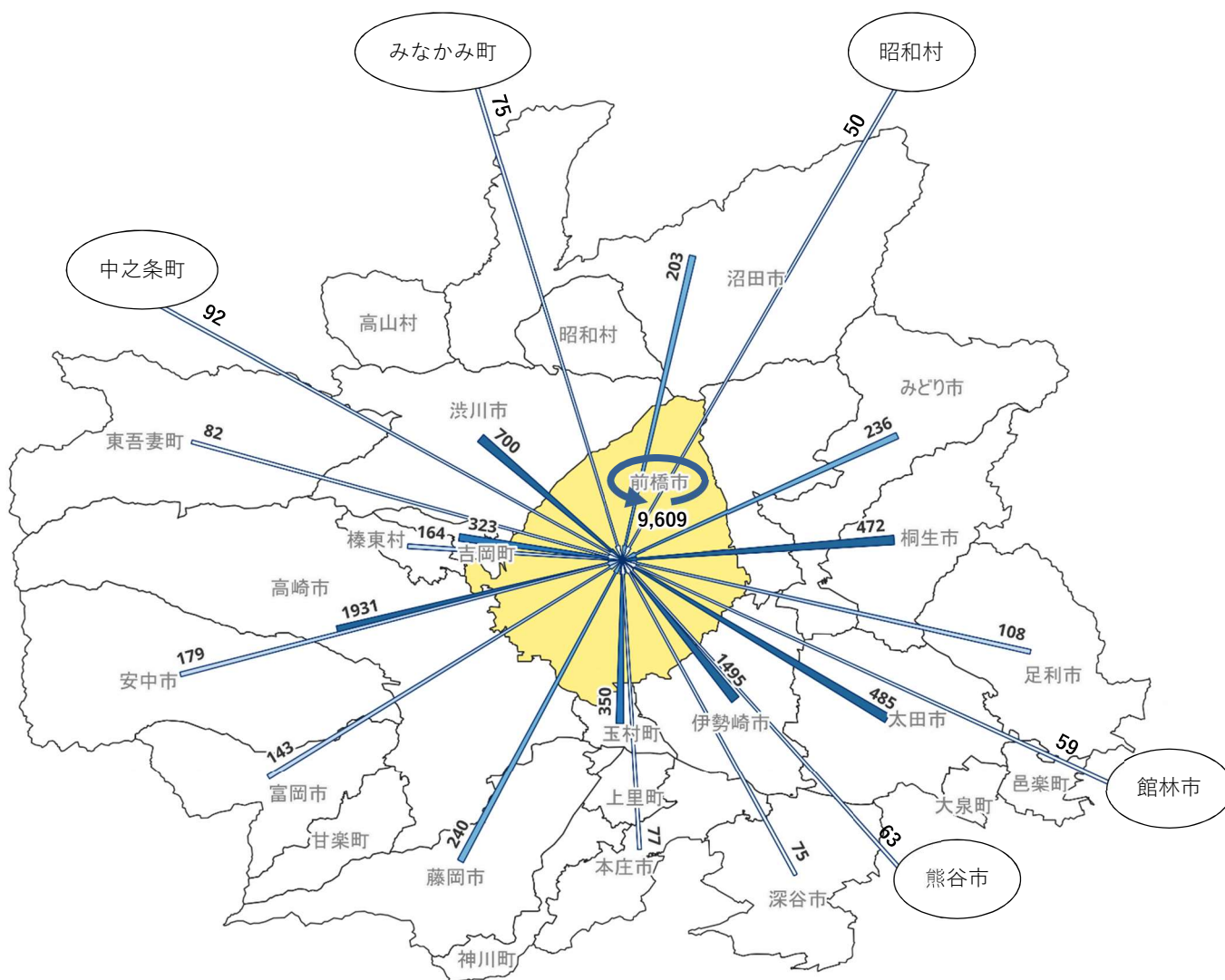
■前橋市から他市町への通学流動図



(4) 通学流動（流入）

市外からの通学を見ると、高崎市（1,931人）、伊勢崎市（1,495人）が多くなっています。

■他市町から前橋市への通学流動図



資料：国勢調査（令和2年）

主要施設の立地状況を見ると、清里・総社地域、南橋地域、元総社・東地域、本庁地域を中心に施設の立地が多くなっています。

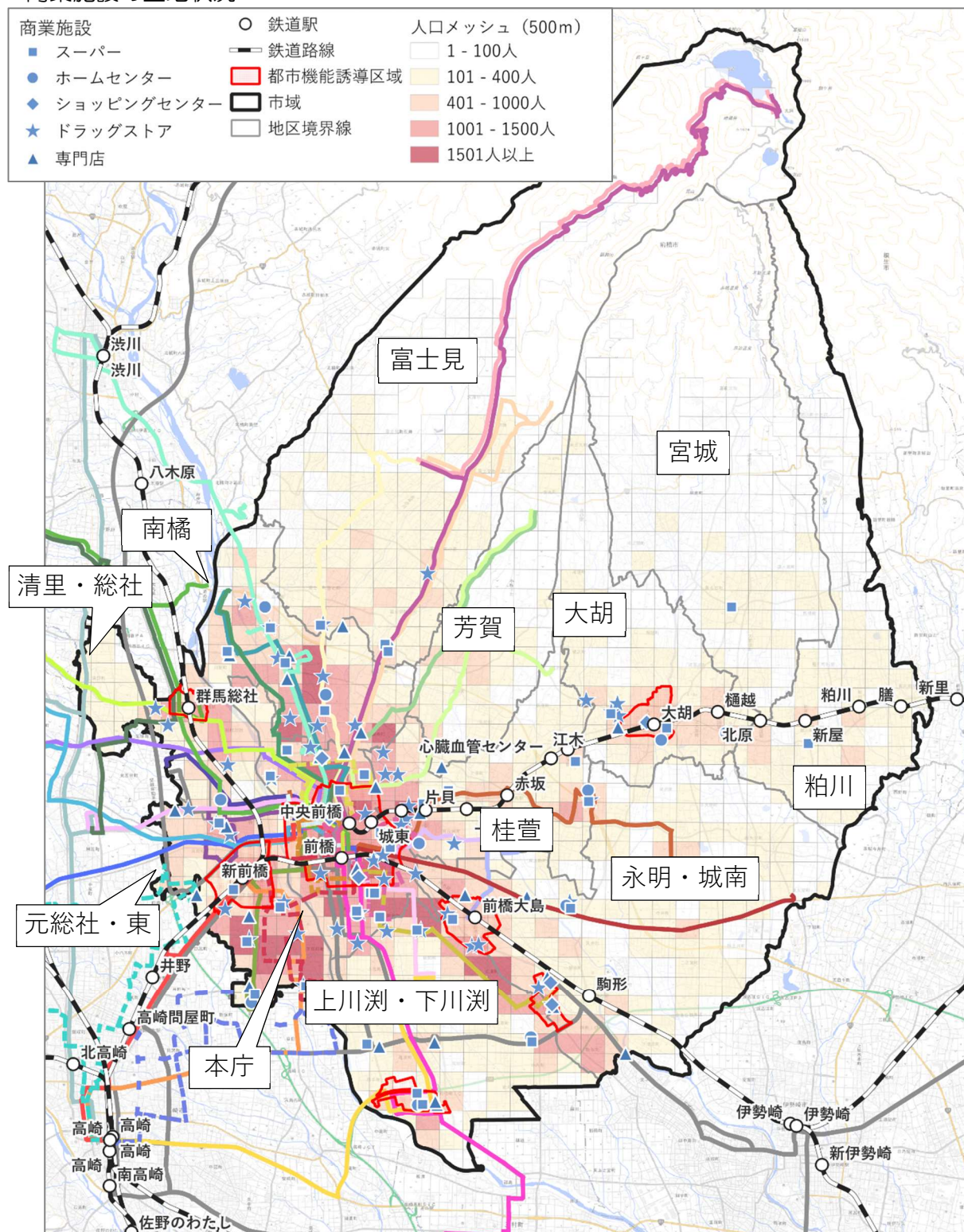
一方で、富士見地域や宮城地域のように、市の北部は施設の立地が少なくなっています。

[illegible]

(1) 主な商業施設

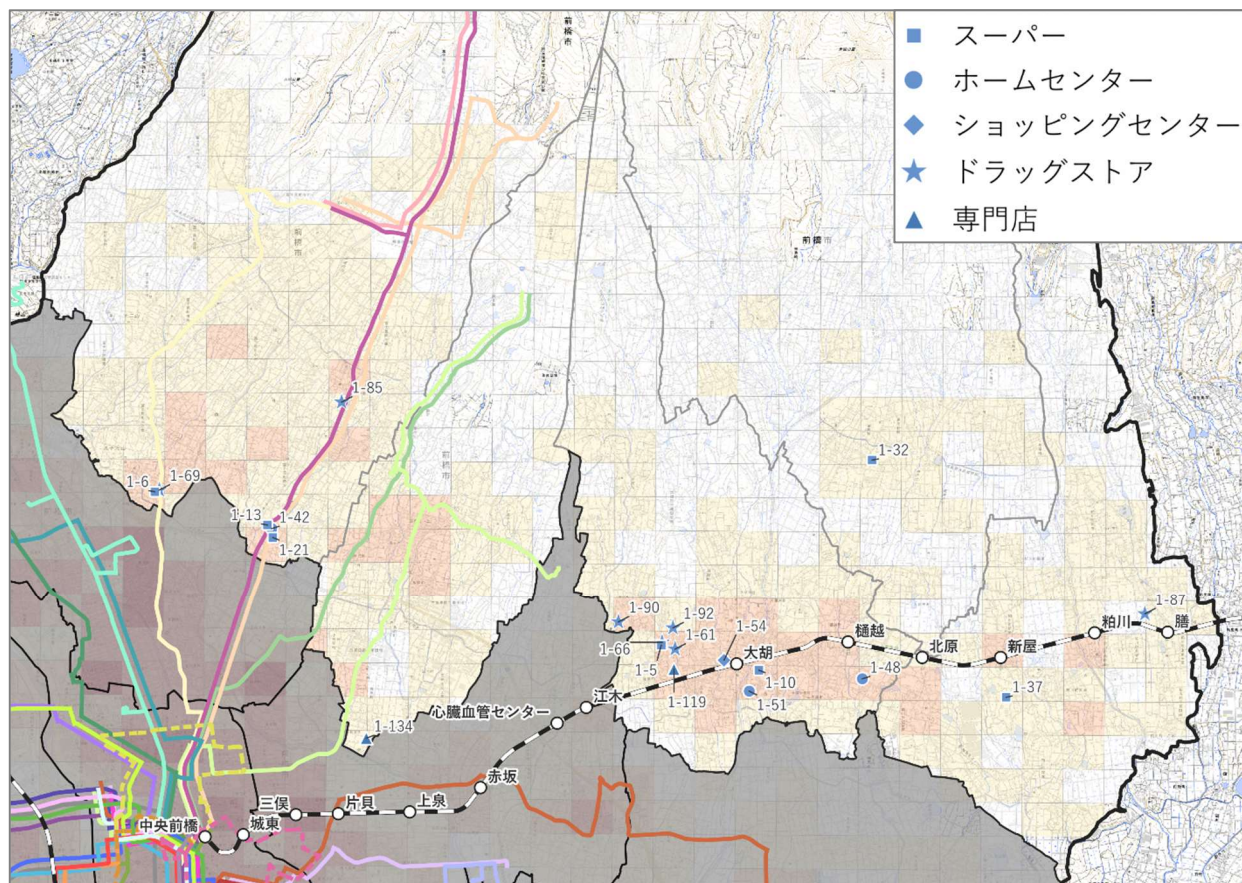
商業施設は、南橘地域、元総社・東地域、本庁地域に特に多く、市の東側は上毛電気鉄道沿線の居住区域に立地している状況にあります。

■商業施設の立地状況

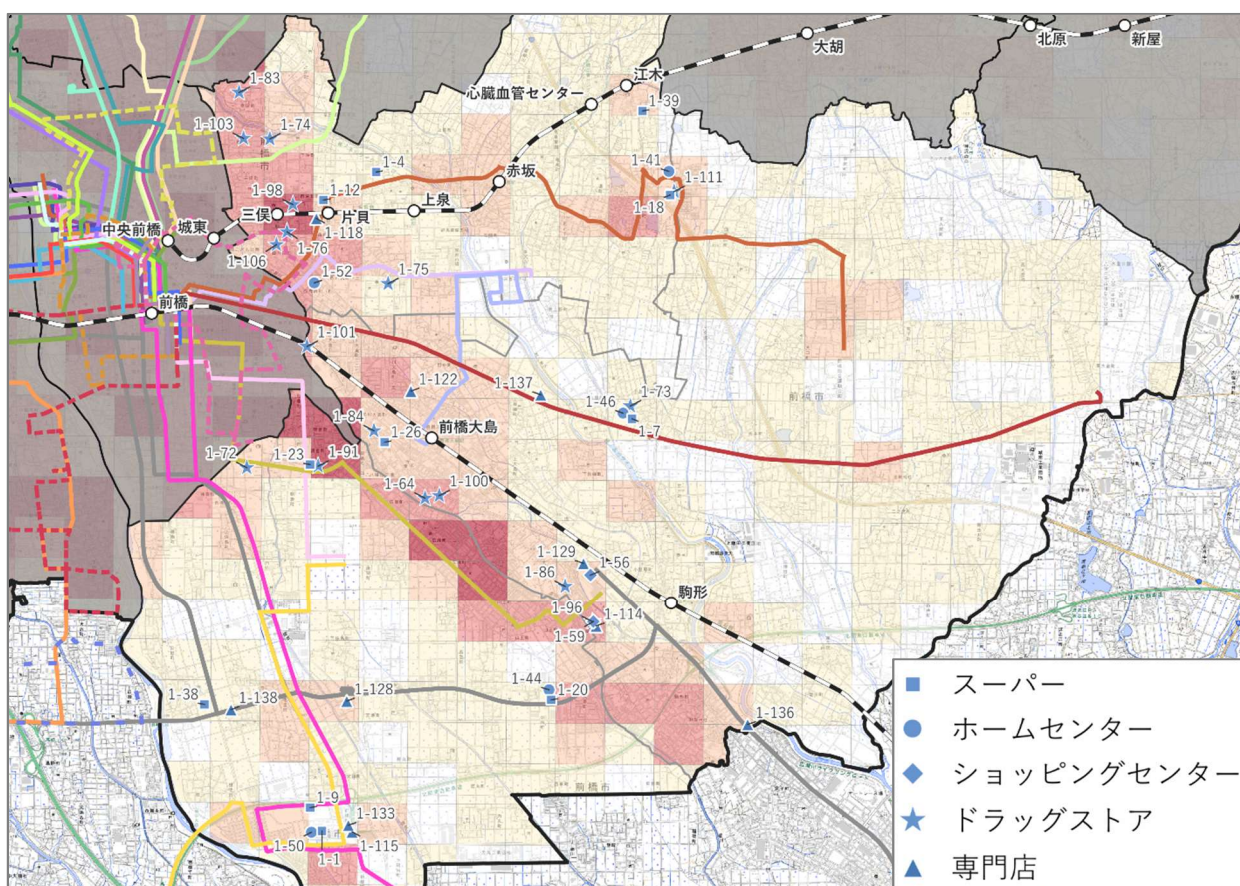


資料：全国大型小売店総覧（2020年版）、タウンページ

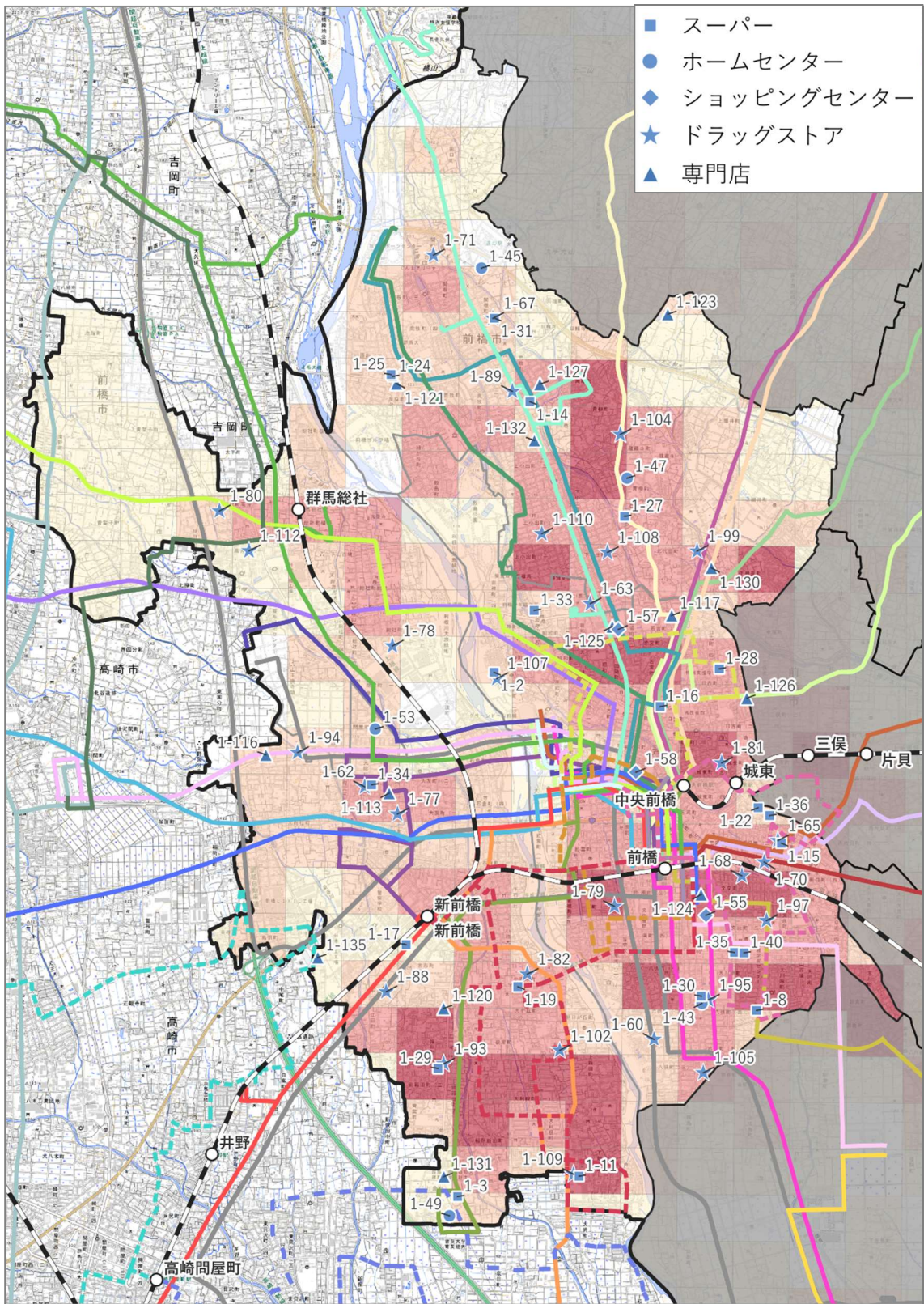
■商業施設の立地状況①（富士見／芳賀／大胡／宮城）



■商業施設の立地状況②（桂萱／永明・城南／上川刈・下川刈）



■商業施設の立地状況③（清里・総社／南橘／元総社・東／本庁）

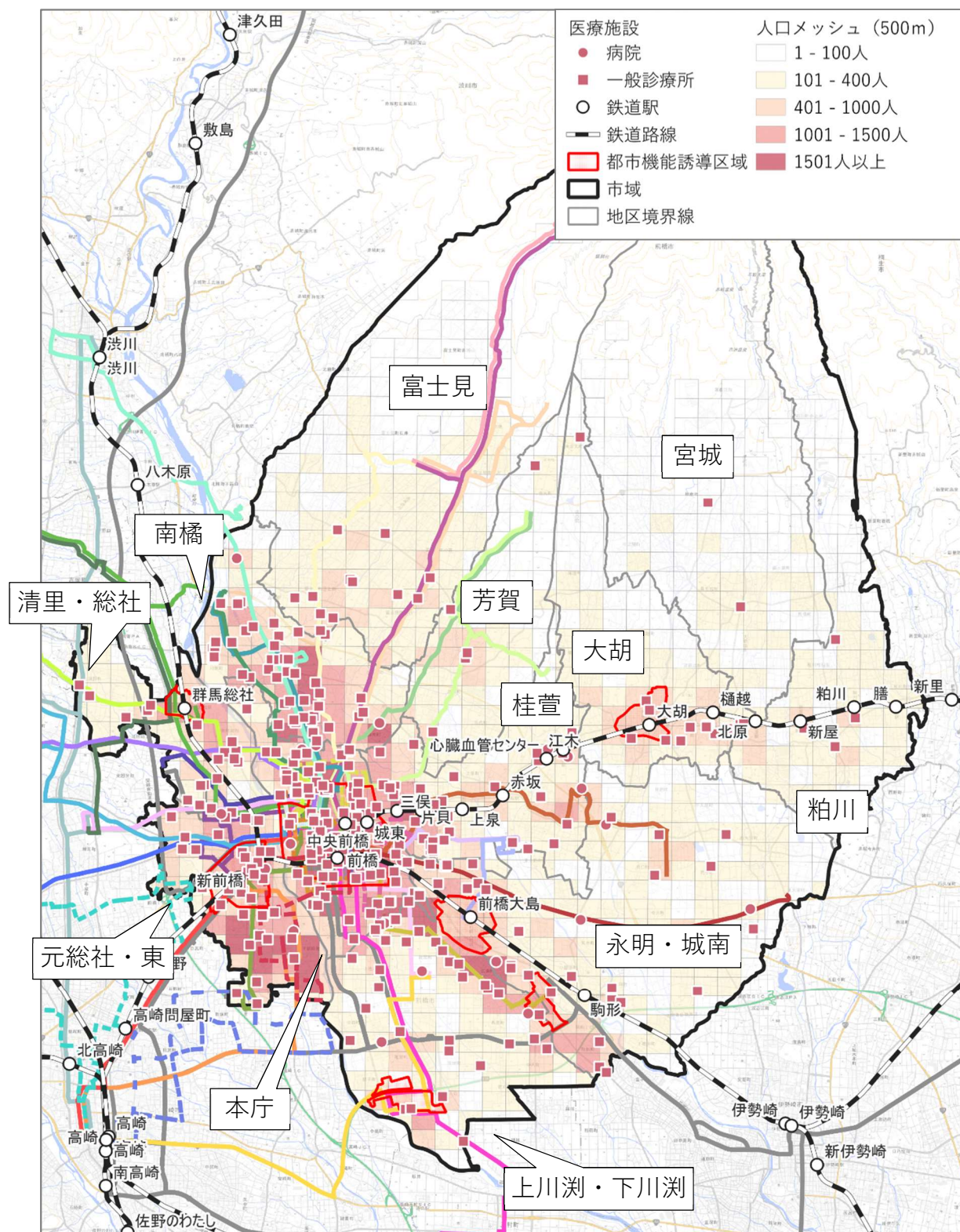


種類	No.	店舗名	種類	No.	店舗名
スーパー	1-1	ベシアスーパーセンター前橋みなみモール店	ドラッグストア	1-70	スギ薬局朝日町店
	1-2	ベシアスーパーマーケット前橋岩神店		1-71	スギ薬局前橋関根店
	1-3	ベシアスーパーマーケット前橋川曲店		1-72	スギ薬局前橋朝倉店
	1-4	ベシア前橋モール店		1-73	スギ薬局前橋小島田店
	1-5	ベシア前橋おおごモール店		1-74	スギ薬局水俣店
	1-6	ベシア前橋ふじみモール		1-75	ドラッグスギ東片貝店
	1-7	ベシア前橋小島田店		1-76	ドラッグスギ西片貝店
	1-8	ベシアマート/前橋六供店		1-77	ドラッグスギ大友店
	1-9	コストコホールセール前橋倉庫店		1-78	クスリのアオキ総社薬局
	1-10	フレッシュアイム大胡店		1-79	クスリのアオキ南町薬局
	1-11	フレッシュイ大利根店		1-80	クスリのアオキ高井薬局
	1-12	フレッシュイ貝店		1-81	クスリのアオキ城東薬局
	1-13	フレッシュイ富士見店		1-82	クスリのアオキ小相木薬局
	1-14	フレッシュイ荒牧店		1-83	クスリのアオキ幸塚薬局
	1-15	フレッシュイ朝日町店		1-84	クスリのアオキ天川大島薬局
	1-16	フレッシュイクラシード若宮		1-85	クスリのアオキ富士見薬局
	1-17	フレッシュイクラシード新前橋店		1-86	クスリのアオキ前橋下大島薬局
	1-18	とりせんローズタウン店		1-87	クスリのアオキ粕川薬局
	1-19	とりせん新前橋店		1-88	クスリのアオキ江田店
	1-20	とりせん前橋駒形店		1-89	クスリのアオキ荒牧店
	1-21	とりせん時沢店		1-90	クスリのアオキ横沢店
	1-22	JAファーマーズ朝日町店		1-91	マルエドラッグ前橋朝倉店
	1-23	JAファーマーズ朝倉店		1-92	マルエドラッグ大胡店
	1-24	しみずスーパーモール川原店		1-93	マルエドラッグ箱田店
	1-25	しみずスーパー前橋青柳店		1-94	マルエドラッグ前橋元総社蒼海店
	1-26	ベルク前橋大島店		1-95	マルエドラッグ六供店
	1-27	ベルク前橋北代田店		1-96	マルエドラッグ駒形店
	1-28	ヤオコー前橋日吉店		1-97	マルエドラッグ天川原店
	1-29	ヤオコー前橋箱田店		1-98	マルエドラッグ前橋西片貝店
	1-30	ヤオコー前橋六供店		1-99	ウエルシア前橋北代田店
	1-31	ヤオコー前橋関根店		1-100	ウエルシア前橋天川大島店
	1-32	Aコープみやぎ店		1-101	ウエルシア前橋天川大島2号店
	1-33	コープぐんま/コープ昭和店		1-102	ウエルシア薬局前橋上新田店
	1-34	業務スーパー元総社店		1-103	ウエルシア薬局前橋水俣店
	1-35	業務スーパー前橋南店		1-104	ウエルシア薬局前橋青柳店
	1-36	業務スーパー前橋朝日町店		1-105	ウエルシア前橋六供町店
	1-37	アバンセ粕川店		1-106	ウエルシア前橋西片貝町店
	1-38	ツルヤ前橋南店		1-107	ウエルシア前橋岩神店
	1-39	ツルヤローズタウン店		1-108	ドラッグセイムス前橋下小出店
	1-40	食の駅前橋南店		1-109	ドラッグセイムスフレッシュイ大利根店
ホームセンター	1-41	コメリパワー前橋店	専門店	1-110	クリエイトS・D前橋上小出店
	1-42	コメリハード&グリーン富士見時沢店		1-111	クリエイトS・D前橋ローズタウン店
	1-43	コメリハード&グリーン前橋六供店		1-112	クリエイトS・D前橋総社町店
	1-44	ホームセンターセキチュー前橋駒形店		1-113	バシオス元総社店
	1-45	ホームセンターセキチュー前橋関根店		1-114	サンキ前橋山王店
		ヤオコー前橋関根店		1-115	ジューパワーマール前橋みなみ店
	1-46	カインズ前橋小島田店		1-116	バースデイレ総社店
	1-47	カインズ青柳店		1-117	バースデイ若宮店
	1-48	カインズ大胡店		1-118	ファッションセンターしまむら西片貝店
	1-49	カインズ前橋川曲店		1-119	ファッションセンターしまむら大胡店
	1-50	カインズホーム前橋みなみモール店		1-120	ファッションセンターしまむら箱田店
	1-51	ホームセンタージョイビック大胡店		1-121	ファッションセンターしまむら川原店
ショッピングセンター	1-52	ヒロタツールボックス東店		1-122	ファッションセンターしまむら天川大島店
	1-53	ヒロタツールボックス西店		1-123	ファッションセンターしまむら青柳店
	1-54	ジョイビック		1-124	洋服の青山前橋文京店
	1-55	けやきウォーク前橋		1-125	洋服の青山前橋国領総本店
	1-56	ガーデン前橋		1-126	アオキ前橋東部バイパス店
	1-57	前橋リリカ		1-127	アオキ前橋荒牧店
	1-58	スズラン百貨店前橋店		1-128	アオキ前橋みなみモール店
ドラッグストア	1-59	フォリオ駒形SC		1-129	ヤマダ電機テックランド駒方バイパス店
	1-60	カワチ薬品前橋南店		1-130	ヤマダ電機テックランドNew前橋本店
	1-61	カワチ薬品大胡店		1-131	ケーズデンキ前橋川曲店
	1-62	カワチ薬局元総社店		1-132	ニトリ前橋店
	1-63	カワチ薬局下小出店		1-133	蔦屋書店前橋みなみモール店
	1-64	カワチ薬局天川大島店		1-134	オートアールズ前橋モール店
	1-65	マツモトキヨシドラッグストア前橋朝日町店		1-135	トイザラス・ベビーザラス前橋店
	1-66	マツモトキヨシ前橋おおごモール店		1-136	MINI伊勢崎
	1-67	マツモトキヨシ前橋関根店		1-137	群馬トヨベツトレックスCPO前橋店
	1-68	マツモトキヨシ薬けやきウォーク前橋店		1-138	ハンユウオート前橋
	1-69	マツモトキヨシベシア前橋富士見店			

（２）主な医療施設

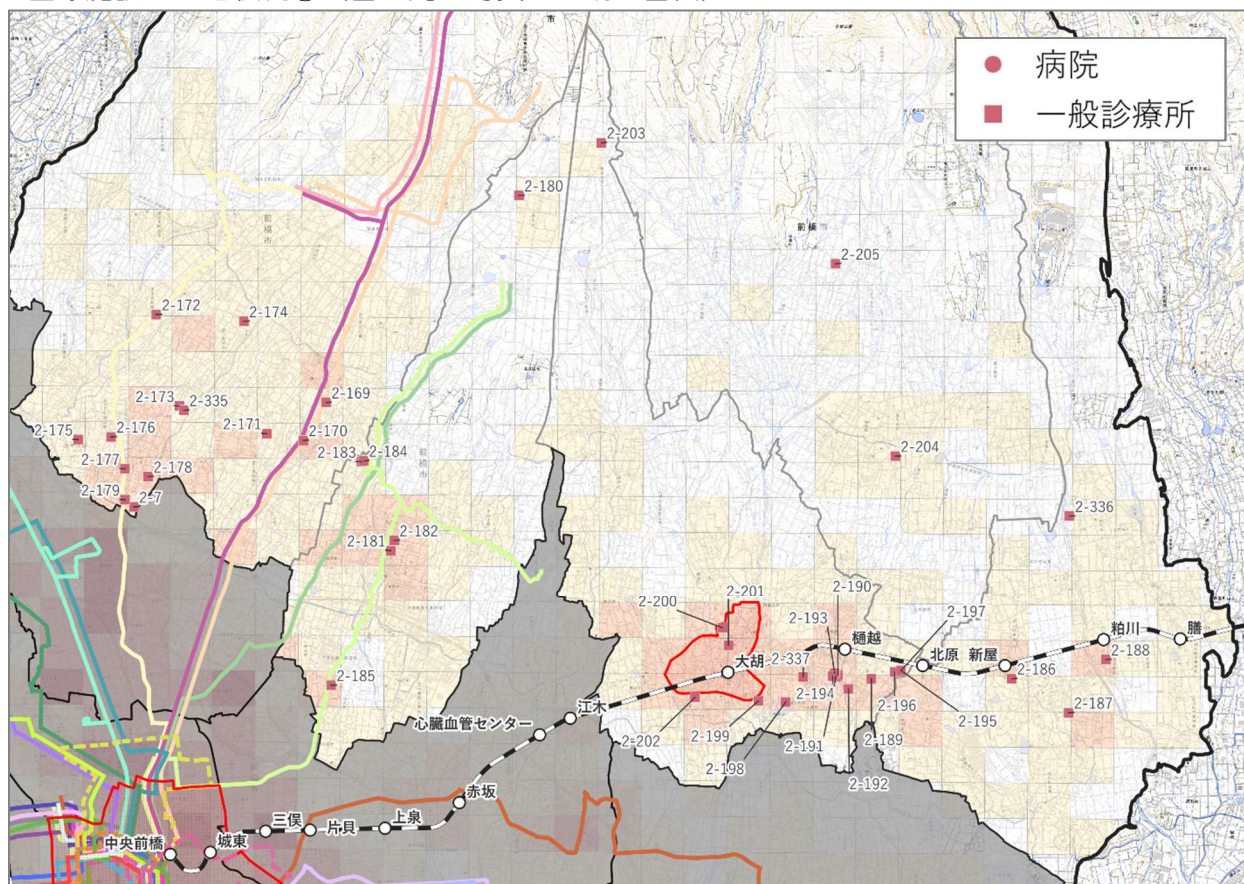
医療施設は、清里・総社地域、南橘地域、元総社・東地域、本庁地域に立地が集中しており、永明・城南地域、上川淵・下川淵地域にも一定数立地している状況にあります。また、上毛電気鉄道沿線の居住区域にも分布が見られます。

■医療施設の立地状況

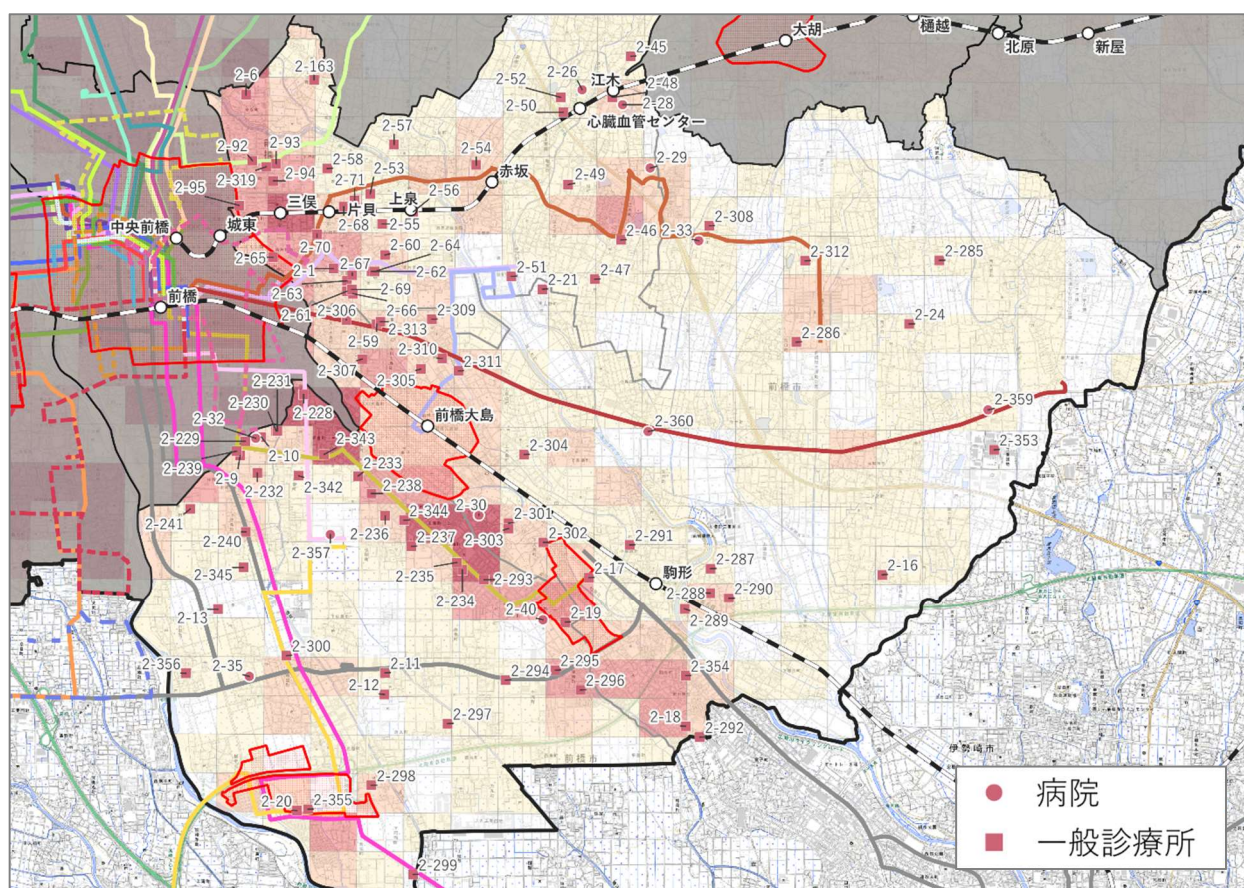


資料：国土数値情報

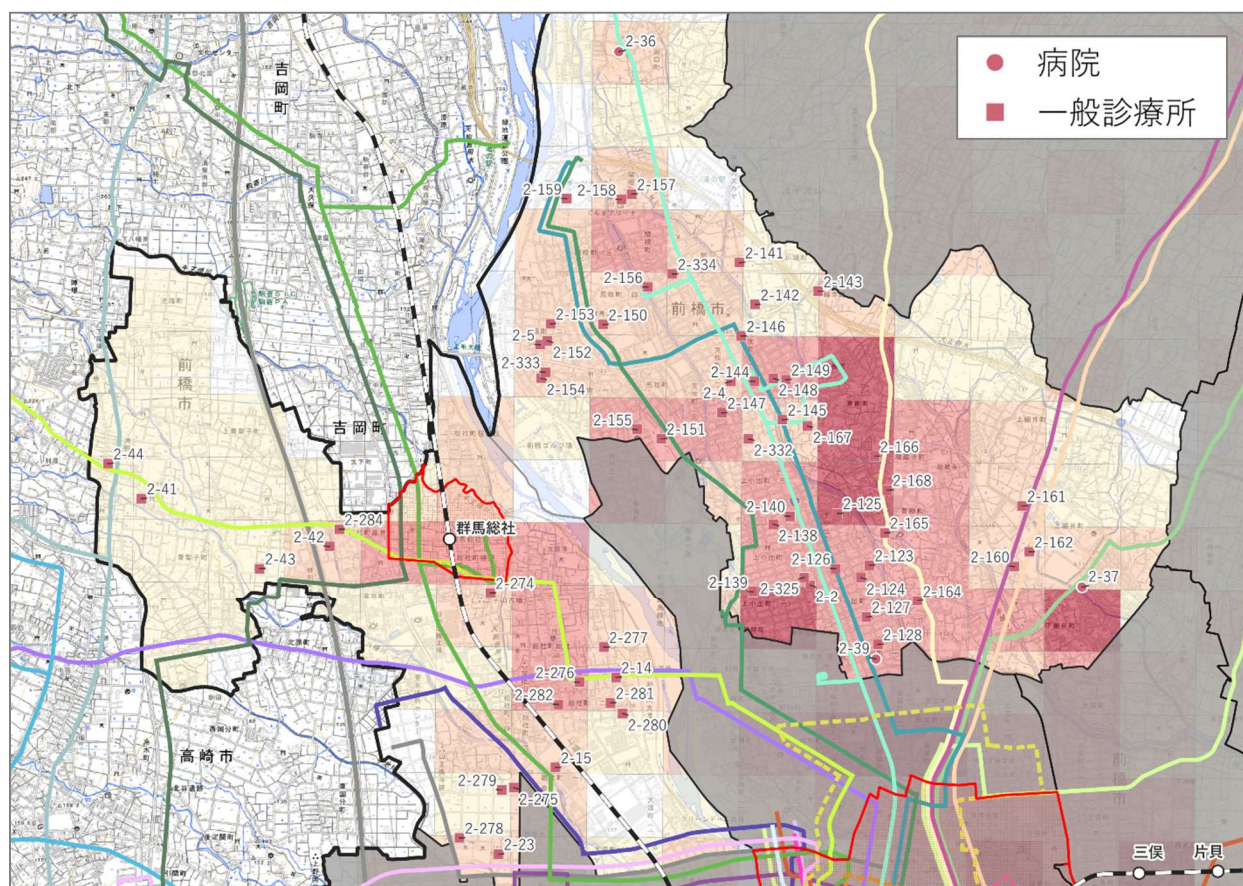
■医療施設の立地状況①（富士見／芳賀／大胡／宮城）



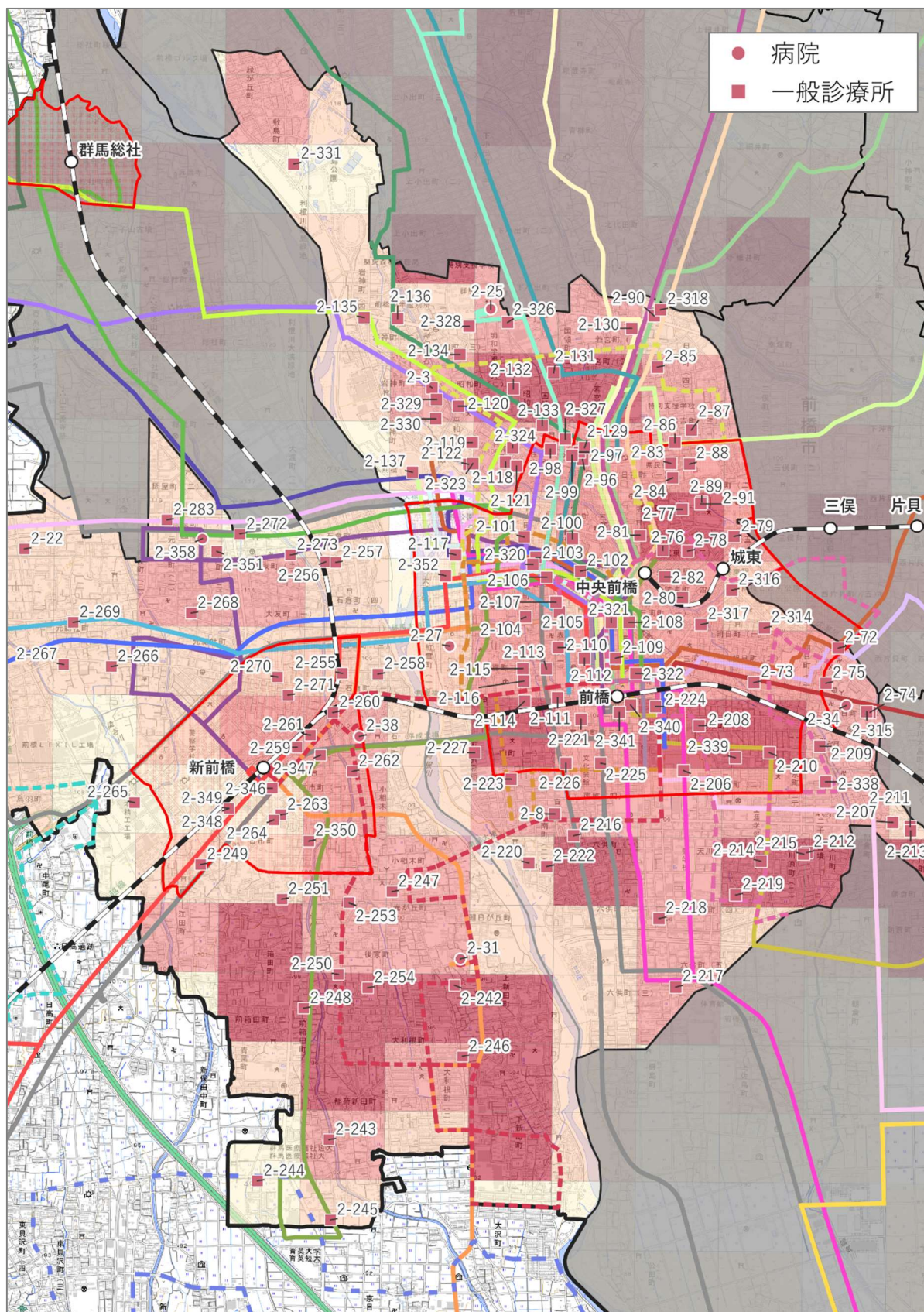
■医療施設の立地状況②（桂萱／永明・城南／上川刈・下川刈）



■医療施設の立地状況③（清里・総社／南橘）



■医療施設の立地状況④（元総社・東／本庁）



種類	No.	名称		
病院	2-1	前橋桃の瀬クリニック	一般 診療所	2-61 たむらこどもクリニック
	2-2	市川クリニック		2-62 マンモプラス竹尾クリニック
	2-3	二之沢前橋クリニック		2-63 おかむらクリニック
	2-4	外山内科・循環器内科クリニック		2-64 木村ペインクリニック
	2-5	かわはらまち皮膚科		2-65 わかまつ循環器科・内科医院
	2-6	かなざわ小児科クリニック		2-66 深沢整形外科
	2-7	黒岩クリニック		2-67 結城眼科医院
	2-8	ベルフィーユ今井レディースクリニック		2-68 川島クリニック
	2-9	やなぎさわファミリークリニック		2-69 西片貝クリニック
	2-10	ほなみクリニック		2-70 内田外科医院
	2-11	ぐんまスポーツ整形外科		2-71 山本整形外科医院
	2-12	前橋ミナミ眼科		2-72 前橋市保健所
	2-13	さくらクリニック		2-73 望月皮膚科医院
	2-14	緩和ケア萬田診療所		2-74 前橋市夜間急病診療所
	2-15	日本精工総社診療所		2-75 齋藤医院
	2-16	二之宮クリニック		2-76 (医)五十嵐皮膚科医院
	2-17	マザーズクリニックTAMURA		2-77 かめい眼科
	2-18	耳鼻咽喉科とよだクリニック		2-78 前橋協立診療所
	2-19	山王医院		2-79 赤沢耳鼻咽喉科医院
	2-20	すえまる内科		2-80 山下医院
	2-21	金子クリニック		2-81 うぶかた循環器クリニック
	2-22	うしいけ内科クリニック		2-82 安立医院
	2-23	特別養護老人ホームサンライフアネックス医務室		2-83 田中内科クリニック
	2-24	あいざわ内科		2-84 由上小児科医院
	2-25	群馬大学医学部附属病院		2-85 塙医院
	2-26	群馬県立心臓血管センター		2-86 清王寺クリニック
	2-27	独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院		2-87 金古医院
	2-28	(社)前橋積善会厩橋病院		2-88 (医)春山医院
	2-29	赤城病院		2-89 恵風園診療所
	2-30	(医)中沢会上毛病院		2-90 若宮内科
	2-31	群馬県済生会前橋病院		2-91 前橋老人ホーム診療所
	2-32	前橋協立病院		2-92 小竹整形外科
	2-33	(医社)敬寿会前橋城南病院		2-93 (医)永島内科医院
	2-34	(医)積心会富沢病院		2-94 (医)吉野医院
	2-35	群馬ペインクリニック病院		2-95 大塚内科医院
	2-36	上武呼吸器科内科病院		2-96 長崎医院
	2-37	医療法人前橋北病院		2-97 青木眼科医院
	2-38	(医)相生会わかば病院		2-98 紀内科医院
	2-39	横田マタニティースホスピタル		2-99 竹越耳鼻咽喉科医院
	2-40	山王リハビリテーション病院		2-100 前橋広瀬川クリニック
一般 診療所	2-41	菊池内科クリニック		2-101 (医)田中医院
	2-42	さるきクリニック		2-102 小泉整形外科医院
	2-43	(社福)清栄会特別養護老人ホーム清里荘診療所		2-103 やまだ医院
	2-44	(医)木暮医院		2-104 (財)老年病研究所附属高玉診療所
	2-45	高柳胃腸科・外科		2-105 いまいずみ小児科
	2-46	中嶋小児科医院		2-106 橋爪耳鼻咽喉科医院
	2-47	江木町クリニック		2-107 太田皮ふ科医院
	2-48	特別養護老人ホームやすらぎ園医務室		2-108 岩内整形外科医院
	2-49	やました内科医院		2-109 特別養護老人ホームシャリティエまえばし医務室
	2-50	特別養護老人ホーム明風園医務室		2-110 村山医院
	2-51	(公財)群馬県健康づくり財団診療所		2-111 片山皮膚科医院
	2-52	とくながクリニック		2-112 さとうレディースクリニック
	2-53	大川こどもクリニック		2-113 戸井田医院
	2-54	上泉内科		2-114 鳥羽整形外科クリニック
	2-55	馬場内科医院		2-115 清宮医院
	2-56	(医)小板橋医院		2-116 太田医院
	2-57	医療法人忠恕会狩野脳神経外科医院		2-117 群馬県警察本部健康支援室
	2-58	かたひら内科医院		2-118 (医)みちの会道下産婦人科医院
	2-59	前橋脳外科クリニック		2-119 栗林小児科医院
	2-60	福山内科		2-120 (医)浦野医院

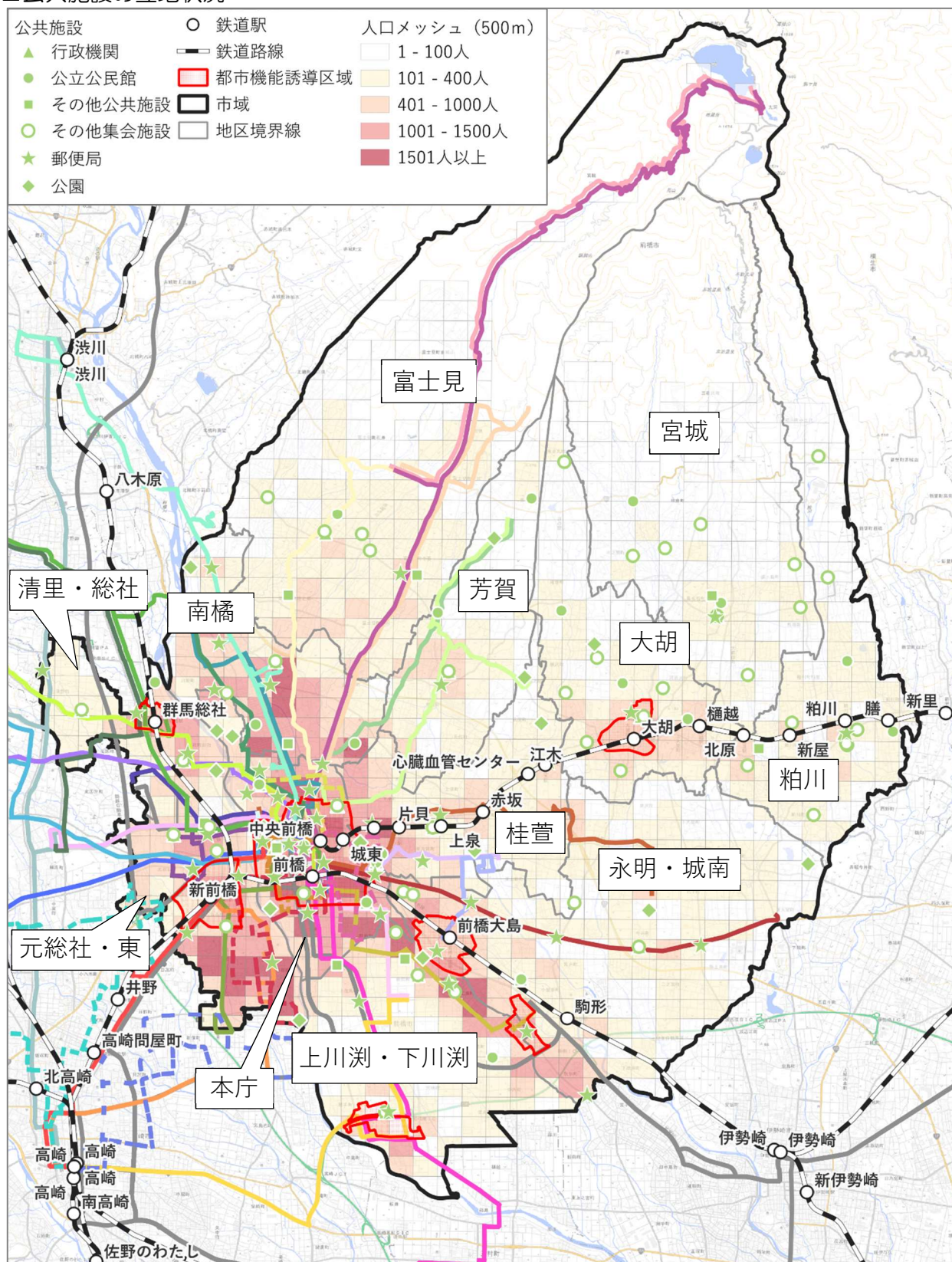
			種類		
一般 診療所	2-121	(医)聖仁会いしだ内科胃腸科医院	一般 診療所	2-181	増田整形外科医院
	2-122	木村医院		2-182	伊藤内科小児科医院
	2-123	前橋ＣＬクリニック		2-183	みどり小児科
	2-124	まえはら内科		2-184	北條内科クリニック
	2-125	田中外科内科医院		2-185	佐治内科医院
	2-126	伊藤内科医院		2-186	吉松医院
	2-127	(医)順道会富沢脳神経外科内科医院		2-187	江沢医院
	2-128	横田レディースクリニック		2-188	(医)高橋会高橋医院
	2-129	堺堀内科循環器科医院		2-189	大野内科クリニック
	2-130	中沢クリニック		2-190	いづか耳鼻咽喉科
	2-131	中野産婦人科医院		2-191	樋越ペインクリニック
	2-132	(医)新井胃腸科診療所		2-192	西田整形外科
	2-133	前橋皮膚科医院		2-193	みやけ小児科
	2-134	柳田整形外科医院		2-194	しみず眼科クリニック
	2-135	神宮医院		2-195	特別養護老人ホーム第２明光園医務室
	2-136	込谷クリニック		2-196	小沢医院
	2-137	前橋競輪場診療室		2-197	(社福)視覚障害者福祉会養護老人ホーム明光園診療所
	2-138	竹澤小児科クリニック		2-198	赤城少年院医務課診療所
	2-139	豊田内科医院		2-199	特別養護老人ホームこうふく園診療所
	2-140	(医)斎藤内科泌尿器科医院		2-200	(医)深沢内科クリニック
	2-141	かとう心療クリニック		2-201	町田内科クリニック
	2-142	斉藤クリニック耳鼻科		2-202	大胡クリニック
	2-143	富士たちばなクリニック		2-203	鐘の鳴る丘愛誠園内診療所
	2-144	桃の木アイクリニック		2-204	(医)村松会みやぎクリニック
	2-145	大島整形外科医院		2-205	特別養護老人ホームあゆみの里診療所
	2-146	ももかわ整形外科クリニック		2-206	前橋眼科クリニック
	2-147	小川内科医院		2-207	おおしまクリニック
	2-148	なんきつこどもクリニック		2-208	中村外科医院
	2-149	岡野内科胃腸科医院		2-209	塩崎内科医院
	2-150	群馬大学健康支援総合センター		2-210	町井耳鼻咽喉科
	2-151	寿楽園診療所		2-211	(医)本間小児科内科医院
	2-152	ベル小児科クリニック		2-212	羽鳥眼科
	2-153	小野内科クリニック		2-213	けやきクリニック
	2-154	リハビリ整形外科みなみクリニック		2-214	野本クリニック
	2-155	敷島医院		2-215	殿岡内科小児科医院
	2-156	大学橋ファミリークリニック		2-216	ほしの整形外科クリニック
	2-157	せきねクリニック		2-217	田部医院
	2-158	特別養護老人ホームせきね園医務室		2-218	小児科しもだクリニック
	2-159	群馬県総合スポーツセンター相談室		2-219	あづまクリニック
	2-160	しらかわ診療所		2-220	特別養護老人ホーム悠ゆうみなみちょう診療所
	2-161	(医)宮石内科医院		2-221	安部内科医院
	2-162	かまくら診療所		2-222	齋藤医院
	2-163	山口内科クリニック		2-223	家崎医院
	2-164	北代田診療所		2-224	加藤クリニック
	2-165	ひまわり眼科		2-225	下田内科医院
	2-166	嵯峨小児科医院		2-226	丸山眼科医院
	2-167	小原沢耳鼻咽喉科医院		2-227	前橋刑務所医務課診療所
	2-168	(医)瀬田医院		2-228	二子山クリニック
	2-169	ささき整形外科		2-229	あんずクリニック
	2-170	武田クリニック		2-230	いとう耳鼻咽喉科
	2-171	堺堀整形外科医院		2-231	いとうレディースクリニック
	2-172	富士見内科小児科		2-232	小林内科胃腸科クリニック
	2-173	特別養護老人ホームみのりの丘医務室		2-233	村谷胃腸科医院
	2-174	特別養護老人ホームサンホームふじみ医務室		2-234	剛医院
	2-175	五十嵐医院		2-235	(医)澤渡内科循環器科医院
	2-176	つくも内科医院		2-236	こぶな整形外科医院
	2-177	あべクリニック		2-237	須田こどもクリニック
	2-178	相澤医院		2-238	鈴木小児科医院
	2-179	梅枝内科医院		2-239	前橋プライマリ泌尿器科内科
	2-180	特別養護老人ホームほのぼの荘診療所		2-240	(医)ほんま小児科

種類	No.	名称	種類	No.	名称
一般 診療所	2-241	えんどう内科クリニック	一般 診療所	2-301	村上皮膚科医院
	2-242	梶田医院		2-302	池医院
	2-243	津田ホームケア診療所		2-303	下大島医院
	2-244	八代医院		2-304	しのはら小児科
	2-245	特別養護老人ホームあじさい園医務室		2-305	特別養護老人ホームえいめい医務室
	2-246	たき医院		2-306	関内科医院
	2-247	すぐた医院ゆうキッズクリニック		2-307	群馬県赤十字血液センター
	2-248	八木医院		2-308	特別養護老人ホームすみれ荘診療所
	2-249	富沢医院		2-309	土井内科医院
	2-250	たけむら整形外科クリニック		2-310	群馬県こころの健康センター
	2-251	(医) 吉田小児科医院		2-311	遠藤内科医院
	2-252	木村内科医院		2-312	萩原内科医院
	2-253	木村神経科医院		2-313	(医) 晴方会いまいウイメンズクリニック
	2-254	中田クリニック		2-314	ソレイユあさひクリニック
	2-255	馬場整形外科クリニック		2-315	(公社) 前橋市医師会附属診療所分院
	2-256	石倉町こどもクリニック		2-316	みずしま脳神経内科・内科クリニック
	2-257	神岡産婦人科医院		2-317	せき整形外科クリニック
	2-258	(医) 富沢内科医院		2-318	(医社) 一郎会狩野外科医院
	2-259	群馬県心身障害者福祉センター		2-319	藤田麻酔科クリニック
	2-260	中野医院		2-320	松山医院
	2-261	高野医院		2-321	羽生田眼科医院
	2-262	スガノ眼科古市クリニック		2-322	前橋ふえきクリニック
	2-263	(医) 新前橋耳鼻咽喉科医院		2-323	(医社) 横地眼科医院
	2-264	青山医院		2-324	前橋平和クリニック
	2-265	日本精工kk前橋工場診療所		2-325	(医社) 協友会前橋中央眼科
	2-266	みやざき内科クリニック		2-326	城西クリニック
	2-267	あらいクリニック		2-327	まえばし在宅クリニック
	2-268	工藤皮膚科医院		2-328	仁泉堂医院
	2-269	瀬下こどもクリニック		2-329	特別養護老人ホームルネス前橋医務室
	2-270	高橋眼科医院		2-330	(公財) 前橋市医師会附属診療所
	2-271	堤整形外科医院		2-331	(医) 石井会敷島の森おなかのクリニック
	2-272	大友アイクリニック		2-332	宮久保眼科
	2-273	平井外科医院		2-333	(医社) 三矢会上毛大橋クリニック
	2-274	すがの内科医院		2-334	前橋温泉クリニック
	2-275	整形外科とくまクリニック		2-335	群馬県厚生農業協同組合連合会検診センター
	2-276	原口整形外科医院		2-336	特別養護老人ホームサンホーム「元気の郷」内医務室
	2-277	とくい眼科		2-337	(医) 小内会おない医院
	2-278	こなか医院		2-338	石橋統合医療クリニック
	2-279	牧耳鼻咽喉科医院		2-339	はしづめ診療所文京町
	2-280	掛川医院		2-340	ケンクリニック
	2-281	戸所小児科医院		2-341	群馬県赤十字血液センター前橋出張所
	2-282	医療法人総社町内科深沢医院		2-342	あさくらスポーツリハビリテーションクリニック
	2-283	特別養護老人ホームサインライフ問屋町医務室		2-343	はしづめ胃腸と内科のクリニック
	2-284	園田整形外科医院		2-344	こばやし医院
	2-285	前橋東クリニック		2-345	(社福)上川会特別養護老人ホーム春日の里医務室
	2-286	(医) 光風会飯塚医院		2-346	新前橋眼科クリニック
	2-287	駒形メンタルクリニック		2-347	新前橋すこやか内科・漢方内科クリニック
	2-288	もてぎ内科医院		2-348	フォレスト整形外科スポーツクリニック
	2-289	身体障害者療護施設青空診療所		2-349	新前橋かしま眼科形成外科クリニック
	2-290	特別養護老人ホーム上毛の里医務室		2-350	倉繁皮フ科医院
	2-291	中嶋医院		2-351	(医) 浩心会おおつか内科クリニック
	2-292	うい内科クリニック		2-352	地方職員共済組合群馬診療所
	2-293	山王タウンクリニック		2-353	日本精工赤城診療所
	2-294	星医院		2-354	北條医院
	2-295	ねぎし整形外科		2-355	前橋みなみモール眼科
	2-296	高橋医院		2-356	はしづめ診療所
	2-297	特別養護老人ホーム桜桃園診療所		2-357	前橋赤十字病院
	2-298	うめだ内科クリニック		2-358	(公財)老年病研究所附属病院
	2-299	いながき内科医院		2-359	東前橋整形外科病院
	2-300	定方医院		2-360	善衆会病院

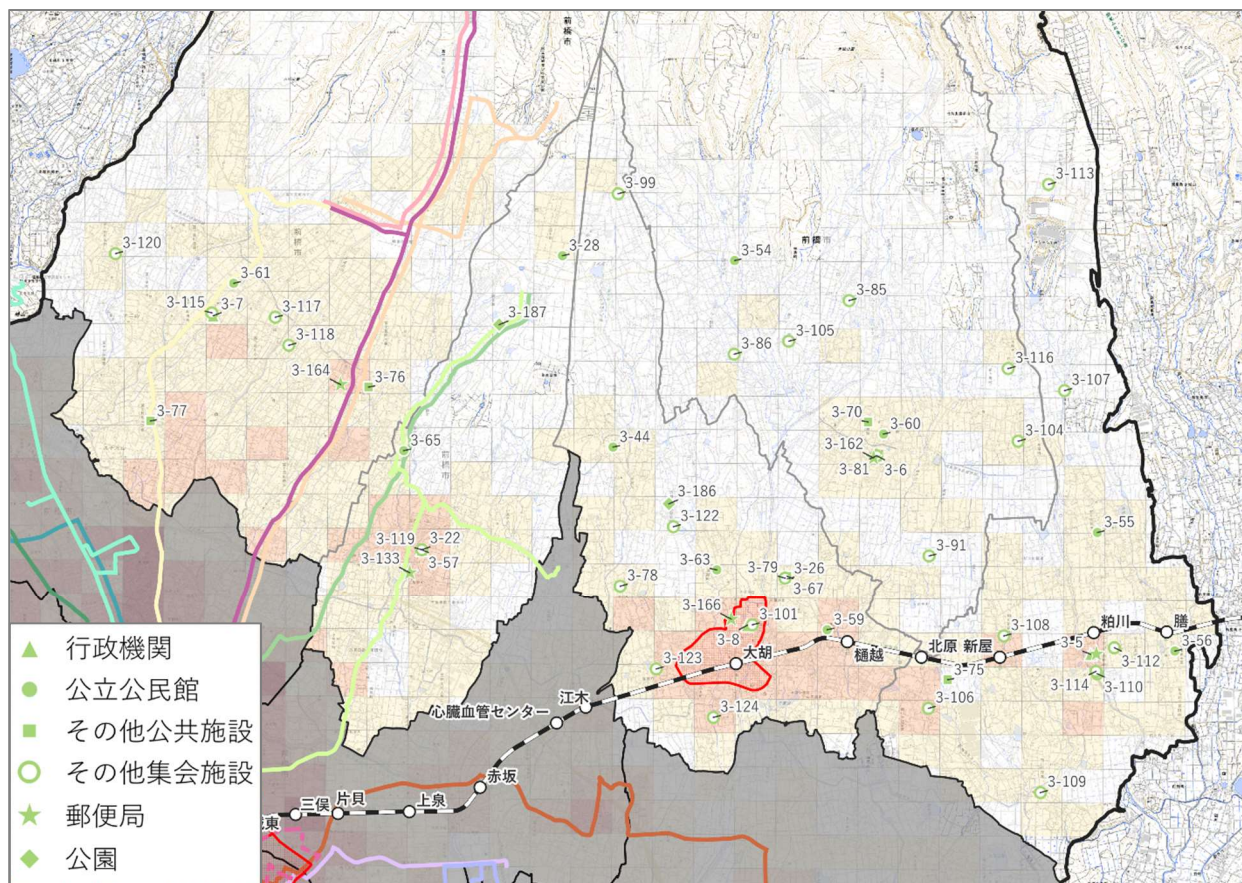
(3) 主な公共施設

公共施設は、一定の人口分布が見られる地域を中心に点在しています。

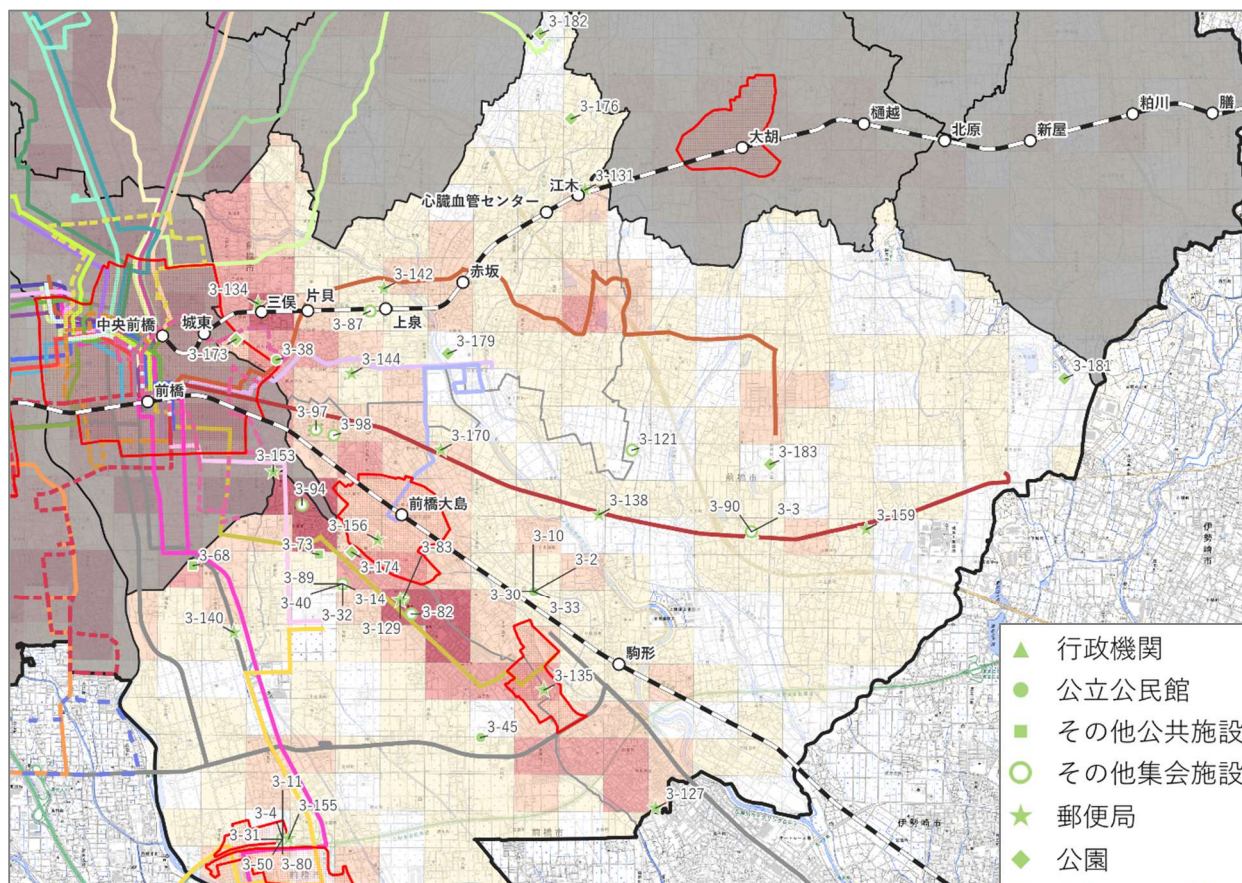
■公共施設の立地状況



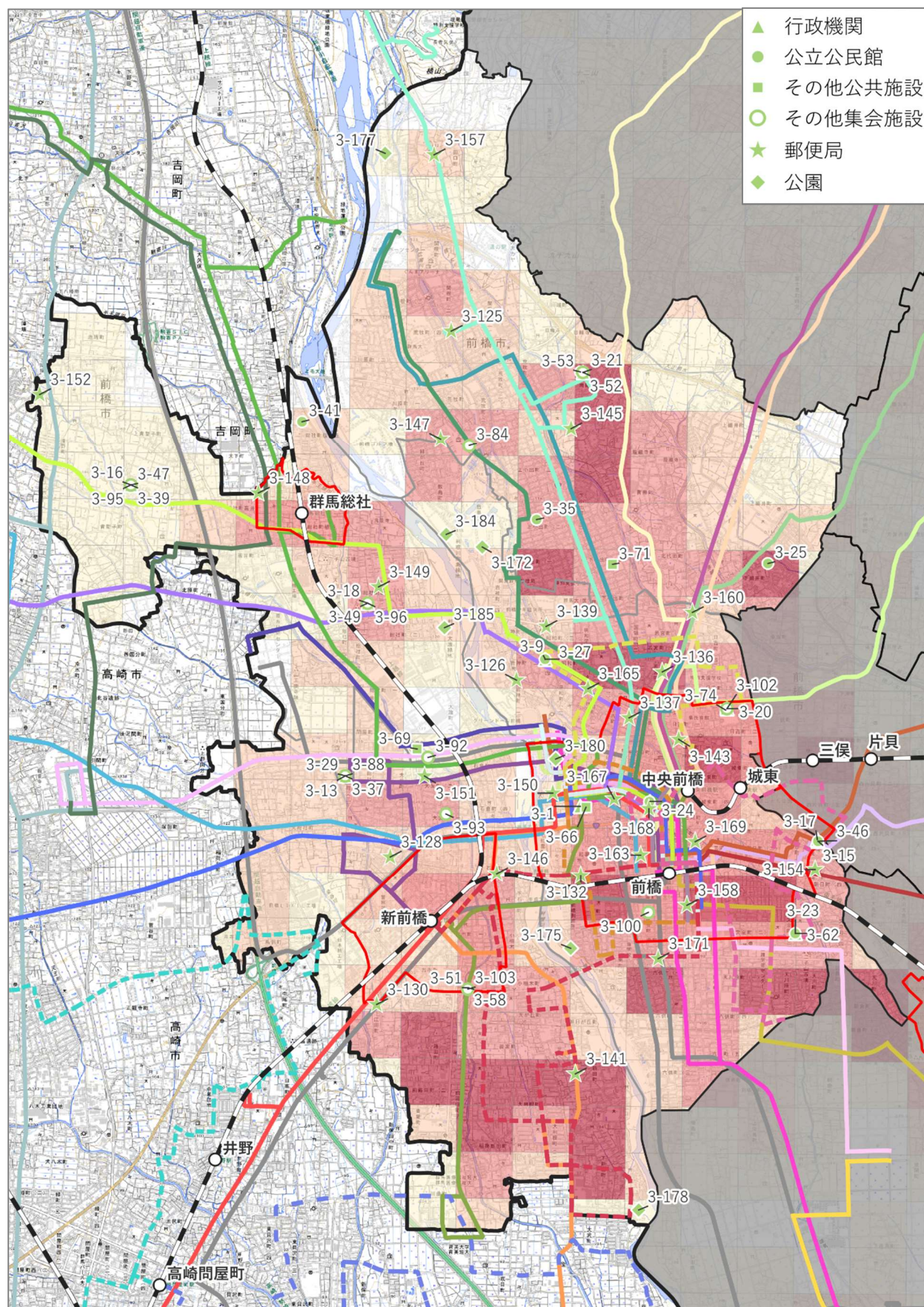
■公共施設の立地状況①（富士見／芳賀／大胡／宮城）



■公共施設の立地状況②（桂萱／永明・城南／上川刈・下川刈）



■公共施設の立地状況③（清里・総社／南橋／元総社・東／本庁）



種類	No.	名称	種類	No.	名称
行政機関	3-1	前橋市役所	その他 公共施設	3-66	市立図書館
	3-2	永明出張所		3-67	大胡体育館
	3-3	城南支所		3-68	市民体育館
	3-4	下川淵出張所		3-69	大渡体育館
	3-5	粕川支所		3-70	宮城体育館
	3-6	宮城支所		3-71	下小出児童館
	3-7	富士見支所		3-72	大友児童館
	3-8	大胡支所		3-73	朝倉児童館
	3-9	第三証明交付コーナー		3-74	日吉児童館
	3-10	永明市民サービスセンター		3-75	粕川児童館
	3-11	下川淵市民サービスセンター		3-76	ふじみじどうかん
	3-12	桂萱市民サービスセンター		3-77	ふじみじどうかんアリス分館
	3-13	元総社市民サービスセンター	その他 集会施設	3-78	横沢多目的集会センター
	3-14	上川淵市民サービスセンター		3-79	大胡地区農村環境改善センター
	3-15	第二証明交付コーナー		3-80	下川淵分館
	3-16	清里市民サービスセンター		3-81	宮城分館
	3-17	前橋市保健所		3-82	ひろせ老人福祉センター
	3-18	総社市民サービスセンター		3-83	広瀬町二丁目集会室
	3-19	東市民サービスセンター		3-84	しきしま老人福祉センター
	3-20	第四証明交付コーナー		3-85	三夜沢赤城神社氏子会館
	3-21	南橋市民サービスセンター		3-86	市之関町集落センター
	3-22	芳賀市民サービスセンター		3-87	桂萱分館
	3-23	第五証明交付コーナー		3-88	元総社分館
	3-24	証明サービスコーナー		3-89	上川淵分館
公立 公民館	3-25	下細井町自治会公民館		3-90	城南分館
	3-26	大胡公民館		3-91	大前田町集落センター
	3-27	第三コミュニティセンター		3-92	勤労青少年ホーム
	3-28	金丸町公民館		3-93	おおとも老人福祉センター
	3-29	元総社公民館		3-94	朝倉町集会室
	3-30	永明市公民館		3-95	清里分館
	3-31	下川淵市公民館		3-96	総社分館
	3-32	上川淵公民館		3-97	前橋市斎場
	3-33	永明公民館		3-98	天川大島町原町自治会館
	3-34	桂萱市公民館		3-99	東金丸自治会館
	3-35	上小出町公民館		3-100	前橋市民文化会館
	3-36	桂萱公民館		3-101	大胡分館
	3-37	元総社市公民館		3-102	総合福祉会館
	3-38	西片貝町公民館		3-103	東分館
	3-39	清里公民館		3-104	馬場集落センター
	3-40	上川淵市公民館		3-105	柏倉町集落センター
	3-41	総社公民館桜が丘集会所		3-106	込皆戸集会所
	3-42	城南公民館		3-107	室沢集落センター
	3-43	総社公民館		3-108	新屋住民センター
	3-44	滝窪町公民館		3-109	深津集落センター
	3-45	上川淵公民館上北分館		3-110	隣保館
	3-46	第二コミュニティセンター		3-111	南橋分館
	3-47	清里市公民館		3-112	かずかわ老人福祉センター
	3-48	芳賀公民館		3-113	中之沢住民センター
	3-49	総社市公民館		3-114	粕川分館
	3-50	下川淵公民館		3-115	富士見分館
	3-51	東市公民館		3-116	苗ヶ島町集落センター
	3-52	南橋市公民館		3-117	富士見保健センター
	3-53	南橋公民館		3-118	富士見地区農村環境改善センター
	3-54	柏倉町コミュニティセンター		3-119	芳賀分館
	3-55	月田公民館		3-120	米野会館
	3-56	田面公民館		3-121	農業総合研修センター
	3-57	芳賀市公民館		3-122	大胡福祉サービスセンターいこいの家
	3-58	東公民館		3-123	大胡第1区自治会館
	3-59	樋越町公民館		3-124	茂木町自治会館
	3-60	宮城公民館			
	3-61	富士見公民館			
	3-62	第五コミュニティセンター			
	3-63	堀越公民館			
	3-64	中央公民館			
	3-65	嶺町公民館			

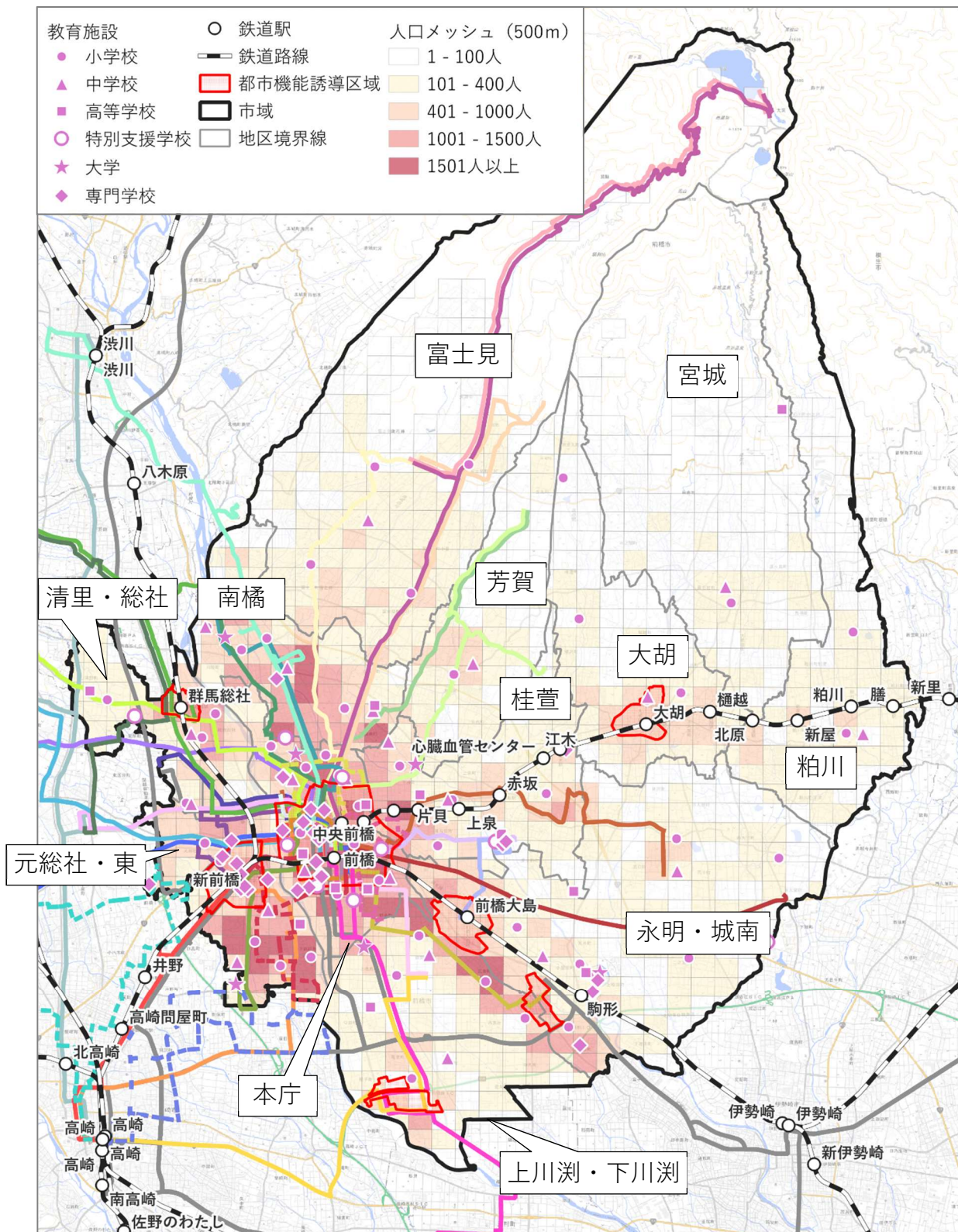
種類	No.	名称	種類	No.	名称
郵便局	3-125	前橋関根郵便局	郵便局	3-157	前橋田口郵便局
	3-126	前橋岩神郵便局		3-158	前橋南町郵便局
	3-127	前橋駒形郵便局		3-159	前橋二之宮郵便局
	3-128	前橋元総社郵便局		3-160	前橋日吉郵便局
	3-129	前橋広瀬郵便局		3-161	粕川郵便局
	3-130	前橋江田郵便局		3-162	宮城郵便局
	3-131	前橋江木郵便局		3-163	前橋表町郵便局
	3-132	前橋紅雲町郵便局		3-164	富士見郵便局
	3-133	前橋高花台郵便局		3-165	前橋平和郵便局
	3-134	前橋三俣郵便局		3-166	大胡郵便局
	3-135	前橋束郵便局		3-167	前橋本町一郵便局
	3-136	前橋若宮郵便局		3-168	前橋本町郵便局
	3-137	前橋住吉郵便局		3-169	前橋本町三郵便局
	3-138	前橋小島田郵便局		3-170	前橋野中郵便局
	3-139	群馬大学前郵便局		3-171	前橋六供郵便局
	3-140	前橋佐鳥郵便局	公園	3-172	敷島公園
	3-141	前橋上新田郵便局		3-173	前橋こども公園
	3-142	前橋上泉郵便局		3-174	八幡山公園
	3-143	前橋中央郵便局		3-175	南町公園
	3-144	前橋西片貝三郵便局		3-176	荻窪南公園
	3-145	前橋青柳郵便局		3-177	利根川田口緑地
	3-146	前橋石倉郵便局		3-178	大利根緑地
	3-147	前橋川原郵便局		3-179	石関公園
	3-148	前橋総社北郵便局		3-180	前橋公園
	3-149	総社郵便局		3-181	大室公園
	3-150	群馬県庁内郵便局		3-182	荻窪公園
	3-151	前橋大友郵便局		3-183	前橋総合運動公園
	3-152	前橋池端簡易郵便局		3-184	利根川敷島緑地
	3-153	前橋文京郵便局		3-185	利根川大渡緑地
	3-154	前橋朝日郵便局		3-186	大胡総合運動公園
	3-155	前橋鶴光路郵便局		3-187	嶺公園
	3-156	前橋天川大島郵便局			

※公園は供用済面積が 30,000 m²以上を記載

(4) 主な教育施設

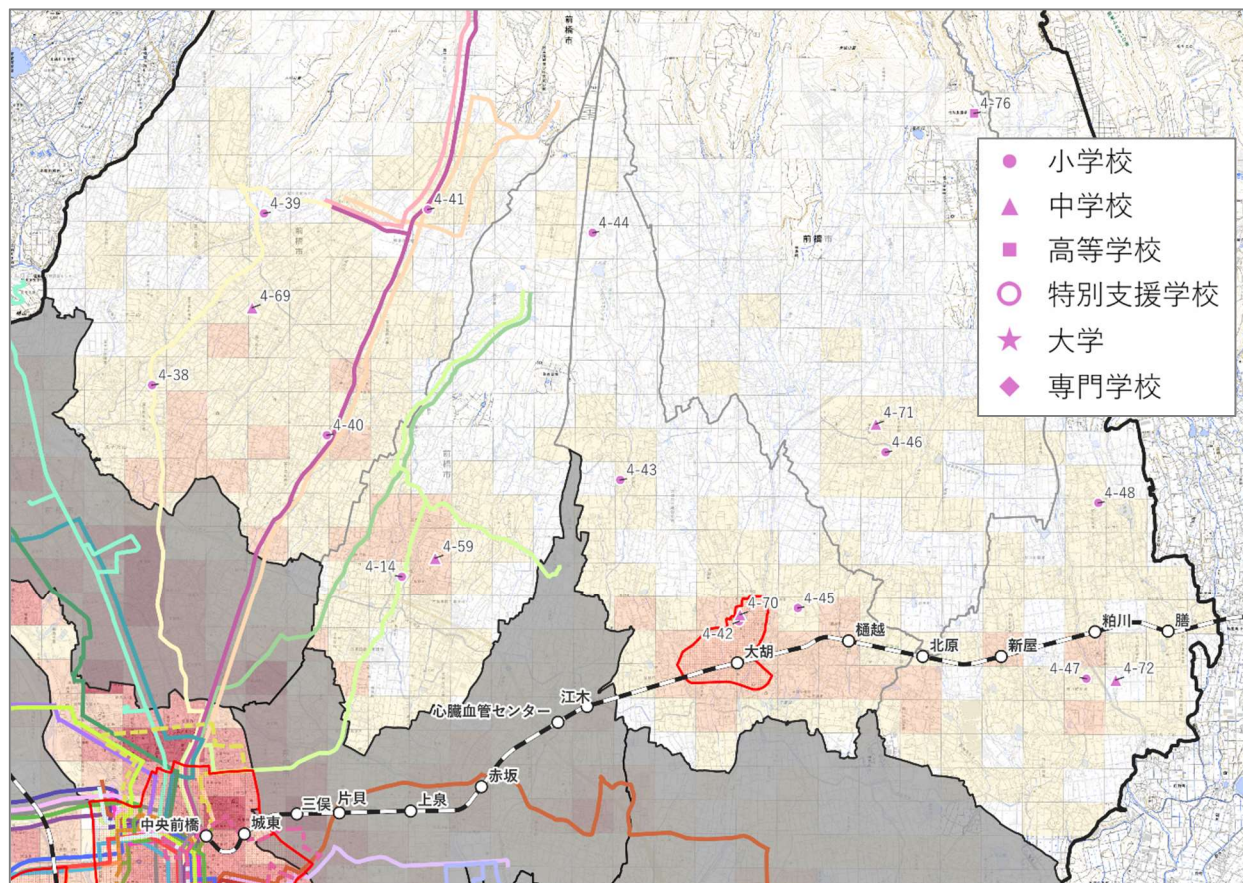
教育施設は、一定の人口分布が見られる地域を中心に点在しており、特に、元総社・東地域、本庁地域に立地が集中しています。

■教育施設の立地状況

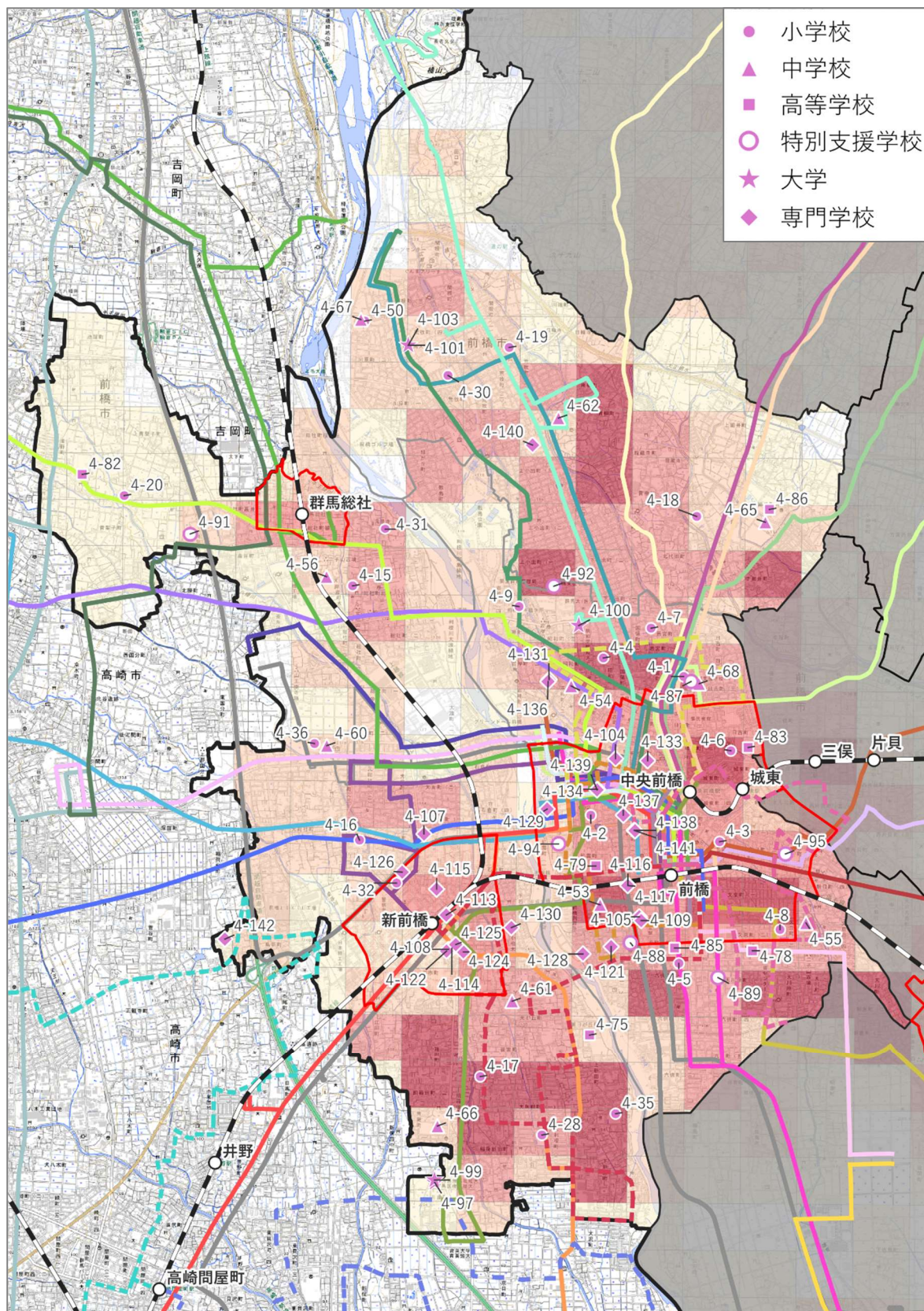


資料：国土数値情報

■教育施設の立地状況①（富士見／芳賀／大胡／宮城）



■教育施設の立地状況③（清里・総社／南橘／元総社・東／本庁）



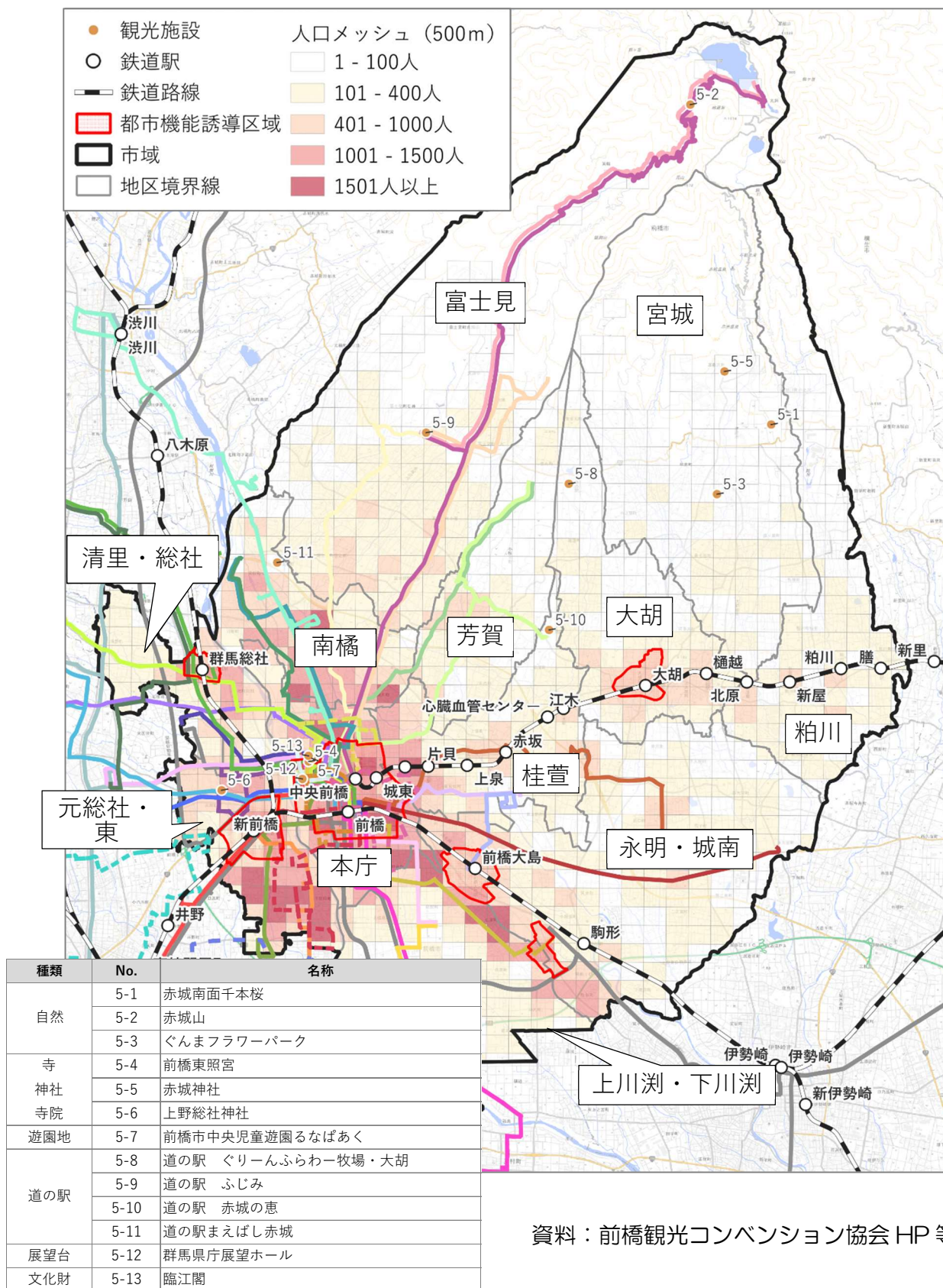
種類	No.	名称	種類	No.	名称
小学校	4-1	群馬大学共同教育学部附属小学校	中学校	4-51	共愛学園中学校
	4-2	桃井小学校		4-52	群馬大学共同教育学部附属中学校
	4-3	中川小学校		4-53	第一中学校
	4-4	敷島小学校		4-54	第三中学校
	4-5	城南小学校		4-55	第五中学校
	4-6	城東小学校		4-56	第六中学校
	4-7	若宮小学校		4-57	第七中学校
	4-8	天川小学校		4-58	桂萱中学校
	4-9	岩神小学校		4-59	芳賀中学校
	4-10	上川淵小学校		4-60	元総社中学校
	4-11	下川淵小学校		4-61	東中学校
	4-12	桂萱小学校		4-62	南橘中学校
	4-13	桂萱東小学校		4-63	木瀬中学校
	4-14	芳賀小学校		4-64	荒砥中学校
	4-15	総社小学校		4-65	鎌倉中学校
	4-16	元総社小学校		4-66	箱田中学校
	4-17	東小学校		4-67	南橘中学校みやま分校
	4-18	細井小学校		4-68	みずき中学校
	4-19	桃川小学校		4-69	富士見中学校
	4-20	清里小学校		4-70	大胡中学校
	4-21	永明小学校		4-71	宮城中学校
	4-22	駒形小学校		4-72	粕川中学校
	4-23	荒子小学校		4-73	明桜中学校
	4-24	大室小学校	高等学校	4-74	共愛学園高等学校
	4-25	二之宮小学校		4-75	前橋育英高等学校
	4-26	筑井小学校		4-76	支援学校若葉高等学園
	4-27	広瀬小学校		4-77	前橋高等学校
	4-28	大利根小学校		4-78	前橋清陵高等学校
	4-29	桃瀬小学校		4-79	前橋女子高等学校
	4-30	荒牧小学校		4-80	前橋南高等学校
	4-31	勝山小学校		4-81	前橋東高等学校
	4-32	元総社南小学校		4-82	前橋西高等学校
	4-33	桃木小学校		4-83	勢多農林高等学校
	4-34	山王小学校	特別支援学校	4-84	前橋工業高等学校
	4-35	新田小学校		4-85	前橋商業高等学校
	4-36	元総社北小学校		4-86	前橋市立前橋高等学校
	4-37	共愛学園小学校		4-87	群馬大学共同教育学部附属特別支援学校
	4-38	原小学校		4-88	群馬県立盲学校
	4-39	石井小学校		4-89	群馬県立聾学校
	4-40	時沢小学校		4-90	前橋特別支援学校
	4-41	白川小学校		4-91	前橋高等特別支援学校
	4-42	大胡小学校		4-92	赤城特別支援学校
	4-43	滝窪小学校		4-93	しろがね特別支援学校
	4-44	滝窪小学校金丸分校		4-94	赤城養護学校群馬中央総合病院分教室
	4-45	大胡東小学校		4-95	赤城養護学校日赤分校
	4-46	宮城小学校			
	4-47	粕川小学校			
	4-48	月田小学校			
	4-49	わかば小学校			
	4-50	荒牧小学校みやま分校			

種類	No.	名称
大学	4-96	前橋工科大学
	4-97	群馬医療福祉大学
	4-98	共愛学園前橋国際大学
	4-99	群馬医療福祉大学短期大学部
	4-100	前橋国際大学短期大学部
	4-101	群馬大学
	4-102	県民健康科学大学
	4-103	群馬大学
専門学校	4-104	白ゆりファッション専門学校
	4-105	前橋文化服装専門学校
	4-106	群馬調理師専門学校
	4-107	群馬県高等歯科衛生士学院
	4-108	群馬法科ビジネス専門学校
	4-109	群馬県理容専門学校
	4-110	群馬県美容専門学校
	4-111	東日本ブライダル・ホテル・トラベル専門学校
	4-112	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校
	4-113	中央スポーツ医療専門学校
	4-114	中央情報経理専門学校
	4-115	群馬社会福祉専門学校
	4-116	群馬日建工科専門学校
	4-117	群ゼミ A L E X 外語専門学校
	4-118	前橋医療福祉専門学校
	4-119	東日本製菓技術専門学校
	4-120	前橋東看護学校
	4-121	フェリカ建築＆デザイン専門学校
	4-122	中央工科デザイン専門学校
	4-123	東日本栄養医薬専門学校
	4-124	中央動物看護専門学校
	4-125	育英メディカル専門学校
	4-126	群馬動物専門学校
	4-127	ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校
	4-128	中央農業大学校
	4-129	N I P P O N おもてなし専門学校
	4-130	中央高等専修学校前橋校
	4-131	前橋高等看護学院
	4-132	アーツサウンドビジュアル専門学校
	4-133	国際産業技術専門学校
	4-134	NIPPONアントレプレナー専門学校
	4-135	駒形珠算学校
	4-136	前橋准看護学校
	4-137	前橋ニュースタイル編物学院
	4-138	N I P P O N 文化学院
	4-139	NIPPON語学院
	4-140	群馬朝鮮初中級学校
	4-141	N I P P O N へいわ学院
	4-142	群馬工業高等専門学校

(5) 主な観光施設

観光施設は、市内各地に点在が見られます。

■観光施設の立地状況



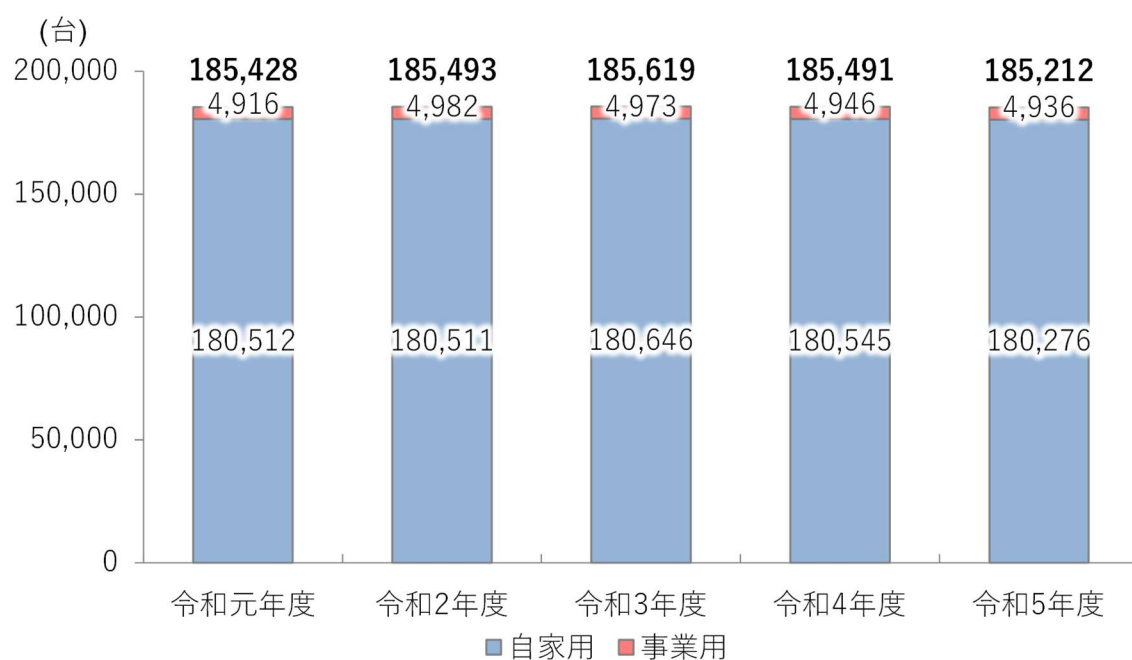
2-1-4 自動車保有状況

自家用車の保有台数は、令和5年度末現在で約185,200台となっています。

1世帯当たりの自家用車保有台数は、令和5年度末現在で1.17台となっています。

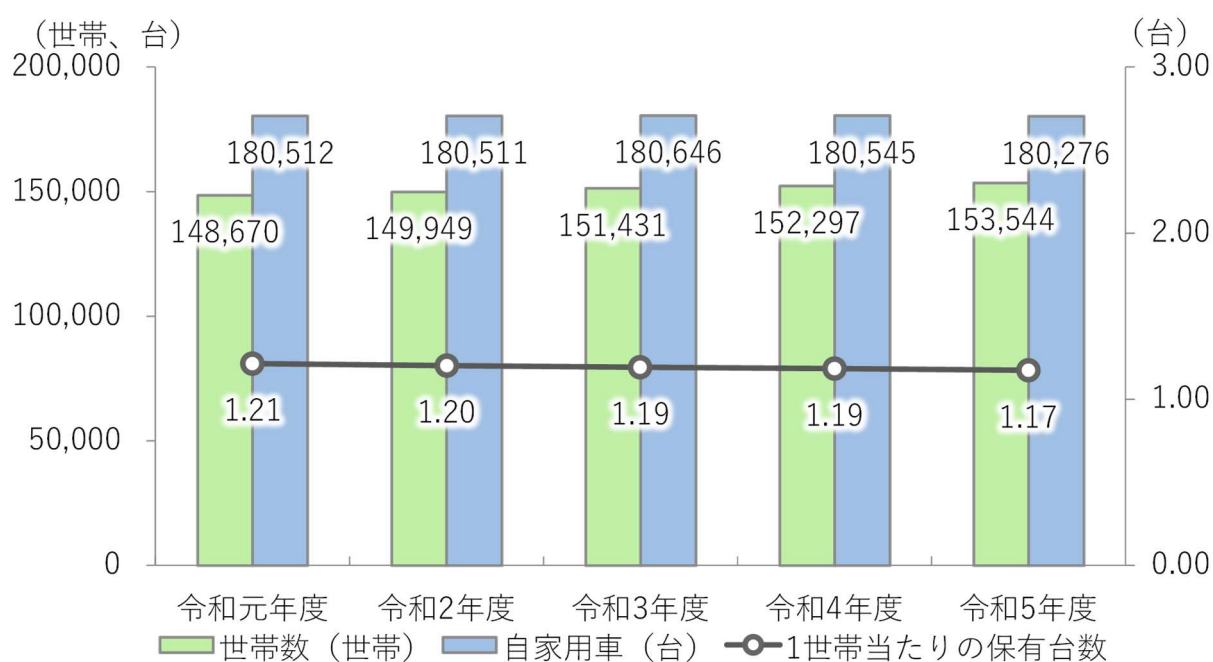
群馬県平均では1.3台（関東運輸局統計情報）となっており、県全体と比較すると若干低い保有台数となっています。

■自動車保有状況の推移



資料：関東運輸局統計情報（各年度末現在）

■1世帯当たりの自家用車保有台数の推移



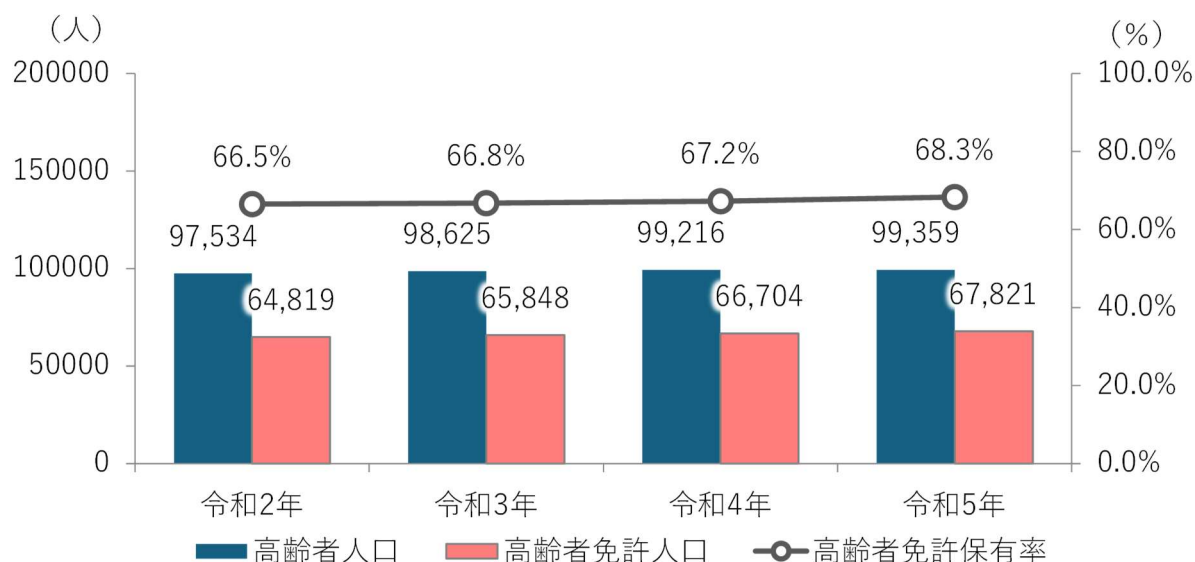
資料：関東運輸局統計情報（各年度末現在）

2-1-5 高齢者の免許保有状況

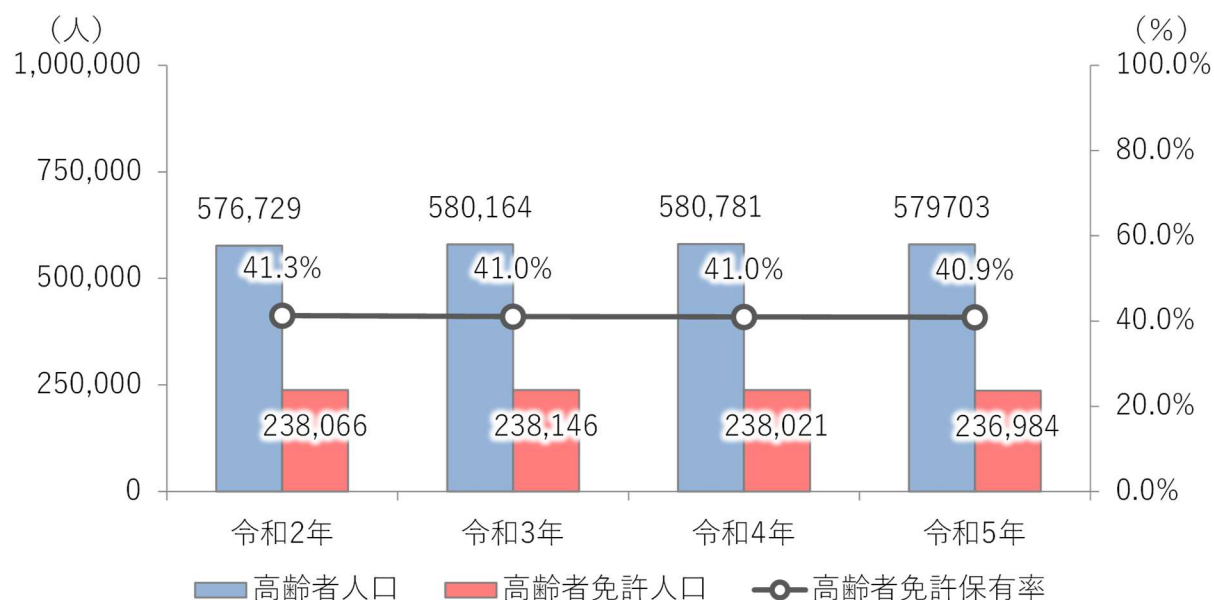
(1) 高齢者の運転免許保有状況

令和5年における65歳以上の高齢者の自動車運転免許保有率は68.3%となっており、群馬県の平均40.9%と比較すると、その保有率は高くなっています。

■前橋市の高齢者（65歳以上）の免許保有状況の推移



■群馬県の高齢者（65歳以上）の免許保有状況の推移



2-1-6 観光来訪者

集計中

2-2 地域公共交通の現状

2-2-1 地域公共交通ネットワーク

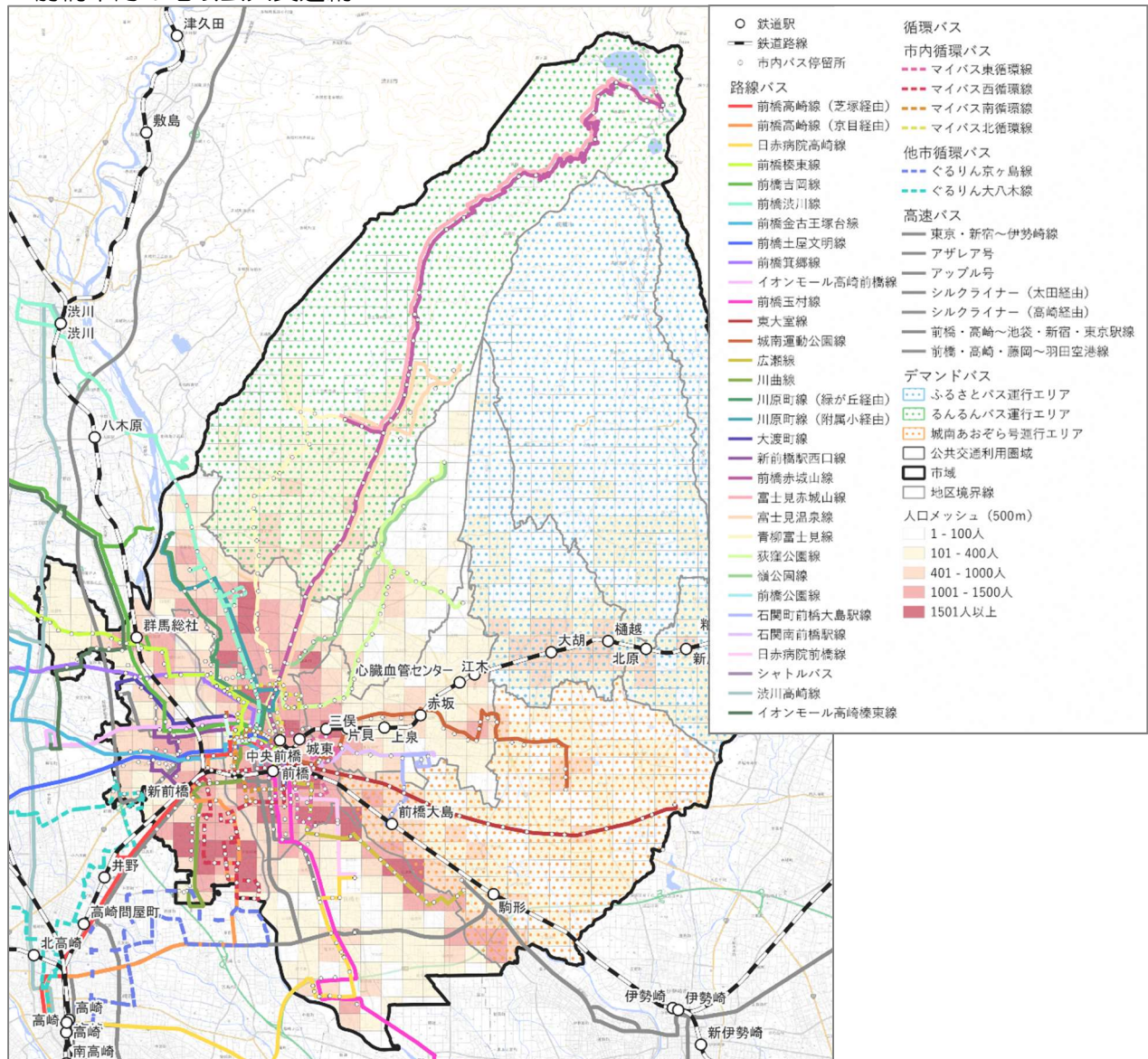
本市の公共交通は、鉄道はJR 両毛線及び上毛電気鉄道が東西、上越線が南北に運行し、広域の地域間の移動を担っています。

路線バスは交通事業者6社が自主路線と補助路線の運行を担っています。前橋駅や新前橋駅を起点として放射状ネットワークで市内外を運行しています。路線数や系統数が多くなっており、系統別に見ると、運行本数が少ない系統も見られます。

また、市街地を循環するマイバス、公共交通空白地域をカバーするデマンドバスが運行しています。

鉄道及び路線バスが利用可能な人口は、約212,833人であり、全人口の約64.3%となっています。（総務省統計局の令和2年国勢調査地域メッシュデータを利用して、鉄道・バス交通のカバー圏域人口を算出。その場合、カバー圏域を鉄道については駅から徒歩800m以内、バスについては停留所から徒歩300m以内としました。）

■前橋市内の地域公共交通網



■前橋市内の地域公共交通の運行状況（鉄道）

交通モード		実施主体	運行エリア	運行本数 (平日上下便数)
鉄道	上毛電気 鉄道	上毛電気鉄道 株式会社	中央前橋駅～西 桐生駅	西桐生方面：約37便 中央前橋方面：約35便 ※最大運賃 690 円 (中央前橋～西桐生)
	両毛線 上越線 吾妻線	JR 東日本	<両毛線> 高崎駅～新前橋 駅～駒形駅～小 山駅 <上越・吾妻線> 高崎駅～新前橋 駅～渋川駅～水 上駅／大前駅	<両毛線> 小山駅方面：約54便 高崎駅方面：約54便 ※最大運賃 1,520 円 (新前橋～小山) <上越・吾妻線> 渋川方面：36便 高崎方面：29便 ※最大運賃 1,340 円 (新前橋～大前)
			■運行概要図 【高崎線】至 東 88 便 (上り) / 83 便 (下り) 【両毛線】高崎 54 便 (上り) / 54 便 (下り) 新前橋 【上越線】新前橋 36 便 (上り) / 29 便 (下り) 渋川 【吾妻線】至 大前 至 伊勢崎・小山	

■前橋市内の地域公共交通の運行状況（バス交通）

交通モード		実施主体		運行エリア	運行本数 (平日上下便数)
路線バス	イオンモール高崎線		群馬バス	イオンモール高崎～榛東村役場	榛東村役場方面：約19便 高崎駅方面：約20便 ※他約2便は祝日並びに12月30日～1月3日のみ運行。
	高崎渋川線	201	関越交通	渋川駅～高崎駅	高崎駅方面：約13便 渋川駅方面：約12便 ※最高900円
		202		渋川駅～高崎駅	高崎駅方面：約3便 渋川駅方面：約3便
		203		群馬温泉～高崎駅	高崎駅方面：約11便 渋川駅方面：約11便 ※最高750円
		205		渋川駅～高崎駅	高崎駅方面：約7便 渋川駅方面：約8便 ※最高900円
		206		群馬温泉～高崎駅	高崎駅方面：約9便 渋川駅方面：約10便 ※最高750円
	日赤病院前橋線	58	群馬バス	前橋駅～けやき～生涯学習センター～朝倉町2丁目～日赤病院前	各々約5便 ※土日祝日と12月30日～1月3日は全便運行無し。
	石関町前橋駅線	57	日本中央バス	前橋公園～前橋駅～保健センター～石関町南	各々1便 ※年末年始は土日祝日ダイヤ ※（最高200円）
	石関町前橋大島駅線	56	永井運輸	前橋大島駅～石関町学園中央(循環)	A：約11便 B：約7便 C：約5便 ※Aは4月8日～5月2日、Bは5月7日～7月26日、Cは8月26日～翌年3月6日に運行(土日祝除く) ※運休日は土日祝祭日、4月1日～5日、7月29日～8月23日、12月23日～1月3日、3月7日～3月31日 ※全区間均一おとな150円(こども80円)、IC運賃おとな147円
	前橋公園線	55A	関越交通	前橋駅～県庁前～前橋公園	各々約6便
		55B		けやきウォーク前橋～前橋駅	約3便
		55E		けやきウォーク前橋～前橋駅～県庁～前橋公園	前橋公園行：約1便 けやきウォーク前橋行：約2便
	嶺公園線	54A・54B	永井運輸	前橋駅～勝沢～嶺公園(54Bは勝沢止まり)	各々約12便 ※内4便は旧盆お彼岸期間のみ運行(令和6年8月13日～16日、9月19日～25日)

					日、令和7年3月17日～23日) ※12月30日～1月3日は、年末年始ダイヤで運行。
	荻窪公園線	53A	永井運輸	前橋公園(前橋駅)～日吉～小坂子	小坂小行：約2便 前橋駅行：約3便
		53B		前橋公園(前橋駅)～福祉会館～小坂子	小坂子行：約8便 前橋駅行：約6便
		53C		前橋公園(前橋駅)～日吉～荻窪公園	前橋公園(前)約2便前 荻窪公園行：約0便
		53E		前橋公園(前橋駅)～福祉会館～荻窪公園	荻窪：5 前橋公園：無
		53F		前橋公園(前橋駅)～日吉～嶺公園	嶺公園行：無 前橋公園行：約1便
		53G		前橋公園(前橋駅)～福祉会館～嶺公園	前橋公園行：約1便 ※12月～
	青柳富士見線	51	日本中央バス	前橋駅～中央前橋駅前～付属小学校前～青柳～田島十字路～富士見公民館～富士見温泉	富士見方面：約13便 前橋駅方面：約14便 ・値段あり
	富士見温泉線	50A	関越交通	前橋駅～中央前橋～富士見温泉	各々約10便
		50B		けやきウォーク～前橋駅～中央前橋～富士見温泉	富士見温泉方面：約6便 けやきウォーク前橋方面：約7便
		50C		けやきウォーク～前橋駅～中央前橋～富士見温泉～青少年交流の家(休日のみ)	平日運行無
		50E		前橋駅～中央前橋～富士見温泉～青少年交流の家(平日のみ・富士見温泉以降デマンド運行)	富士見温泉方面：約1便 けやきウォーク前橋方面：無
		50F		けやき～前橋駅～中央前橋～富士見温泉～青少年交流の家(平日のみ・富士見温泉以降デマンド運高)	富士見温泉方面：無 けやきウォーク前橋方面：約1便 ※50Fは、4月1日～11月3日の月曜～金曜運行。 ※富士見温泉～赤城青年の家間はデマンド運行
	富士見赤城山線	49	関越交通	富士見温泉～赤城山ビジターセンター	赤城山ビジターセンター方面：約2便 富士見温泉方面：約4便 ※時刻表における「△」は、4月1日～11月3日の月曜～金曜の運行。富士見温泉～赤城青年の家間はデマンド運行

前橋赤城山線	48A	関越交通	前橋駅～中央前橋駅～富士見温泉～赤城山ビジターセンター	赤城山ビジターセンター方面：約1便 前橋駅方面：無
前橋赤城山線	48C	関越交通	前橋駅～中前～富士見温泉～赤城山ビジターセンター(急行・土日祝のみ)	富士見温泉方面：約2便 前橋駅方面：無
新前橋駅西口線	47A	群馬中央バス	前橋駅前～立川町通り～新前橋駅西口線	各々約2便
新前橋駅西口線	47B	群馬中央バス	前橋駅前～立川町通り・総社神社～新前橋駅西口線	各々約10便 ※土・日・祝および12/30、31、1/2、3は、土日祝ダイヤで運行。 1/1 元日は運休。 ※系統47Aは産業道路入口～県民共済間のバス停に停車しない
川原町線(付属小経由)	45A	関越交通	群大付小前～総合スポーツセンター	総合SC方面：約2便
川原町線(付属小経由)	45B	関越交通	前橋駅～群大付小前～川原町北	前橋駅方面：約1便
大渡町線	46	関越交通	前橋駅～県庁前～関越交通前橋営業所	関越交通前橋営業所方面：約2便 前橋駅方面：平日運行無
川原町線(緑ヶ丘経由)	44A	関越交通	前橋駅～緑ヶ丘町～川原町北	川原町北方面：約1便 前橋駅方面：約2便
川原町線(緑ヶ丘経由)	44B	関越交通	前橋駅～敷島公園BT～緑ヶ丘町～川原町北	各々約2便
川原町線(緑ヶ丘経由)	44C	関越交通	前橋駅～敷島公園BT～緑ヶ丘町～川原町北～総合スポーツセンター	平日運行無
川曲線	43A	日本中央バス	中央前橋駅～県庁前～新前橋駅～群馬医療福祉大学前	群馬医療福祉大学前方面：約6便 中央前橋駅方面：約7便 ※対距離区間制(最高300円、IC294円)
川曲線	43B	日本中央バス	新前橋駅～群馬医療福祉大学前	群馬医療福祉大学前方面：約15便 新前橋駅方面：約14便
広瀬(駒形)線	42A	日本中央バス	前橋駅～けやきウォーク前橋北～広瀬小学校前～ガーデン前橋	各々約3便 ※対距離区間制(最高470円、IC462円)
広瀬(駒形)線	42B	日本中央バス	前橋公園～前橋駅～けやきウォーク前橋北～広瀬小学校前～ガーデン前橋	各々約2便 ※対距離区間制(最高450円、IC450円)
城南運動公園線	41A	日本中央バス	前橋公園～前橋駅～ココルンシティ～城南運動公園	各々約13便 ※対距離区間制(最高470円、IC462円)

城南運動公園線 東大室線	41B	日本中央バス	前橋駅～ココルンシティ～城南運動公園	平日運行無 ※12月30日～1月3日までは土日祝日ダイヤ。	
	40A	永井運輸	前橋公園～前橋駅～(国道50号)～東大室	各々約13便	
東大室線 前橋玉村線	40B	永井運輸	前橋駅～(国道50号)～東大室	約1便 ※今改正より、「旧日赤前」は、「ココルンシティ入口」に、「前橋医療センター前」は「朝日町団地」に改称	
	30A		前橋公園～玉村町役場	玉村町役場方面：約10便 前橋公園方面：約9便	
前橋玉村線	30B	永井運輸	玉村町役場～新町駅(市外のみ)	※各々約11便	
	30C		前橋公園～六供町～中央通り	中央通り方面 前橋公園方面：約1便	
	30E		前橋駅～六供町～下川団地中央	各々約1便	
	30F		前橋公園～後閑町入口	後閑町入口方面：約1便 前橋公園方面：約2便	
	30G		前橋駅～後閑町入口	後閑町入口方面：約2便	
	30H		前橋駅～前橋公園	平日運行無	
	30J		前橋公園～けやきウォーク南～中央通り	中央通り方面：約9便 前橋公園方面：約8便	
	前橋箕郷線	30K	永井運輸	前橋駅～けやきウォーク南～中央通り	中央通り方面：約2便 前橋方面：約5便 ※令和4年4月改定より、玉村町役場より先の新町方面へ行く方は、玉村町役場で清算し乗り換えとなる。同じバスが行く場合も同様。
群馬バス				前橋駅～本市～大渡橋～明和県央高校～箕郷営業所	各々約3便
群馬バス				前橋駅～県庁前～前橋公園～イオンモール高崎	イオンモール高崎方面：約8便 前橋駅方面：約9便
前橋金古王塚台線	25A	関越交通	前橋駅～足門～金古王塚台団地	約4便	
前橋金古王塚台線	25B	関越交通	前橋駅～足門～金古王塚台団地	約3便 ※年末年始12/30～1/3の間は祝日ダイヤの運行	
前橋土屋文明線	26A	関越交通	前橋駅～三ツ寺～土屋文明文学館線	各々約7便	
前橋土屋文明線	26B	関越交通	けやきウォーク前橋～前橋駅～三ツ寺～土屋文明文学館線	平日運行無	
前橋渋川線	22A	関越交通	けやきウォーク前橋～前橋駅～	渋川駅方面：約24便 前橋駅方面：約15便	

				(国道 17 号)～ 渋川駅	
	前橋渋川 線	22B	関越 交通	けやきウォーク 前橋～前橋駅～ (国道 17 号)～ 群大荒牧～渋川 駅	渋川駅方面：約 10 便 前橋駅方面：約 6 便
		22C		けやきウォーク 前橋～前橋駅～ (国道 17 号)～ 南橋団地～渋川 駅	渋川駅方面：約 5 便 前橋駅方面：約 4 便
		22E		前橋駅～(国道 17 号)～小児医 療センター	渋川駅方面：約 1 便 前橋駅方面：約 3 便
		22F		前橋駅～(国道 17 号)～群大荒 牧	渋川駅方面：約 3 便 前橋駅方面：無
		22G		前橋駅～(国道 17 号)～群大荒 牧	渋川駅方面：約 3 便 前橋駅方面：約 3 便
		22H		けやき～前橋駅 ～(国道 17 号) ～南橋団地～群 大荒牧	渋川駅方面：約 3 便 前橋駅方面：約 10 便
		22J		前橋駅～(国道 17 号)～群大病 院	渋川駅方面：約 1 便 前橋駅方面：約 1 便
		22K		前橋駅～(国道 17 号)～群大病 院～群大荒牧	渋川駅方面：約 11 便 前橋駅方面：約 6 便
		22M		けやき～前橋駅 ～(国道 17 号) ～群大病院～南 橋団地～群大荒 牧	渋川駅方面：約 5 便 前橋駅方面：約 1 便
	前橋吉岡 線	19B	日本 中央 バス	前橋駅～県庁前 ～新大久保橋～ よしおか温泉～ 上野田四つ角	各々約 2 便 ※対距離区間制(最高 640 円、IC 639 円)
	前橋吉岡 線	19C	日本 中央 バス	前橋駅～県庁前 ～群馬総社駅～ 新大久保橋～よ しおか温泉～上 野田四つ角	各々約 1 便 ※対距離区間制(最高 640 円、IC 639 円)
		19E		群馬総社駅～新 大久保橋～よし おか温泉～上野 田四つ角	各々約 1 便 ※対距離区間制(最高 370 円、IC 367 円) ※12 月 30 日～1 月 3 日ま では土日祝日ダイヤ
	前橋榛東 線	18A	日本 中央 バス	前橋駅～原鳩屋 北～青梨小～八 幡橋～上野田四 つ角	各々約 3 便 ※対距離区間制(最高 640 円、IC 639 円)
	前橋榛東 線	18B	日本 中央 バス	前橋駅～原鳩屋 北～青梨小～八 幡橋～榛東村役 場～しんとう温 泉	各々約 6 便 ※対距離区間制(最高 720 円、IC 713 円)
		18C		前橋駅～原鳩屋 北～青梨小～八 幡橋～榛東村役	各々約 1 便 ※対距離区間制(最高 720 円、IC 713 円)

	日赤病院 高崎線		群馬 バス	場～しんとう温泉～桃泉	
		18E		前橋駅～原鳩屋北～青梨小～自衛隊前～八幡橋～上野田四つ角	各々約2便 ※対距離区間制(最高640円、IC639円)
		18F		前橋駅～原鳩屋北～青梨小～自衛隊前～八幡橋～榛東村役場～しんとう温泉～桃泉	各々約1便 ※対距離区間制(最高720円、IC713円)
		18G		前橋駅～原鳩屋北～青梨小～自衛隊前～八幡橋～桃泉	前橋駅方面：約1便 ※対距離区間制(最高720円、IC713円) ※12月30日～1月3日は土日祝日ダイヤ
		14		高崎駅～鶴光路町～前橋南高～日赤病院	各々約2便 ※土日祝日並びに12月30日～1月3日は全便運行しない。
	前橋高崎線(京目経由)	13	上信 観光 バス	前橋駅～大利根団地・京目経由～高崎駅	各々約18便 ※内各々約3便土曜・日曜・祝日、1月2日・3日及び12月30日・31日運休 ※1月1日全便運休
	前橋高崎線(芝塚経由)	11B	群馬 中央 バス	高崎駅前～芝塚・日高病院～前橋駅前	各々約3便
	前橋高崎線(芝塚経由)	11A	群馬 中央 バス	高崎駅前～芝塚・日高～前橋駅前	各々約13便 ※土日祝、12月30～31日、1月2～3は土日祝日ダイヤの運行。1月1日は運休。 ※11Aは日高病院バス停に停車しない。
		7・8		高崎駅東口～高崎駅東口	各々約9便 ※内各々約1便は大沢町発。 ※他各々約2便は祝日、12月30～31日、1月2～3日運行。
	シャトルバス	59A	日本 中央 バス	中央前橋駅～前橋駅	前橋駅行：約26便 中央前橋駅行：約25便 ※対距離区間制(最高180円)小人は半額。
シャトルバス	シャトルバスアップル号	59B	日本 中央 バス 関越交通 株式会社 沼田 営業所	中央前橋駅～けやきウォーク	けやきウォーク前橋行：約22便 中央前橋駅行：約20便 ※対距離区間制(最高200円)小人は半額。 ※12月30日～1月3日までは土日祝日ダイヤ。

					※前橋駅とけやきウォーク前橋間の運行は、土日祝日のみ。
				沼田駅～群大病院	各々約 7 便 ※おとな 950 円 こども 480 円(片道運行) ※令和 6 年 6 月 1 日以降 4 便へ減便予定。
高速バス	東京・新宿本庄・伊勢崎線		ジェイアールバス関東株式会社/群馬中央バス(運行委託)	東京駅八重洲～前橋駒形(群馬中央バス前橋営業所)	各々約 5 便 ※2024 年 3 月 15 日ダイヤ改正 ※東京駅/バスタ新宿⇄ふかや花園プレミアム・アウトレット 1450 円 本庄沼和田～伊勢崎オートレース場前 1680 円 ※ネット割あり。 ※群馬中央バス委託便は交通系 IC カードの利用不可。
高速乗りの合いバス (路線バス)	アザレア号		関越交通株式会社/千葉交通株式会社	前橋関越交通営業所～成田空港第 1 ターミナル	各々約 4 便 ※(内 1 便が東京ディズニーランド経由) ※前橋営業所⇄東京ディズニーランド 4300 円、成田空港 5300 円(小児半額) ※2024 年 3 月 1 日便数改定
	シルクライナー 前橋・高崎～池袋・新宿・東京駅線		日本中央バス	前橋・高崎～池袋・新宿・東京駅	東京駅方面：約 3 便 前橋駅方面：約 2 便 ※運賃最大 2700 円
	シルクライナー 前橋・高崎・藤岡～羽田空港線			前橋・高崎・藤岡～羽田空港	羽田空港方面：約 5 便 前橋バスセンター方面：約 6 便 ※運賃最大 4200 円(大人片道)
マイバス	北循環(右回りのみ)			Q の広場前～前橋公園前～中央前橋駅～Q の広場前	約 30 便
	南循環(左回りのみ)			Q の広場前～中央病院前～前橋駅(北口 3 番のりば)	約 30 便
	西循環(左・右回り)			新前橋駅(東口 1 番のりば)～わかば病院～新前橋駅(東口 1 番のりば)	各々約 9 便 ※左 9 便、右 9 便は、土曜日・日曜日・祝日ならび 12 月 30 日から 1 月 3 日は運休
	東循環(左・右回り)			新前橋駅(東口 1 番のりば)～前橋駅(北口 3 番のりば)～大利根ショッピング	各々 12 便 ※ただし前橋三大まつりの日は運行

				グセセンター～わかば病院～新前橋駅（東口 1 番のりば）	※左 12 便、右 12 便は、土曜日・日曜日・祝日ならび 12 月 30 日から 1 月 3 日は運休
デマンドバス				[赤城タクシー] ふるさとバス、城南あおぞら号 [関越交通] るんるんバス	

2-2-2 鉄道

(1) 運行概要

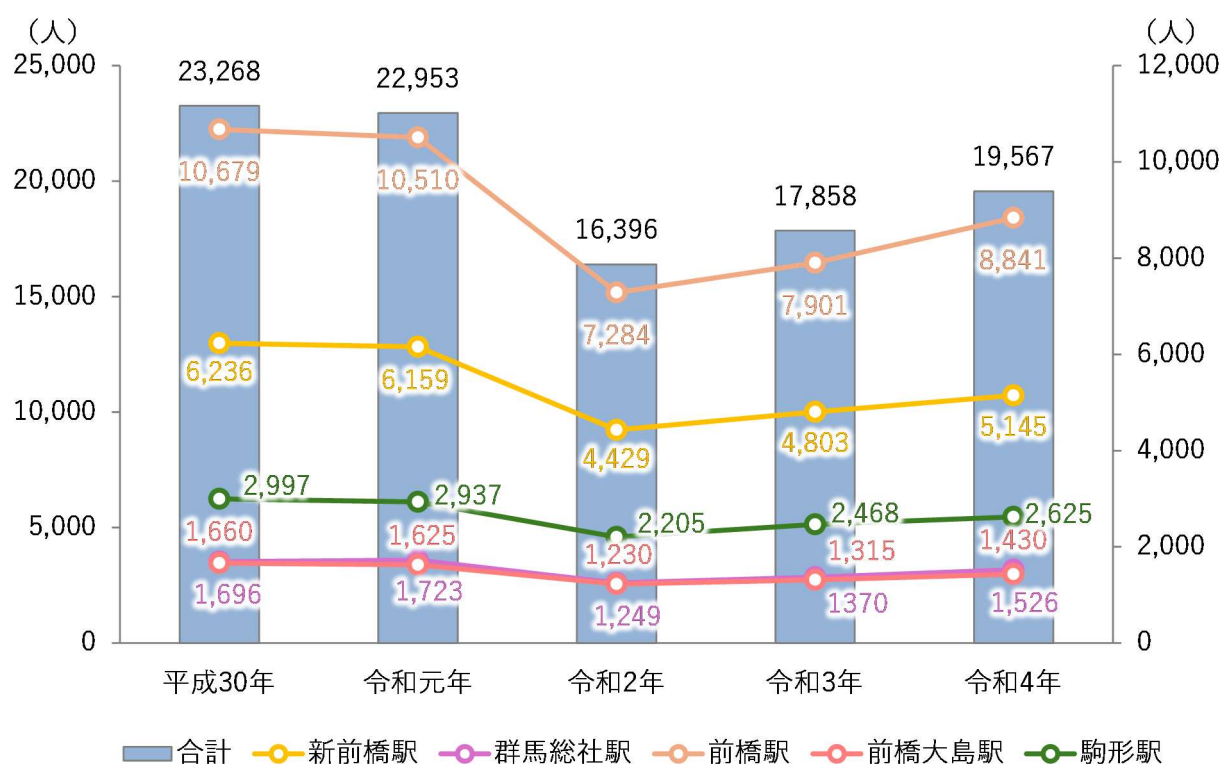
JR 両毛線が東西に貫くように運行しており、前橋駅は市内交通との結節点として重要な位置にあります。また、市西部では JR 上越線が南北に運行しています。両線は新前橋駅で接続しており、ともに高崎駅方面からのアクセスを担っています。

その他の路線では、中央前橋駅を起点に、桐生市方面に上毛電鉄が運行しており、本市内においては地域間輸送を担う交通サービスのひとつとして機能しています。

(2) 利用状況

令和 4 年度の前橋駅の 1 日平均乗車人員は、8,841 人となっています。

■ 1 日平均乗車人員



資料：前橋市統計書

上毛電気鉄道は
集計中

2-2-3 路線バス

(1) 運行概要

路線バスは、6つの事業者による34路線が運行している。いずれも前橋駅とその周辺を起点に運行しており、市域内のみで運行する路線のほか、隣接する渋川市、吉岡町、榛東村、高崎市へ接続する路線が運行されています。

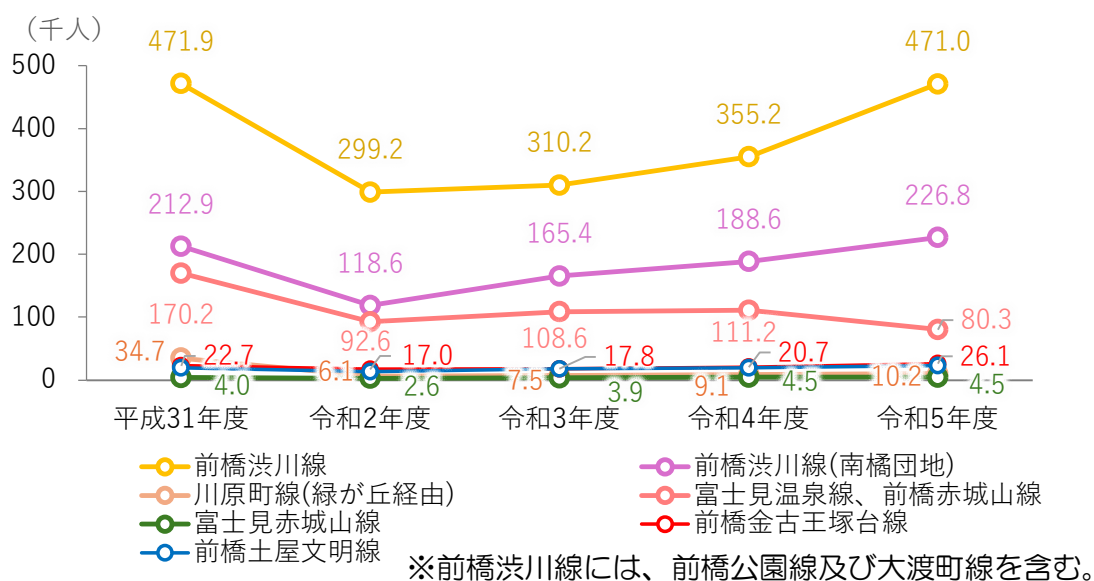
その他では、市が運行するコミュニティバスの「マイバス」が市街地を中心に4路線運行されています。

(2) 利用状況

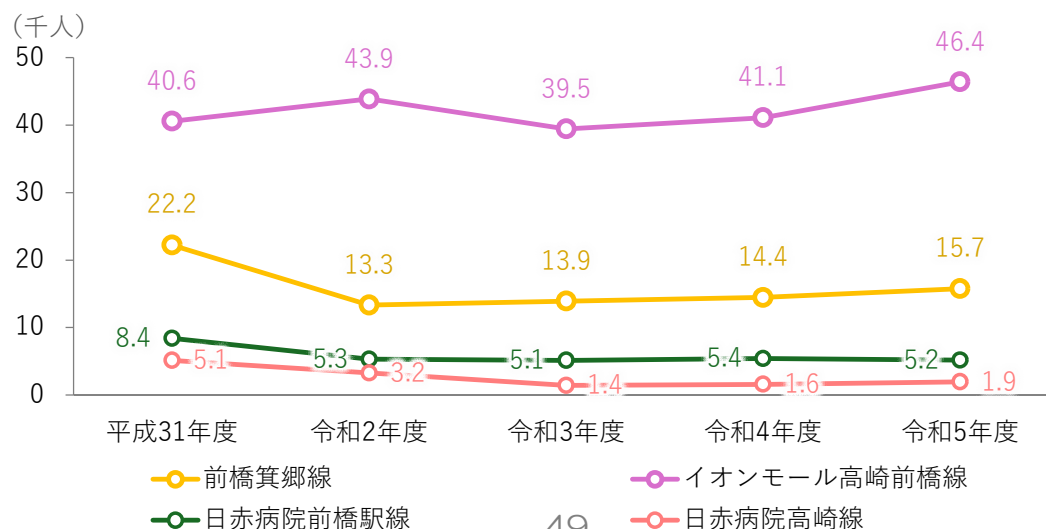
年度別輸送人員を見ると、コロナ禍の影響で令和2年度に減少した路線については、その多くが回復傾向にあり、一部の路線ではコロナ禍以前の水準で運行しています。

一方で、富士見温泉・前橋赤城山線、青柳富士見線など、直近で減少傾向にある路線も見受けられます。

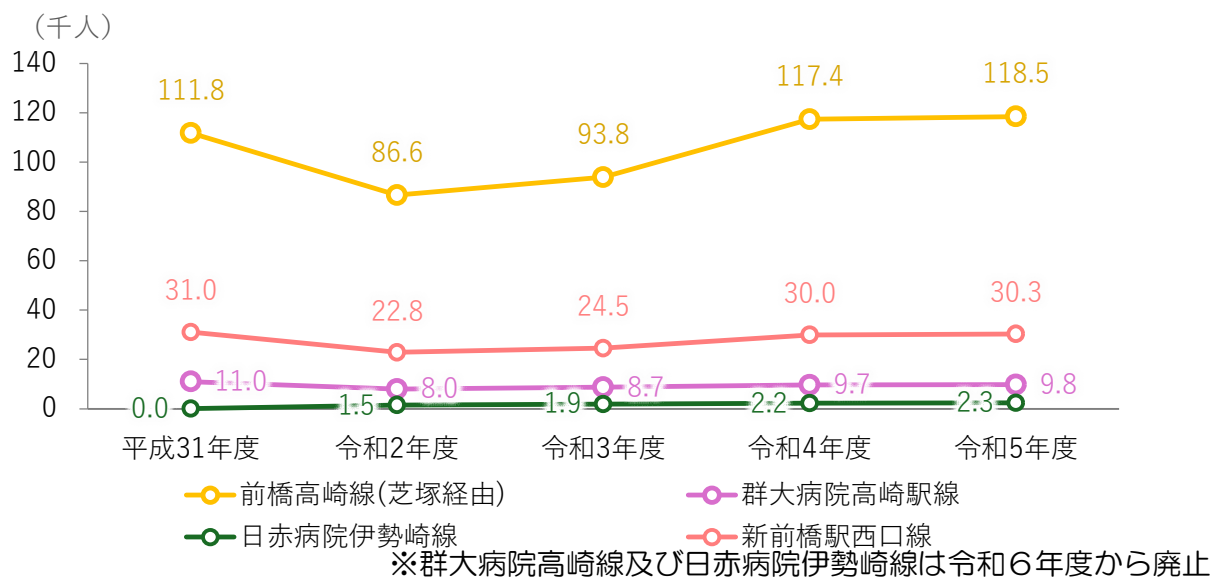
■路線別・年度別輸送人員 (関越交通)



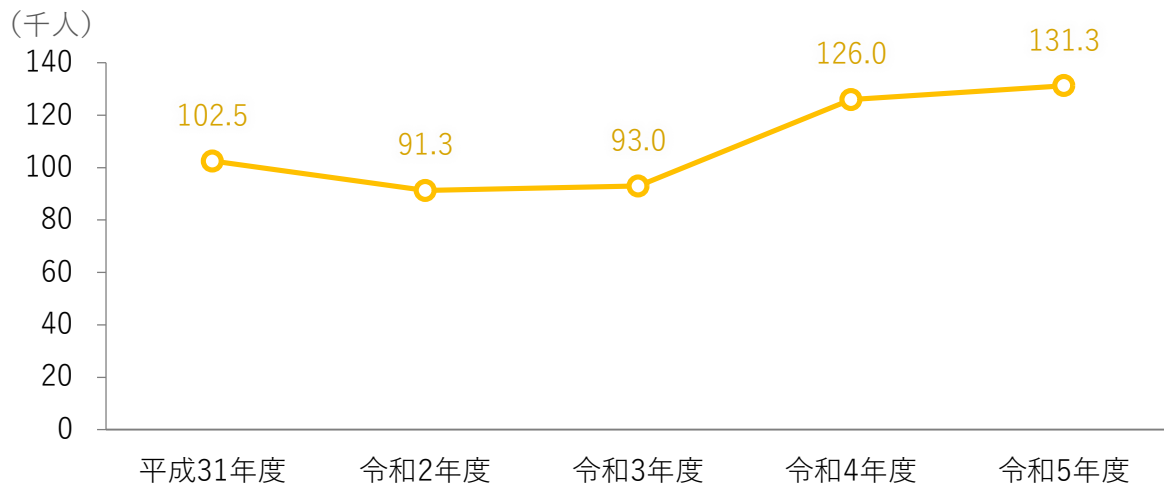
(群馬バス)



(群馬中央バス)

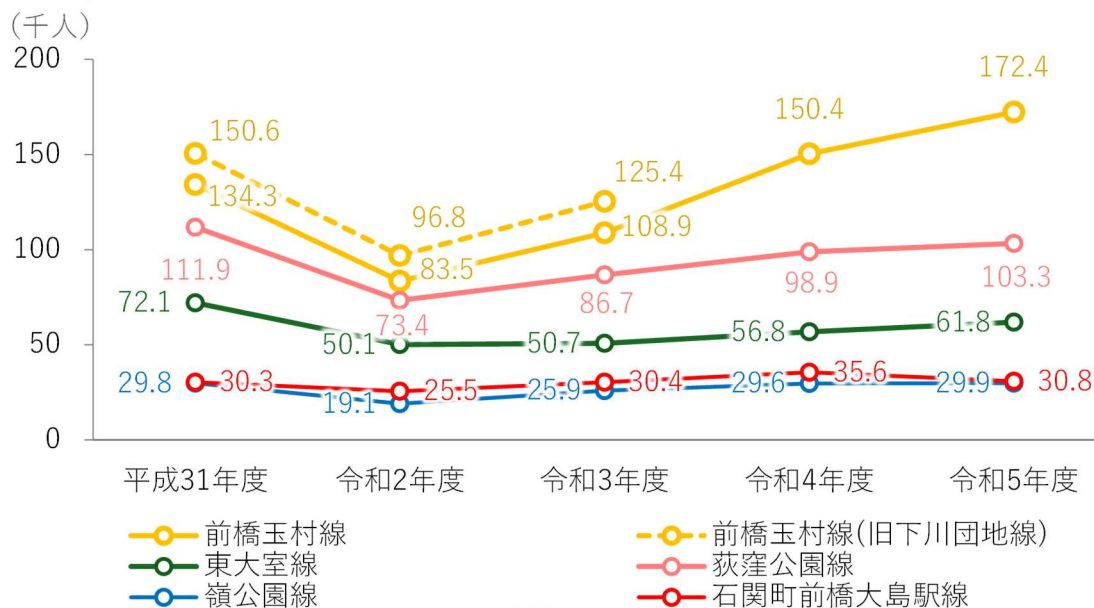


(上信観光バス)

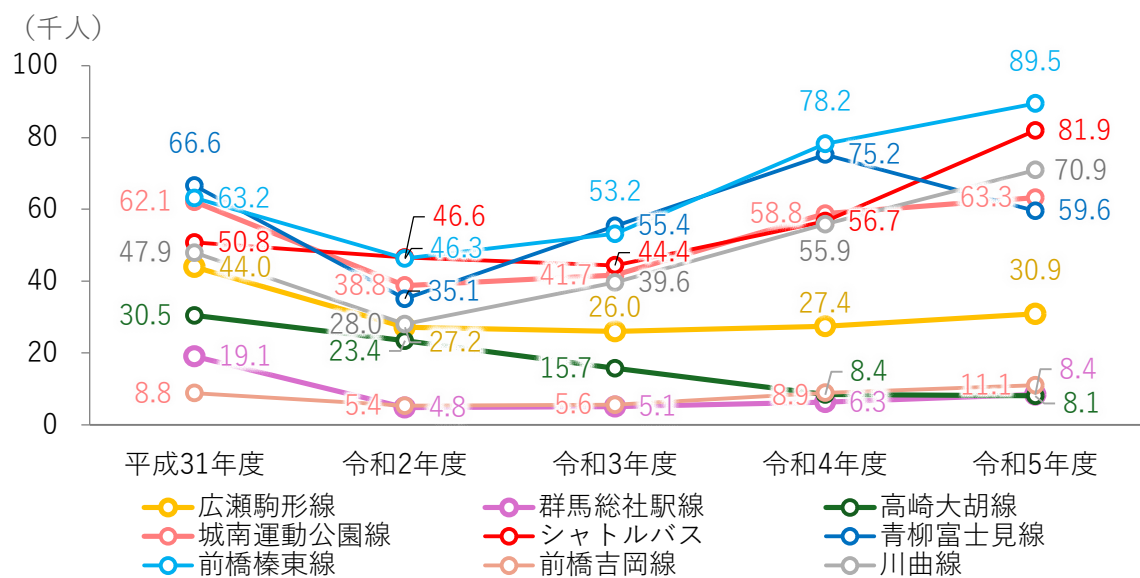


前橋高崎線(京目経由)

(永井運輸)



(日本中央バス)



※群馬総社駅線及び高崎大胡線は令和6年度から廃止

2-2-4 コミュニティバス

(1) 運行概要

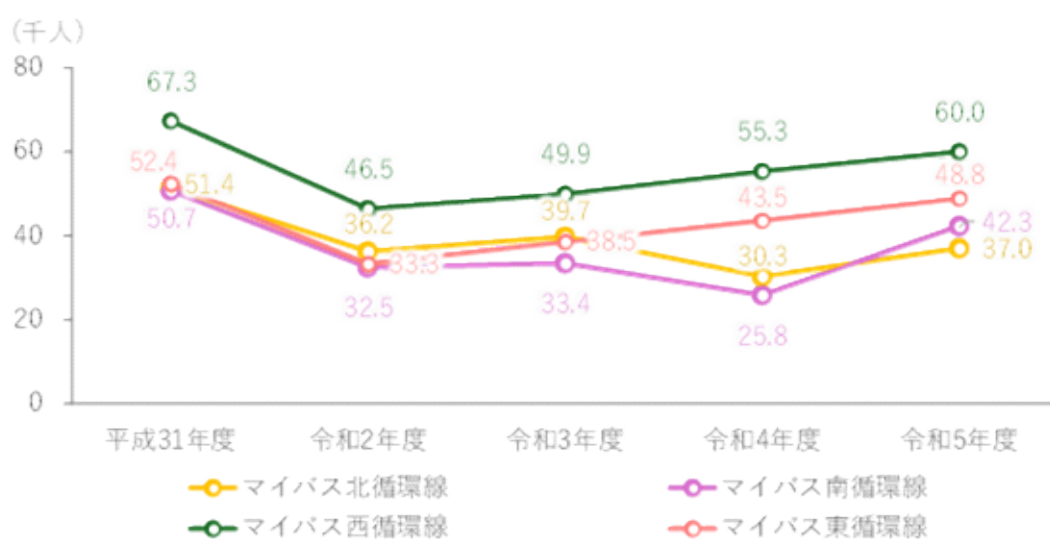
路線バスの他に、市が運営するコミュニティバス「マイバス」が、前橋駅を起点に市街地を循環する4路線が運行されています。

(2) 利用状況

北循環、南循環線では、令和4年度に一時的な減少が見られたものの、それ以外ではいずれの路線も、コロナ禍の影響による令和2年度の減少からは回復傾向にあります。

1) コミュニティバス全体の利用者数

■年度別利用者数



2-2-5 デマンド交通

(1) 運行概要

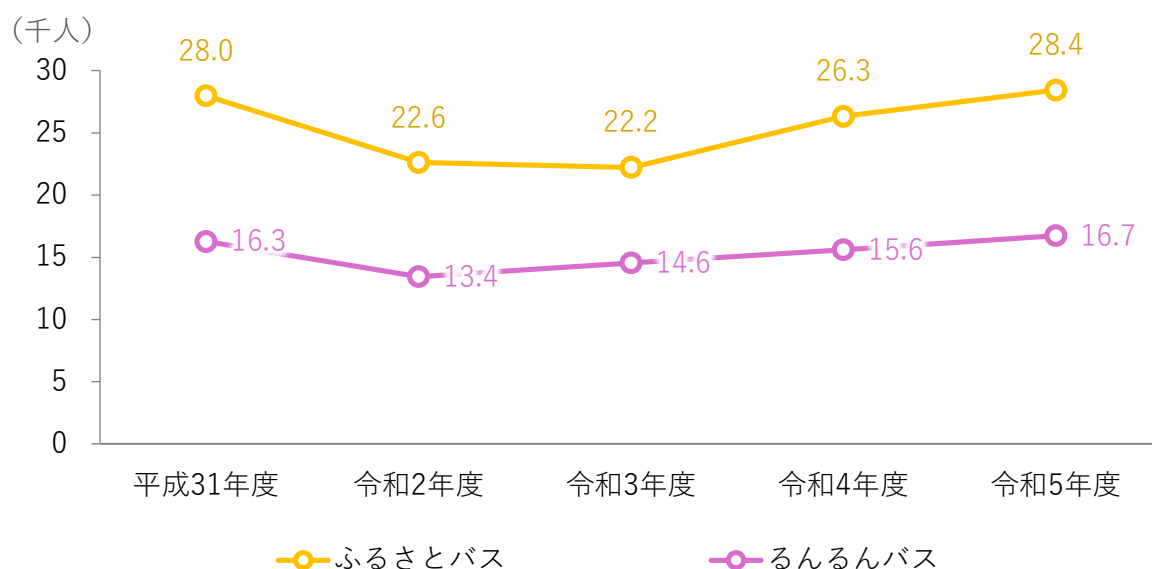
定時定路線型で運行する既存の公共交通で対応できない区域における移動手段の確保を目的に、デマンド型の交通サービスとして、大胡、宮城、粕川地区にて「ふるさとバス」、富士見地区にて「るんるんバス」、城南地区で「城南あおぞら号」の運行が行われています。

(2) 利用状況

1) 輸送実績

令和5年度の輸送実績は、ふるさとバスが約28,400人、るんるんバスが約16,700人となっており、いずれも直近では増加傾向が続いています。

■前橋市デマンドバスの年度別輸送実績



2-2-6 タクシー

(1) 運行概要

前橋市では移動困難者対策としてマイタク（タクシー運賃の補助制度）を実施しています。前橋市内のタクシー事業者を利用した際、運賃の一部を前橋市が支援しています。

前橋市では、タクシーについても移動支援を支える公共交通として機能しています。

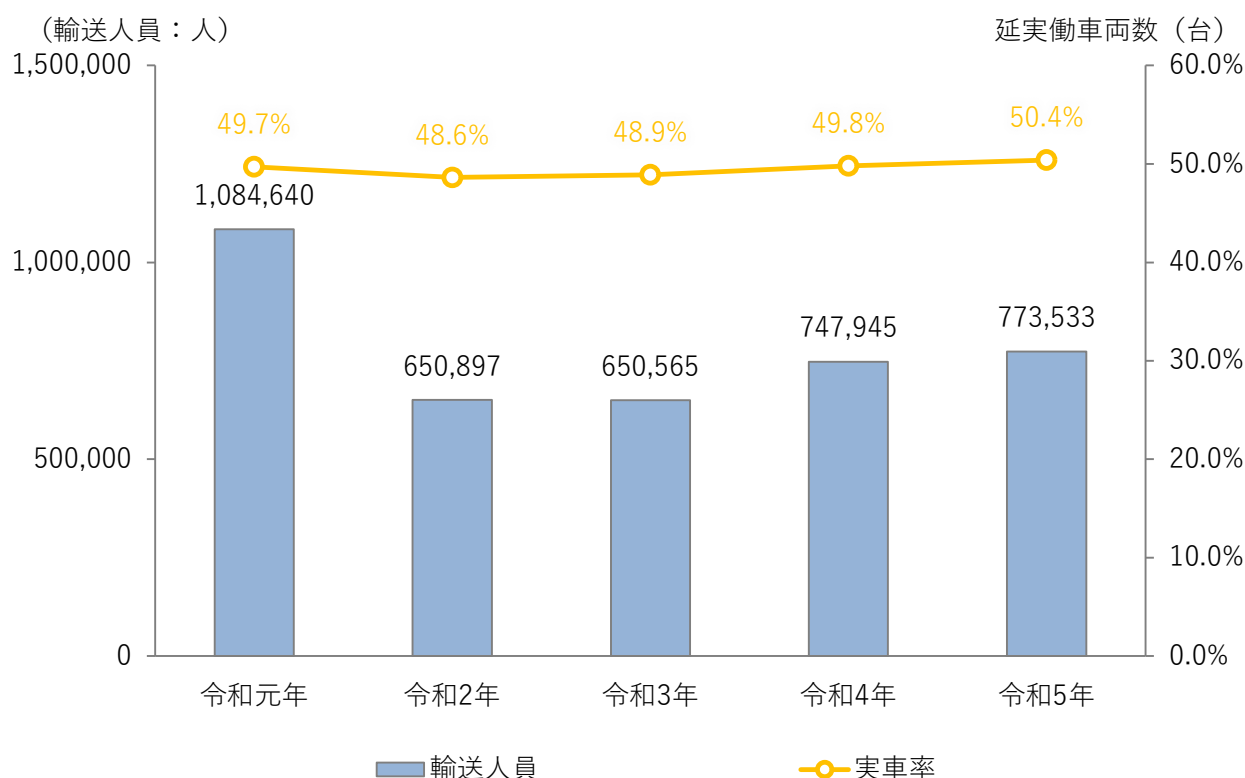
なお、マイタクの対象者の要件としては、市内に住所を有するほか、以下のいずれかに該当する必要があります。

- ア 満75歳以上
- イ 満65歳以上で運転免許証を持たないこと
- ウ 障害者手帳等を所持していること
- エ 福祉有償運送の利用をしていないこと
- オ 自家用車に係る税の減免、免除を受けていないこと
- カ 運転免許証を自主返納していること

(2) 利用状況

1) 輸送実績

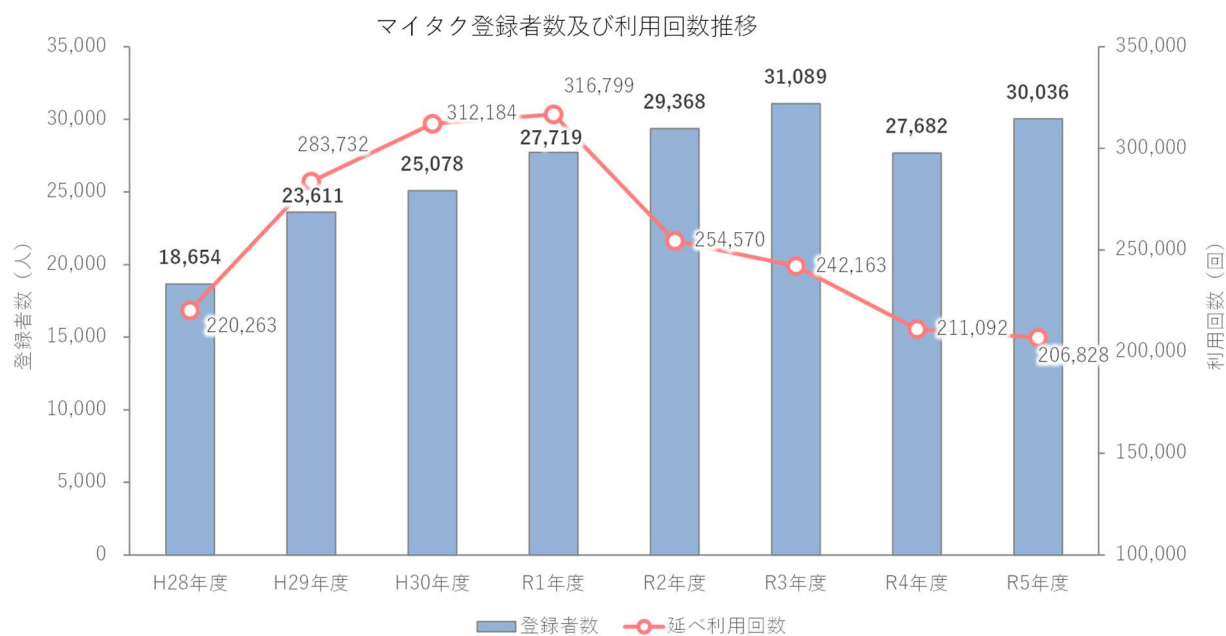
市内タクシーの令和5年の輸送実績は、773,533人となっており、コロナ禍以降、増加傾向となっています。実車率は、50%程度で推移しています。



資料：群馬県タクシー協会提供

2) マイタクの利用状況

マイタクの令和5年度の登録者数は、30,036 人となっており、近年は横ばいの状況です。マイタクの令和5年度の利用回数は、206,828 回となっており、コロナ禍以降、減少傾向で推移しています。



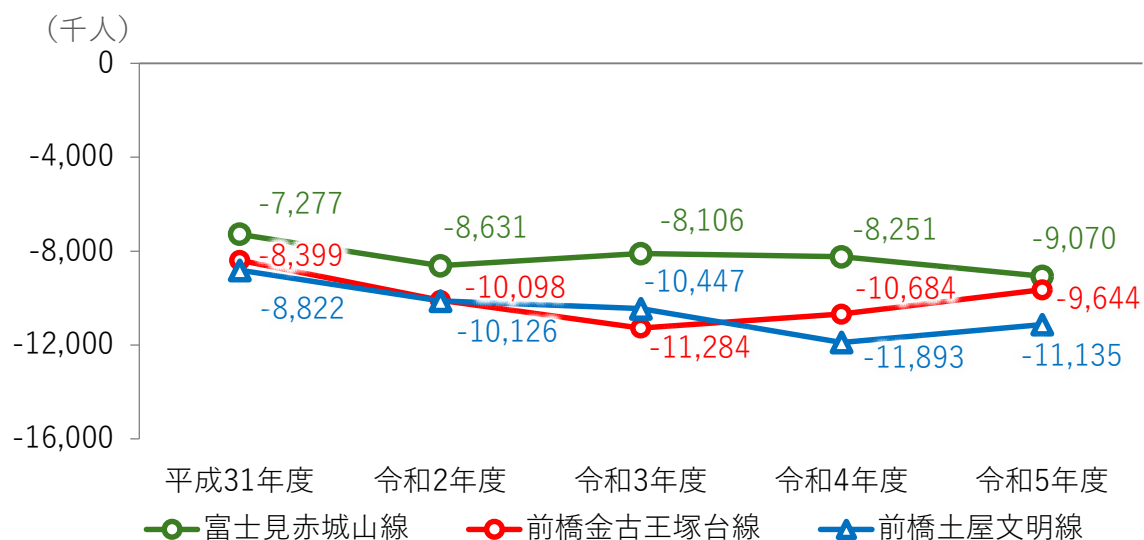
2-2-7 収支状況（路線バス欠損額）

（1）路線バス

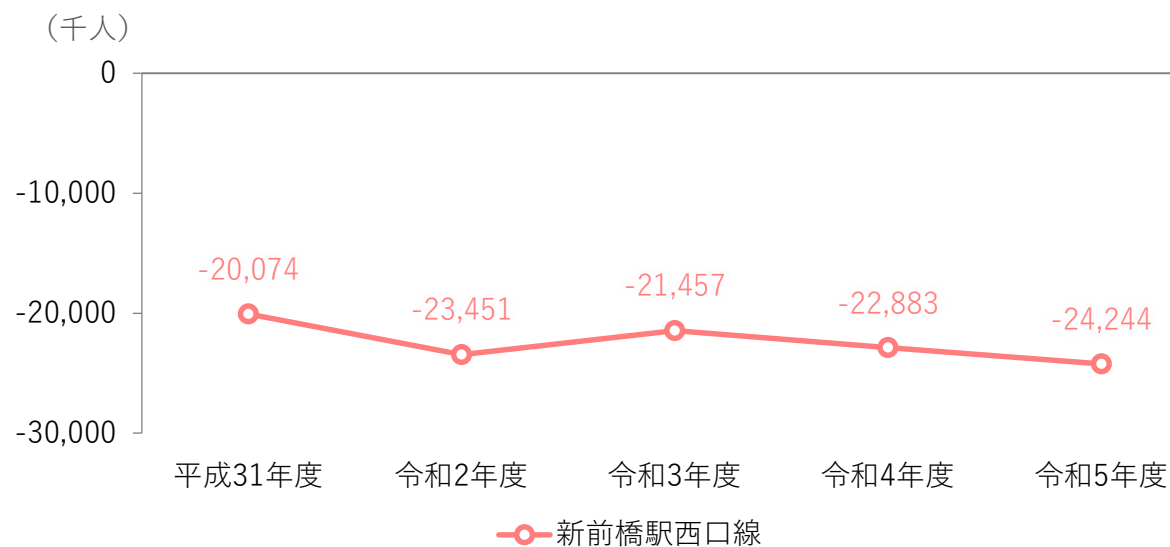
路線ごとの欠損額を見ると、年度によって増減はあるものの、長期的に見ると多くの路線で増加傾向にあります。ただし、シャトルバス、前橋吉岡線は減少傾向にあります。

■ 路線別・年度別欠損額

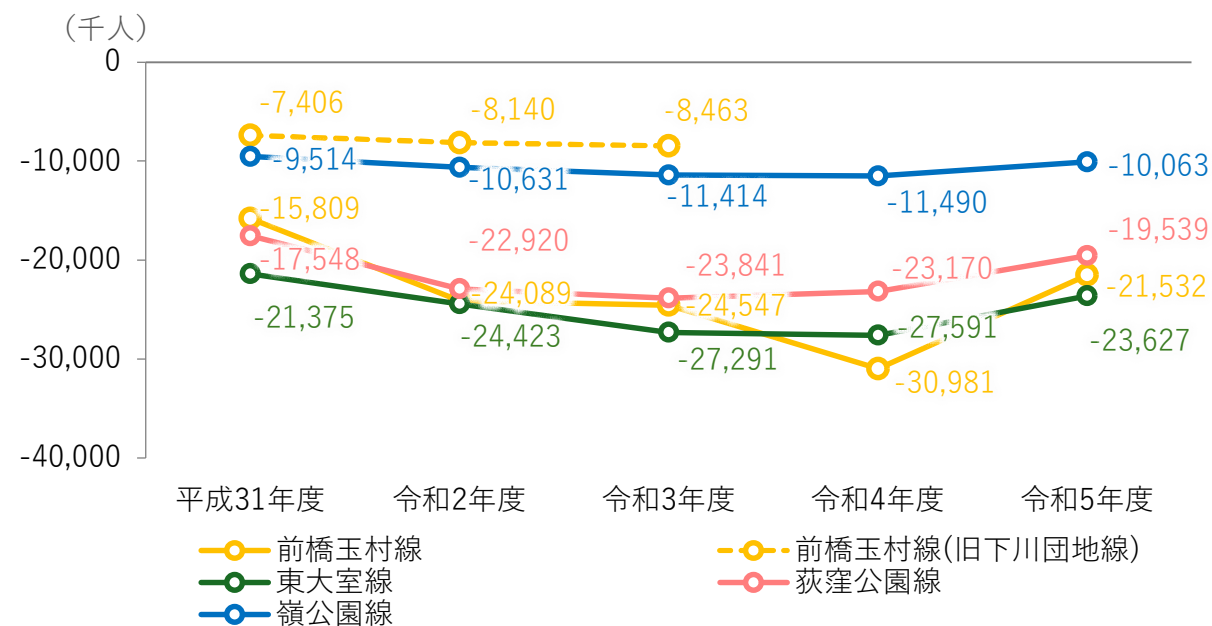
（関越交通）



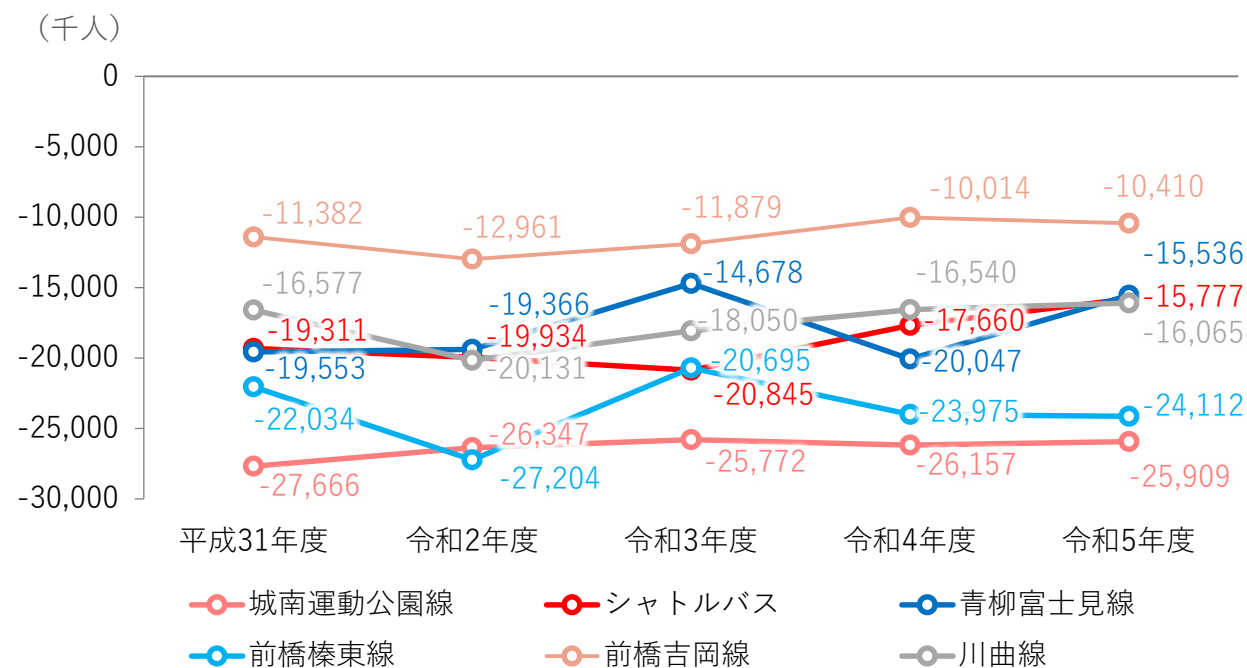
（群馬中央バス）



(永井運輸)



(日本中央バス)

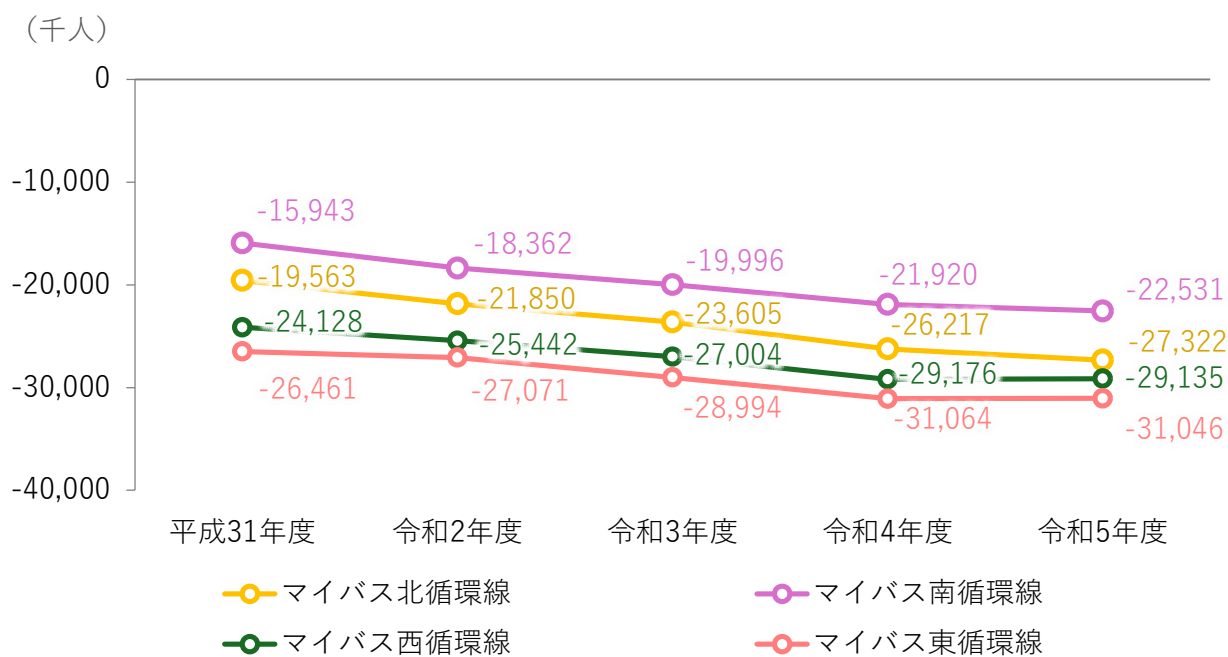


資料：前橋市提供

(2) コミュニティバス

コミュニティバスの欠損額を見ると、すべての路線で増加傾向が続いています。

■路線別・年度別欠損額

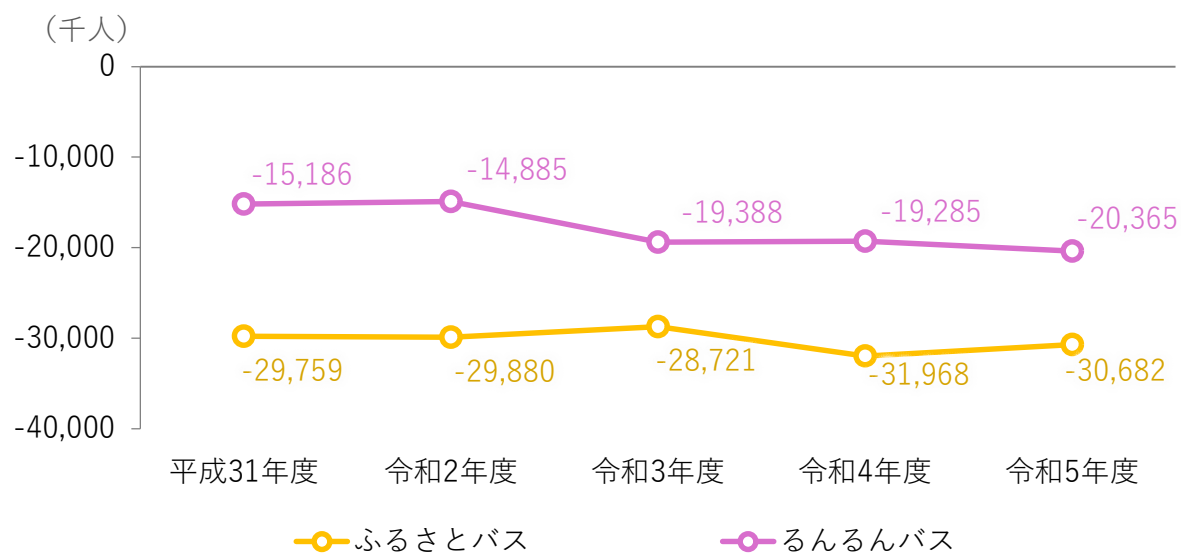


資料：前橋市提供

(3) デマンド交通

デマンド交通の欠損額を見ると、緩やかですが増加傾向にあります。

■路線別・年度別欠損額



資料：前橋市提供

2-3 各種調査結果の概要

別添資料にて報告

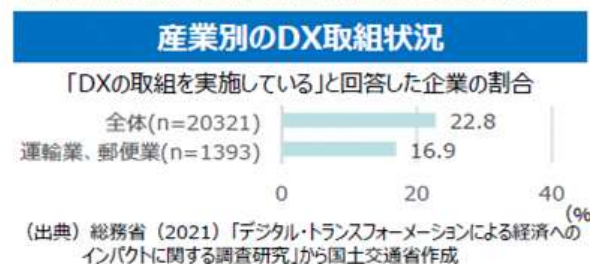
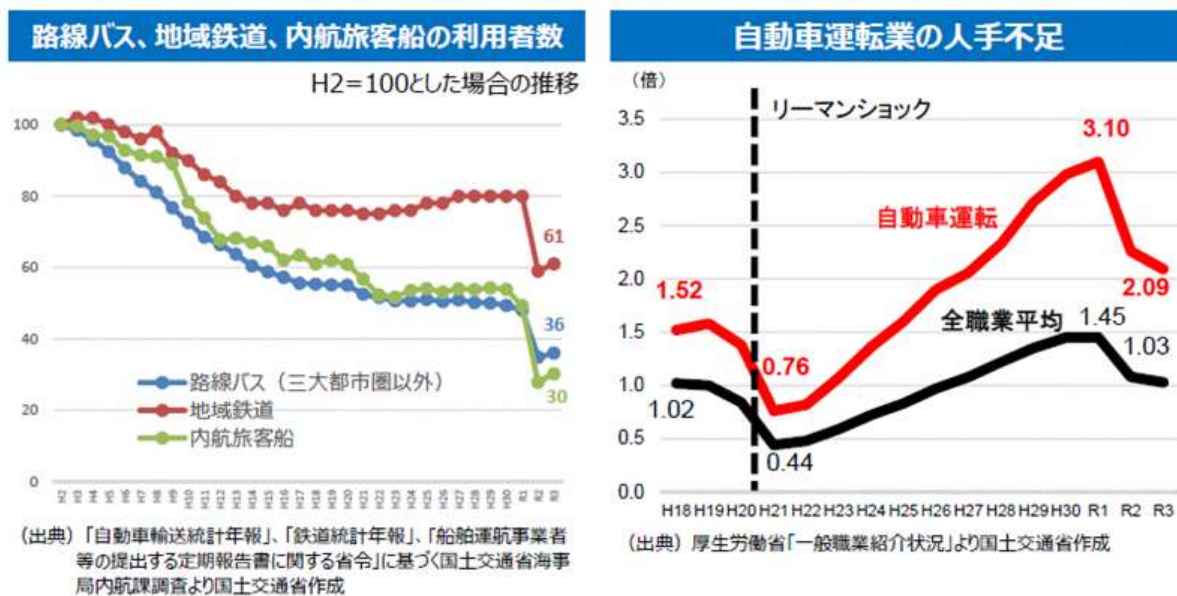
2-4 全国的な公共交通事業者の現状

長期的な利用者の減少、コロナの影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化し、コロナ後も利用者数がコロナ以前の水準までには回復していない状況となっています。

路線バスや地域鉄道について、多くの事業者が赤字となっており、回復の見通しが厳しいことから、今後の安定的な公共交通サービスの提供に課題を抱えています。

これに加えて、近年の物価や燃料費の高騰によって、公共交通サービスの運行費用が増加しており、運行事業者の経営をさらに圧迫する要因となっています。

また、乗務員の確保という点でも、自動車（バス・タクシー）の運転業務の賃金水準は低く、人手不足が深刻化（有効求人倍率は全職業平均の2倍程度の水準で推移）していることや、2024年の働き方改革に伴う法整備により、路線維持に必要な人員が増加したことで生じた人手不足を要因とする、路線バスの休廃止などの動きが拡大していくおそれがあります。



2-5 上位・関連計画において公共交通に求められる役割

前橋市地域公共交通計画は、「第七次前橋市総合計画」「前橋市都市計画マスタープラン」を上位計画とし、これに掲げられている将来都市像やまちづくりの目標を実現するため、公共交通の分野から取り組む計画として位置付けられます。

加えて、関連計画における取組の方向性とも整合を図ることが必要であるため、これらの上位・関連計画の概要、更には同計画内における公共交通関連施策等の位置付けを整理する必要があります。

■公共交通に関連する上位・関連計画一覧

計画の名称	策定年度
第七次前橋市総合計画（2021 年度改訂版）	令和3年3月
前橋市都市計画マスタープラン	令和2年5月
前橋市立地適正化計画	令和6年7月（改訂）
第3期県都まえばし創生プラン(前橋市デジタル田園都市構想総合戦略)	令和6年3月
前橋市市街地総合再生計画	令和元年7月（改定）
前橋市住生活基本計画	令和3年3月（改定）
前橋市アーバンデザイン	令和元年9月
まえばしスマイルプラン ～老人福祉計画・第9期介護保険事業計画～	令和6年3月

2-5-1 第七次前橋市総合計画

「第七次前橋市総合計画」は、本市のまちづくりの根幹となる最上位計画に位置付けられており、総合的かつ計画的なまちづくりの指針の役割を担います。

本計画は、まちづくりの将来像を明らかにし、その実現に向けた基本方向等を示した「基本構想」、その方向性の実現のための具体的な事務事業計画を示す「推進計画」にて構成されます。

■第七次前橋市総合計画の概要

項目	内容
計画名	第七次前橋市総合計画
策定年度	令和 3（2021）年
計画期間	基本構想：平成 30（2018）年度～令和 9（2027）年度 推進計画：（第 3 期）令和 7（2025）年度～令和 9（2027）年度
まちづくりの体系・全体像（基本構想）	ビジョン〔基本理念〕 『めぶく。～良いものが育つまち（Where good things grow.）～』 将来都市像〔目指すまちの姿〕 『新しい価値の創造都市・前橋』
まちづくりの方向性（基本構想）	まちづくりの柱 ・教育・人づくり⇒人をはぐくむまちづくり ・結婚・出産・子育て⇒希望をかなえるまちづくり ・健康・福祉⇒生涯活躍のまちづくり ・産業振興⇒活気あふれるまちづくり ・シティプロモーション⇒魅力あふれるまちづくり ・都市基盤⇒持続可能なまちづくり
公共交通に関する内容	第 6 章 持続可能まちづくり（都市基盤） 2 交通ネットワークの充実 【目標】交通環境を整備し、市内外を様々な手段で安全で快適に移動できる生活を実現します ●持続可能でコンパクトなまちづくりと公共交通を中心とした交通ネットワークの構築 ●人と地球環境にやさしいまちづくりに向けて、移動手段として自転車を積極的に「選択」する環境構築と意識醸成 ●道路交通の円滑化による生活利便性の向上と地域間交流の促進 【現状と課題】誰もが移動しやすく、安全で環境にも配慮した公共交通機関や道路の整備を進めることが求められています ●公共交通における利用者の減少や公的負担の増加 ●自動車依存型社会の進展（100m未満の近距離の移動も自動車に依存） ●交通事業者の安定的な経営確保の必要性 ●身近な移動手段としての自転車の効率的な活用 ●道路事業が整備中心から依存道路の維持・有効活用へ移りつつあり、幹線道路整備が長期化

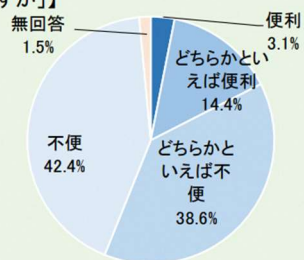
〔政策の方向性〕

(1) 公共交通の利便性を向上します

- 便利で分かりやすいバス路線への再編
- 移動困難者に対する外出支援の充実
- 案内表示の充実やバリアフリー化など利用環境の整備
- ICT を活用したバス、鉄道、タクシー、自家用車など各交通手段の結節強化

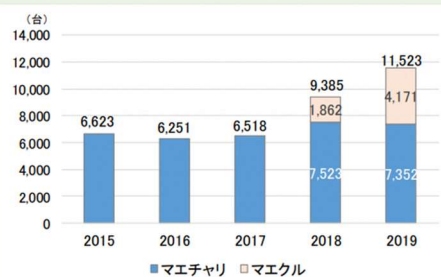
関連データ等

【市民アンケート「あなたは、前橋市内における鉄道・バスなどの公共交通機関は便利だと感じますか」】



出典: 2019 年度 市民アンケート

【貸出自転車の利用者数】



※マエクルは 2018 年から開始

出典: 事業実績

2-5-2 前橋市都市計画マスタープラン

「前橋市都市計画マスタープラン」は、都市計画法に基づく市町村の都市計画に関する基本的な方針であり、市町村が取り組む都市計画（都市づくり）の基本的な考え方となる計画です。

用途地域などの地域地区、地区計画、一般国道や都道府県道以外の道路、公園、下水道などの都市施設、土地区画整理事業、市街地再開発事業、工業団地造成事業などの市街地開発事業といった施策については、これに即した内容であることが求められます。

■前橋市都市計画マスタープランの概要

項目	内容
計画名	前橋市都市計画マスタープラン
策定年度	令和 2（2020）年 5 月
計画期間	令和 2（2020）年度～令和 17（2035）年度
まちづくりの体系・全体像（基本構想）	将来都市像「新しい価値の創造都市・前橋」 〔都市づくりの理念〕 多様な都市機能の備わったにぎわいのある市街地環境づくり 豊かな自然と地域特性を生かした潤いと安らぎのある居住環境づくり 〔都市づくりの基本目標〕 ○市の発展、都市活力の創出の中心となる都心核・地域核の形成 ○地域の発展や地域住民の生活を支える地域拠点・生活拠点の形成 ○誰もが快適に移動できる公共交通を中心とした交通ネットワークの形成 ○すべての人々が生き生きと暮らせる居住環境の形成 ○都市と自然が調和した土地利用の推進
まちづくりの方向性（基本構想）	～全体構想～ 〔政策テーマ別構想〕 1：本市の特性を踏まえた『コンパクトなまちづくり』 2：良好な自然環境を次世代に継承する『環境負荷の少ないまちづくり』 3：自然と調和し魅力を創出する『美しい景観のまちづくり』 4：地域資源を活用した『活力のあるまちづくり』 5：いつまでも住み続けることができる『安心安全なまちづくり』 〔分野別構想〕 1：土地利用の方針 2：交通体系の整備の方針 3：水と緑の整備・保全の方針 4：その他の都市施設整備の方針
公共交通に関する内容	第3章 都市づくりの基本方針 2 将来都市構造 ③交通施設網 〔鉄道交通軸〕 高齢社会や環境問題への対応が求められる中、大量輸送や速達性、定時性に優れる鉄道を鉄道交通軸と位置づけ、駅前通り等の街路空間整備や、駅周辺の生活利便施設

	の立地促進、居住環境の向上を推進することで、鉄道交通の効率化・活性化、利用率の向上を図ります。 さらには、コンパクトなまちづくりの実現に寄与する新たな交通システムの導入・整備について検討していきます。
公共交通に関する内容	[バス交通軸] 中心市街地と渋川市方面及び南部拠点・玉村町方面を結ぶ路線を広域幹線バス路線として位置付け、都市の基軸となる幹線公共交通軸を形成します。また、中心市街地エリアに、主要拠点を回遊することができる路線として、都心幹線バス路線を形成します。これらの沿線は公共交通サービスが利用しやすい環境であるため、自動車だけでなく、公共交通を含めた交通手段を選択し、日常生活を営むことができる地域を目指します 第4章 全体構想 2 分野別構想 (2) 交通体系の整備の方針 ①個別整備の方針 c.公共交通 ・地域の特性や実情に応じた公共交通体系を確立し、バス路線の再編成や新たな交通システムの導入、環境負荷に配慮した交通手段への転換など、快適な利用環境の改善を図ります。 ・鉄道は、JR群馬総社駅周辺整備等により利便性の向上を図ります。また、上毛電鉄においては、駅周辺への開発の誘導などにより利用者の増加を図り、活性化を促します。 ・バス交通においては、中心市街地と渋川市方面及び南部拠点・玉村町方面を結ぶ路線をバスの「広域幹線」として位置付け、都市の基軸となる幹線公共交通軸を形成します。また、新たな交通システム（BRT等）の導入やサイクル&バスライドの推進などについて検討を進めます。「広域幹線」を補完する地域間交通として、路線や区域毎の需要に応じた運行本数や車両の大きさなど適正なサービス水準へと再編し、持続可能な公共交通サービスを確保します。 ・公共交通不便地域については、地域主体の運行計画に基づく「地域内交通」を導入するなど、地域の利便性向上を進めていきます。 第5章 地域別構想 ②まちづくりの方針 b.交通体系の整備の方針 3) 公共交通 ○本庁地区 ・交通結節点として、総合的に公共交通の利便性向上を図ります。バスは、JR前橋駅を中心とした路線バスとマイバスによるバス路線網の充実・利便性向上に努めます。JR前橋駅をはじめとする鉄道駅は、バス路線網との連携のほか、周辺整備などにより利便性の向上に努めます。 ○上川淵・下川淵地区 ・隣接する永明・城南地区の鉄道駅への接続にも配慮した利便性の高いバス路線網の形成に努めます。また、中心市街地と前橋南部地区・玉村町方面を結ぶバス路線にお

ける公共交通軸を形成することで、様々な移動目的を支える公共交通サービスの充実を図ります。

○芳賀地区

- ・本庁地区の都心核などへのアクセス向上などにも配慮した利便性の高いバス路線網の形成に努めます。
- ・公共交通不便地域の居住者の移動支援として、住民主体のデマンドバス等の地域内交通の導入について検討を進めます

○桂萱地区

- ・上毛電鉄各駅への接続にも配慮してバスの利便性向上を図ります。また、上毛電鉄各駅においては、利用増進を目指した周辺整備などを図ります。

○元総社・東地区

- ・路線バスとマイバスとの連携により、JR新前橋駅へのアクセスにも配慮した利便性の高いバス路線網の形成に努めます。JR新前橋駅は、バス路線網とも連携しながら利便性の向上に努めます。

○清里・総社地区

- ・JR群馬総社駅へのアクセスにも配慮してバスの利便性向上を図ります。JR群馬総社駅は、利用増進を目指した周辺整備などを図ります。

○南橋地区

- ・隣接する本庁地区の都心核へのアクセスにも配慮した利便性の高いバス路線網の形成に努めます。

○永明・城南地区

- ・JR前橋大島駅や駒形駅へのアクセスにも配慮してバスの利便性向上を図ります。JR前橋大島駅と駒形駅は、バス路線網とも連携しながら利便性の向上に努め、JR駒形駅では、利用増進を目指した周辺整備などを図ります。
- ・公共交通不便地域の居住者の移動支援として、住民主体のデマンドバス等の地域内交通を導入します。

○大胡地区

- ・ふるさとバスによる、上毛電鉄大胡駅、樋越駅へのアクセスにも配慮した利便性の高いバス交通の形成に努めます。上毛電鉄大胡駅と樋越駅周辺は、利用増進を目指した整備などを図ります。

○宮城地区

- ・ふるさとバスによる、隣接する大胡地区の地域核へのアクセスや、高齢者などの移動支援、さらには環境負荷の軽減などにも配慮した利便性の高いバス交通の形成に努めます。

○粕川地区

- ・ふるさとバスによる、粕川駅等上毛電鉄各駅へのアクセスや高齢者などの移動支援、さらには環境負荷の軽減などにも配慮した利便性の高いバス交通の形成に努めます。
- ・上毛電鉄各駅は、利用増進を目指した周辺整備などを図ります。

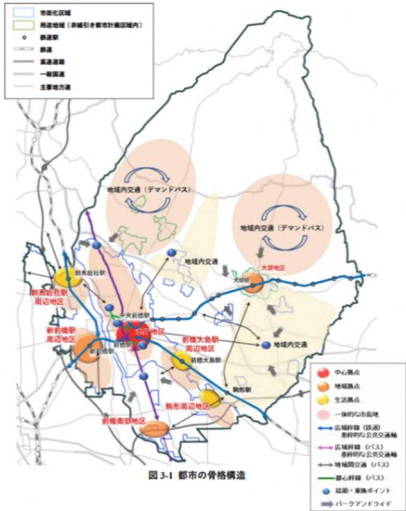
○富士見地区

- ・路線バスやるんるんバスによる、高齢者などの交通弱者の移動支援や環境負荷の軽減などに配慮した利便性の高いバス交通の形成に努めます。

2-5-3 前橋市立地適正化計画

「前橋市立地適正化計画」は、都市計画マスタープランでも掲げている「ひとつの都市として市全体が地域とともに発展するコンパクトなまちづくり」の実現に向けて、その具体的な方向性を示すために策定されました。

■前橋市立地適正化計画の概要

項目	内容
計画名	前橋市立地適正化計画
策定年度	令和 6（2024）年 7 月
計画期間	令和 6（2024）年度～令和 22（2040）年度
まちづくりの体系・全体像（基本構想）	まちづくり方針 「誰もが多様なライフスタイルで 生涯活躍できる地域連携型まちづくりの推進」
まちづくりの方向性（基本構想）	【基本方針 1】「都市機能の集積とまとまりのある居住の推進」 【基本方針 2】「利便性と効率性の高い都市機能の誘導を推進」 【基本方針 3】「公共交通の充実によるネットワーク性の向上を推進」
公共交通に関する内容	2. 現状分析と課題整理 2-1 現状の分析 (4) 交通 1) 現状 □JR 上越線、JR 両毛線及び上毛鉄道上毛線が骨格的なネットワークを形成している。 □JR 前橋駅を中心に放射上のバスネットワークが形成されているが、一部を除きバスの運行頻度が低い。 2) 本市の強みと弱み 市内の移動においては自動車で移動しやすいことが強みである一方、公共交通と自動車の所要時間差が大きく、自動車が利用できる、出来ないによって大きな移動格差が生じていることが、弱みであると考えます。 3. まちづくり方針と都市の骨格構造 3-2 都市の骨格構造  図 3-1 都市の骨格構造

4. 都市機能誘導区域

4-4 都市機能誘導施策

施策方向性② 公共交通利便性の向上

「前橋市地域公共交通計画」と連携して、便利で分かりやすいバス路線への再編、MaaSの構築・普及などの利用環境の整備及び交通手段の結節強化等により、公共交通の利便性向上と公共交通へのアクセス性の向上を図ります。また、誰もが快適に移動できる公共交通ネットワークを目指し、シェアサイクルの導入等によるまちなか回遊性の向上を図ります。

■関連事業

【公共交通利便性の向上】

便利で分かりやすいバス路線への再編、案内表示の充実など利用環境の整備及び交通手段（バス、鉄道、タクシー、自家用車、自転車等）の結節強化により、公共交通の利便性向上を図ります。

5. 居住誘導区域

5-1 区域の設定方針

(2) 公共交通沿線居住エリアの設定方法

公共交通沿線居住エリアは公共交通の利便性を享受しながら、自動車以外の交通手段でも生活できる区域を設定します。

1) 対象とする駅及びバス路線沿線

公共交通沿線居住エリアの対象とする駅及びバス路線沿線は、以下の2種類から設定します。

○前橋市地域公共交通計画の「広域幹線」、「都心幹線」

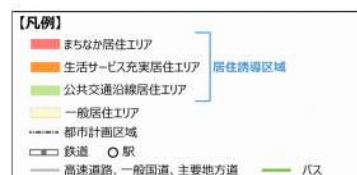
○運行本数が一定以上かつ沿線の人口密度が一定以上のバス路線

2) 境界線の設定の考え方

公共交通沿線居住エリアでは、公共交通の利便性を活かすことに視点をいた範囲であることから、中心駅または対象となるバス路線の沿線からのアクセス圏域に基づき設定します。

○鉄道駅までのアクセス圏域：500mを基本として設定

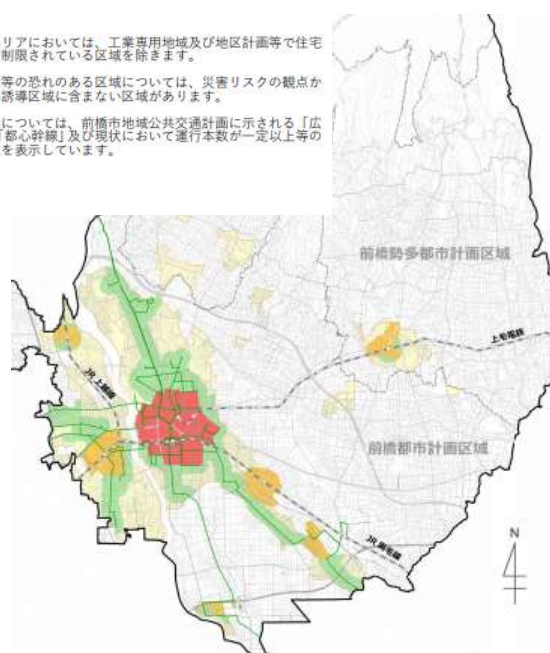
○バス路線までのアクセス圏域：300mを基本として設定



※各居住エリアにおいては、工業専用地域及び地区計画等で住宅の建築が制限されている区域を除きます。

※土砂災害等の恐れのある区域については、災害リスクの観点から、一部誘導区域に含まない区域があります。

※バス路線については、前橋市地域公共交通計画に示される「広域幹線」「都心幹線」及び現状において運行本数が一定以上等のバス路線を表示しています。



2-5-4 第3期県都まえばし創生プラン（前橋市デジタル田園都市構想総合戦略）

「第3期県都まえばし創生プラン」は、本市における地方創生を実現すべく、人口減少問題の解決に向けた取組を進める中で、前計画の取組の継続実施と併せて、それぞれの取組について、デジタルの力を活用した深化・加速化を図るべく、前橋版の人口ビジョン・総合戦略として策定しました。

■第3期県都まえばし創生プランの概要

項目	内容															
計画名	第3期県都まえばし創生プラン（前橋市デジタル田園都市構想総合戦略）															
策定年度	令和6（2024）年3月															
計画期間	令和6（2024）年度～令和9（2027）年度															
まちづくりの方向性（基本構想）	1 施策の方向 （1）デジタルの力を活用した地方の社会課題解決 ①地方に仕事をつくる ②人の流れをつくる ③結婚・出産・子育ての希望を叶える ④魅力的な地域をつくる （2）デジタル実装の基礎条件整備 ①デジタル基盤の整備 ②デジタル人材の育成・確保 ③誰一人取り残されないための取組 2 地域ビジョンの実現に向けた施策間、地域間連携 （1）モデル地域ビジョン （2）重要施策分野 （3）施策間連携 （4）地域間連携															
公共交通に関する内容	4 基本目標達成に向けた施策 《具体的な施策と重要業績指標》 ① 誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくり 人口減少社会においても、地域の活力が維持され、本市に暮らす誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。デジタル技術を活用したMaaSの推進をはじめ、地域の移動手段の維持・確保や合理的な土地利用の推進によってコンパクトで利便性の高いまちづくりを進めます。 また、再生可能エネルギーの導入や循環型社会の形成等の取組を通じて2050ゼロカーボンシティまえばしを目指すとともに、民間企業を含めたさまざまな関係者とのパートナーシップによりSDGsの目標達成に向けた持続可能なまちづくりを目指します。 <table><tr><th>重要業績指標（KPI）</th><th>現状値 （2022年度）</th><th>目標値 （2027年度）</th></tr><tr><td>立地適正化計画都市機能誘導区域内の公示価格平均</td><td>78,100円</td><td>81,200円</td></tr><tr><td>公共交通（JR、上毛電鉄及び委託路線バス）の利用者数（年間）</td><td>16,705千人</td><td>20,194千人</td></tr><tr><td>温室効果ガス（Co2）排出量（年間）</td><td>212.1t/Co2</td><td>183.7t/Co2</td></tr><tr><td>前橋市SDGsパートナー制度登録団体数</td><td>99団体</td><td>300団体</td></tr></table>	重要業績指標（KPI）	現状値 （2022年度）	目標値 （2027年度）	立地適正化計画都市機能誘導区域内の公示価格平均	78,100円	81,200円	公共交通（JR、上毛電鉄及び委託路線バス）の利用者数（年間）	16,705千人	20,194千人	温室効果ガス（Co2）排出量（年間）	212.1t/Co2	183.7t/Co2	前橋市SDGsパートナー制度登録団体数	99団体	300団体
重要業績指標（KPI）	現状値 （2022年度）	目標値 （2027年度）														
立地適正化計画都市機能誘導区域内の公示価格平均	78,100円	81,200円														
公共交通（JR、上毛電鉄及び委託路線バス）の利用者数（年間）	16,705千人	20,194千人														
温室効果ガス（Co2）排出量（年間）	212.1t/Co2	183.7t/Co2														
前橋市SDGsパートナー制度登録団体数	99団体	300団体														

【主な取組（重点事業No.）】

- ・公共交通の利便性向上（No.44）

（第七次前橋市総合計画「重点事業集 2020 年度版」より）

重点事業 No.46	公共交通の利便性向上	2020年度 予算額	521,912 千円
担当課	交通政策課	総合戦略 (基本目標・施策)	4-①
概要	便利で分かりやすいバス路線への再編、案内表示の充実など利用環境の整備及び交通手段（バス、鉄道、タクシー、自家用車、自転車等）の結節強化により、公共交通の利便性向上を図る。		

1 成果指標

内容	単位	計画策定時 (2016年度)	実績値 (2018年度)	目標値 (2020年度)
市民1人あたりの公共交通（JR、上毛電鉄及び委託路線バス）の利用回数（年間）	回	57	58.7	58

2 個別事業

取組内容	
① 公共交通維持活性化事業	＜予算額： 471,267 千円＞
委託路線バスへの運行費補助及び車両購入等を通じ、身近な公共交通機関であるバス路線を整備するとともに、上毛線沿線の地域住民の交通手段を確保するため、上毛電鉄に対し、必要な公的支援を行い運行の継続を図る。	
○活動指標：委託路線バス及び上毛電鉄の年間利用者数【目標値：2,575,000人】	
② 地域公共交通再生事業	＜予算額： 48,445 千円＞
前橋市地域公共交通網形成計画に基づき、バス路線を中心とした市内公共交通の再構築を図るとともに、MaaS環境の構築に向け、交通事業者や民間企業との連携を強化し、公共交通の利便性向上を図る。 また、バスマップや公共交通乗り方ガイドの配布、出前講座の開催等を通じ、市民や企業等への情報発信を強化するとともに、公共交通の利用を促進する。	
○活動指標：広域幹線バス（前橋－渋川線、新町玉村線）の利用者数【目標値：830,000人】	
③ 次世代モビリティ活用推進事業	＜予算額： 2,200 千円＞※地方創生推進交付金（2019年～2021年）
バスの運転手不足に対応するために、基幹的なバス区間で実施する自動運転の実証にかかる運行費や、道路等周辺環境の改善等に係る費用の一部負担を通じ、社会実装に向けた検討を進める。	
○活動指標：実証実験の結果得られた課題解消案の作成数【目標値：1件】	

3 市民、企業・団体、行政の役割

市民	企業・団体	行政
・公共交通の積極的な利用	・行政と連携した公共交通の利便性向上の検討 ・通勤手段としての公共交通の利用推奨	・まちづくりと連動した交通ネットワーク構築の方針策定と情報発信 ・公共交通の利便性向上に向けた各種施策の実施

まちづくりの方向性	第6章	持続可能なまちづくり	重点テーマ	都市機能の充実と安全・安心の確保
重点施策	2	交通ネットワークの充実		
施策の方向性	(2)	自転車を気軽に利用して、安全に移動できるまちを実現します		

2-5-5 前橋市市街地総合再生計画

「前橋市市街地総合再生計画」は、市街地における開発において、民間事業者等が組みやすい環境を整えるとともに、様々な施策の連携によって、中心市街地の都市機能の誘導・更新、及び施設整備を図るための方針・計画内容を示すことを目的として策定しました。

■前橋市市街地総合再生計画の概要

項目	内容
計画名	前橋市市街地総合再生計画
策定年度	令和元（2019）年 7 月
計画期間	令和元（2019）年度～令和 6（2024）年度
まちづくりの体系・全体像（基本構想）	[計画地区の再生目標] ～多様で魅力ある市民生活共生環境と新たな交流環境の創造～ [まちづくりのコンセプト] ■いつまでも住み続けられるまち ■新しい価値観を見出せるまち ■誇りと愛着を持てるまち
公共交通に関する内容	3. 計画地区の課題 （2）計画に係る現況 ■交通 ・本市の玄関口である JR 前橋駅は、高崎、桐生・小山方面とつながる地域交通の拠点であり、かつ首都圏等の各地と往復するための本市のターミナル駅としての役割を担っている。 ・大胡を経由して桐生方面に向かう観光路線でもある上毛電鉄中央前橋駅が、けやき並木通り等を介して JR 前橋駅と 1 km 以内という位置関係にある。 ・地域内のバス運行は、6 つのバス会社による一般路線に加え、循環バス「マイバス」が運行し、さらに JR 前橋駅と上毛電鉄中央前橋駅の間を両鉄道の運行ダイヤに合わせたシャトルバスが運行しているなど、多くのバスルートが形成されている。 ・世帯当たり自動車保有台数は非常に高い。 ・交通量調査路線において最も混雑度が高い路線は主要地方道前橋大間々桐生線であるが、慢性的な混雑状態を表す数値は超えていない。 ・JR 前橋駅前けやき並木通り、主要地方道前橋赤城線、国道 50 号等の主要な基幹道路が結節する本町二丁目交差点は、市中心部における極めて重要な交通施設であるが、形状が複雑で交通量も多いため、交通量ピーク時は一時的に渋滞が発生しており、交差点の進行方向に係る規制もかけられている。 ・本町二丁目交差点を含め JR 前橋駅から県庁を結ぶけやき並木通りは、生活道路としての性格を併せ持つ主要動線であるが、道路構造・施設状況から歩行者の横断が容易でない。

	(3) 計画地区の課題 ■交通 今後、自動車を運転することが困難な人が多くなるにもかかわらず、自動車依存度は高く、移動困難者が増えることが懸念される。 ↓ 多世代に渡り安全・安心に徒歩や自転車で暮らせるまち、公共交通利用促進の構造づくり
公共交通に関する内容	4. 地区設備の基本方針 4-2 市街地構成要素の位置づけと地区形成イメージ ②各構成要素の位置づけ ■軸的要素 [ハ展通り軸の位置づけ] JR 前橋駅と中央前橋駅間を結び、中心商業地へのアプローチの重要性の高いハ展通り（前橋・赤城線）と中央前橋駅周辺を含むその沿道一帯を「交通結節軸」として位置づける。 ・ JR前橋駅～中央前橋駅間の自動運転/バス交通の実証実験により、駅利用者の利便性向上及び、結節軸としての可能性と広がりを持たせたゾーン ■拠点要素 [JR 前橋駅周辺の位置づけ] JR 前橋駅の利便性向上と公共交通の利用増進を図るとともに、本市の玄関口にふさわしい魅力の高い「交通拠点」として位置づける。 ・ 本市の基幹鉄道駅である JR 前橋駅や市内のバス路線、長距離バスの発着など交通ネットワークの中心地として前橋を発信するゾーン ・ より多くの市民の生活を支える機能の導入とともに、多くの来街者を迎える玄関口、本市の顔として高い利便性・滞留性を備えた、にぎわいある多様な交流空間ゾーン 4-3 地区整備の方針 (1) 重点施策区域の設備方針 ■軸的要素 [ハ展通り軸の設備方針] ○交通結節機能の強化 ・ 都心幹線バスの運行に伴う上毛電鉄との乗り継ぎに係る利便性向上のため、中央前橋駅のターミナル機能の充実により、結節機能の強化を図る。 ・ 郊外からのバス路線や上毛電鉄・JR 線からのアクセス機能を強化するため、都心幹線バスの充実により、重点施策区域内の回遊性を高める。 ・ 中央前橋駅周辺の整備 ■拠点要素 [JR 前橋駅周辺の整備方針] ○駅の利便性の向上と鉄道利用増進のための施設整備 ・ 地域公共交通網形成計画等の関連施策に基づき、交通ネットワーク拠点としての整備を図る。 ・ 鉄道交通の結節性・利便性を高めるためのシステム導入や施設整備を図る。

5. 地区整備計画

5-2 地区施設の整備に関する計画

重点施策区域	重点施策区域の整備に関わる交通関連施設
整備テーマ	交通ネットワークと移動環境の整備
整備指針	コンパクトシティプラスネットワークの実現に向け、生活に必要な都市機能の誘導や景観づくり、コミュニティ形成などとともに、中心市街地と市内各地域を結ぶ充実した交通ネットワークと、中心市街地における移動しやすい環境整備を図る。
交通ネットワーク環境	【交通システム】 - J R前橋駅及び中央前橋駅のアクセス向上と、乗り継ぎの円滑化のための結節機能の強化 - J R前橋駅と中央前橋駅間の連絡強化、まちづくり効果を高める新たな交通システムの導入検討 - 地域公共交通網形成計画に基づく市内公共交通ネットワークの再編 【バス交通】 - 市内公共交通の基軸となる広域幹線バスの明確化 - まちなか回遊性の向上に向けた都心幹線バスの設定 - J R前橋駅と中央前橋駅を結ぶシャトルバスの延伸と運行時間の延長、及び自動運転実験走行

2-5-6 前橋市住生活基本計画

「前橋市住生活基本計画」は、住生活基本法における新たな施策転換に対応しつつ、市民のニーズに応じた良質な住宅の供給や、防災、防犯、福祉や環境問題に配慮した住宅の供給が求められている状況を踏まえて、群馬県住生活基本計画（群馬県住宅マスタープラン）との整合を図りつつ、本市の特性に応じた、総合的かつ計画的な住宅施策を推進するために策定しました。

■前橋市住生活基本計画の概要

項目	内容
計画名	前橋市住生活基本計画
策定年度	令和 3（2021）年 3 月
計画期間	令和 3（2021）年度～令和 7（2025）年度
まちづくりの体系・全体像（基本構想）	<基本理念> 恵み豊かな自然と調和した個性の中で豊かな心を育み、すべての市民が元気で快適に暮らすことができる住生活を実現する。 <テーマ> ～環境と人へのやさしさに包まれた豊かな心を育む住まい・まちづくり～
まちづくりの方向性（基本構想）	基本目標 1 安全・快適で良質な住まい・まちづくり <基本方針> 1 災害に強い住宅・住環境の実現 2 住み続けられる良質な住まいの供給促進 3 分譲マンションの管理の適正化 基本目標 2 すべての市民にやさしい住まい・まちづくり <基本方針> 4 すべての市民が安心・快適に暮らせる住まいの確保 5 高齢者等の安全・安心な暮らしの支援 基本目標 3 豊かな自然環境と地域特性を生かした住まい・まちづくり <基本方針> 6 自然環境との調和に配慮した住環境の形成 7 地域特性を生かした愛着の持てる住環境の形成 8 市民の協働による持続可能な住環境の形成
公共交通に関する内容	1-3 住環境 (5) 交通（利便性） ○【鉄道】両毛線、上越線の JR2 路線と上毛電鉄があります。 ② 鉄道 両毛線、上越線の JR2 路線と上毛電鉄があり、JR2 路線には前橋駅、新前橋駅、前橋大島駅、駒形駅、群馬総社駅の計 5 駅、また上毛電鉄には合計 14 駅があります。 ③ バス 群馬県バス協会ではバス会社と協力して、前橋駅から約 1 km の範囲の料金を 150 円とし、前橋駅からの近距離バス運賃の割高感を解消することにより、利用者の拡大を図っています。また、前橋市コミュニティバス（マイバス）を、中心市街地（銀座通り）を共通区間とする「北循環」と「南循環」の他、「西循環」と「東循環」の 4 ルートにおいて運行しています。

2-5-7 前橋市アーバンデザイン

これからのまちづくりは、実際のまちの利用者である住民や企業等の民間の主体性を重視する必要があり、まちづくりの理念を官民で共有する必要があります。長期的な視点に立ったまちづくりビジョンをステークホルダー間で共有することで民間が主体的にまちづくりに携われるきっかけとなるようにするために策定をしました。

■前橋市アーバンデザインの概要

項目	内容
計画名	前橋市アーバンデザイン
策定年度	令和元年9月
計画期間	—
まちづくりの体系・全体像 (基本構想)	1. 道路空間の利活用 けやき並木通り 2. 水辺空間の利活用 広瀬川 3. 道路空間の再配分による利活用 リンク 4. 低未利用地の利活用 緑の広場 中心市街地地図
公共交通に関する内容	1. 街路ネットワークの長期プラン 歩行者・自転車がまちの中をより便利により安全に移動できることを目標とします。 改善イメージ ① まちなかの通過交通を外周へ誘導し、交通量を減らす ② 街路空間を積極的に活用して複数交通手段対応の主要街路とする ③ 2 次的街路(裏通り)を改善し、人の往来を促進する ④ グリーン・ループをつくり回遊性を高める ⑤ 交通網に絡めた結節点としての拠点をつくる

2-5-8 まえばしスマイルプラン～老人福祉計画・第9期介護保険事業計画～

「まえばしスマイルプラン～老人福祉計画・第9期介護保険事業計画～」は、老人福祉法に基づく「老人福祉計画」と介護保険法に基づく「介護保険事業計画」を一体的に策定する計画であり、本市の高齢者福祉・介護に関わる政策全般にわたる行政計画として策定しました。

■第9期「まえばしスマイルプラン」の概要

項目	内容
計画名	まえばしスマイルプラン～老人福祉計画・第9期介護保険事業計画～
策定年度	令和6（2024）年
計画期間	令和6（2024）年度～令和8（2026）年度
基本理念	1 生きがいのある生活を送るための施策の充実 2 いきいきとした生活を送るための健康づくりの推進 3 住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせる生活支援体制の確立 4 利用者のサービス選択の自由と権利擁護のための仕組みづくり
公共交通に関する内容	第5章 施策目標に向けた具体的な取組 6) とともに生きるまちづくり （1）ひとにやさしいまちづくりの推進 〔路線バスの利便向上〕 ■概要 持続可能な公共交通ネットワークの再構築を図るため、前橋市地域公共交通計画を策定し、交通再編の有効化及び他サービスと連携した MaaS（マース）環境の構築を進めています。 ■課題 バスの運転手不足による路線の減便・廃線が生じているほか、バス路線を維持するための行政 補助額も増加しています。また、公共交通不便地域における移動手段の確保や利用者目線の分かりやすい情報案内を行うこと等も課題となっています。 ■今後の方針 公共交通網の抜本的な再編を実施し、都心幹線の横展開、広域幹線の充実化、幹線道路までの移動手段の整備、異なる公共交通の利用に係る利便性の向上を進めます。また、GunMaaS の高度化により、利用しやすい公共交通を推進します。 〔マイタク（でまんど相乗りタクシー）の運行〕 ■概要 移動困難者対策として、75 歳以上の高齢者、65 歳以上で運転免許証を所有していない人、障害者や要介護等認定者、運転免許証返納者等に対してタクシー運賃の一部を支援することで、外出の 機会を創出しています。 ■課題 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、高齢者の外出自粛等の影響により利用回数が減少傾向にあります。また、郊外部に居住する長距離移動者が利用しにくいという課題もあります。 ■今後の方針 市内全体の公共交通網との整合性を加味しつつ、長距離移動や相乗りに対する支援の拡充について検討し、さらなる利用者の利便性向上を図ります。

3 前橋市の地域公共交通を取り巻く現状・課題の整理（中間）

前橋市の地域公共交通における現状及び課題は以下のとおりです。

地域及び地域公共交通の現状
＜①人口動態＞ - 令和 6 年 1 月時点の人口は約 33 万人人となっており、微減傾向が続いています。2040 年（令和 22 年）には国の推計で約 29.5 万人に減少する見込みとなっていますが、第 3 期まえばし創生プランの将来展望では、各種の対応策を講じ、約 30 万人を目指すとしています。 - 高齢化率は、令和 2 年時点で 30.2%、2040 年（令和 22 年）には推計で 37.6%に上昇する見込みで、公共交通による移動手段の確保が必要となる交通弱者は今後も増加していくことが見込まれます。
＜②人の動き＞ - 通勤目的と通学目的で若干の違いは見られるものの、市内の移動だけでなく、市外への移動も見られます。市内は本庁地区への移動が多く見られます。一方で、市外から市内への流入も多く見られます。そのため、市内の移動だけでなく、広域的な移動手段の確保についても留意していく必要があります。 - 買物目的と通院目的は、地区内及び地区外施設への午前中の移動ニーズが高い状況となっています。そのため、各地区から地区内及び地区外的主要施設への移動手段を検討していく必要があります。
＜③主要施設の分布＞ - 清里・総社地域、南橋地域、元総社・東地域、本庁地域を中心に施設の立地が多くなっています。一方で、富士見地域や宮城地域のように、市の北部は施設の立地が少なくなっています。 - 施設までの移動手段の確保について留意していく必要があります。
＜④自動車保有状況、高齢者の自動車運転＞ 人口の微減傾向に伴い、自動車保有台数も微減傾向が続いており、1 世帯あたりの自家用車保有台数は 1.17 台となっています。群馬県平均は約 1.3 台となっており、若干低い状況となっています。
＜⑤地域公共交通の運行状況、利用状況、ニーズ＞ - 路線バスは交通事業者 6 社が自主路線と補助路線の運行を担っています。前橋駅や新前橋駅を起点として放射状ネットワークで市内外を運行しています。計 34 路線を運行し、路線数や系統数が多くなっており、系統別に見ると、運行本数が少ない系統も見られます。また、市街地を循環するマイバス、公共交通空白地域をカバーするデマンドバスが運行しています。コロナ禍の影響で減少した路線について、その多くが回復傾向にある一方で、一部の路線では減少傾向にある路線も見受けられます。 - 鉄道は前橋駅が 1 日当たり約 8,800 人の利用、新前橋駅が 1 日当たり約 5,100 人の利用となっており、本市の重要な交通結節点となっています。 - 各公共交通は、通勤、買物、通院などの目的で利用されているものの、多くの市民はレジャー目的で、年に数日程度の利用が多くなっている。利用が少ない理由として、運行本数の少なさ、バス停や乗降ポイントまでの距離などがあげられており、これらのサービス水準の向上が求められている。
＜⑥全国的な公共交通事業者の現状＞ - 自動車（バス・タクシー）の運転業務の賃金水準は低く、人手不足が深刻化しており、人手不足を要因とする路線バスの休廃止などの動きが拡大していくおそれがあります。 - 交通分野において、多くの事業者でキャッシュレス決済対応や運行管理、車両・設備管理、労務管理等について、DX の取組に遅れが生じています。
＜⑦まちづくり（上位・関連計画）＞ - 総合計画では、公共交通の利用者の減少、公的負担の増加、自動車依存社会の進展などから、便利で分かりやすいバス路線への再編、ICT を活用した各交通手段の結節強化などを示しています。 - 都市計画マスタープランでは、「広域幹線」「地域間交通」「地域内交通」の位置づけ、地域の特性や実情に応じた公共交通体系の確立、バス路線の再編、新たな交通システムの導入検討を示しています。 - 立地適正化計画では、都市機能誘導区域における公共交通の利便性向上、居住誘導区域における自動車以外の交通手段でも生活できる区域の設定などを示しています。 - これらの上位・関連計画と連携した公共交通施策の展開が必要となります。
＜⑧現行計画の評価検証＞ - 幹線バス路線の明確化は、運行に係るリソース不足を踏まえて、利便性向上のみならず、既存の運行体制確保の観点も踏まえて、対象路線を見直した上で継続的に実施することが必要となります。 - JR 群馬総社駅西口の開設、鉄道駅や主要バス停における結節強化など、拠点へのアクセス性向上について、引き続き、取り組むことが必要となります。 - MaaS などによるデータの取得、新技術を活用した交通環境の高度化などの利便性向上について、引き続き、取り組むことが求められています。 - 利用促進の施策について、引き続き、取り組むことが求められています。

課題 1：持続可能なまちづくりを推進し、まちに賑わいを創出する質の高い基軸の設定

- 人口減少社会の中で、公共交通利用者の減少が予想され、公共交通サービスの低下、市民負担割合の増加、更なる公共交通サービスの低下など負のスパイラルを招く可能性がある。
- 市民アンケート結果では、ニーズに対応することで公共交通の利用頻度増加の可能性が示されており、JR 各線、上毛電鉄に加え、信頼のできるサービス水準にした公共交通軸を設定することが必要である。
- このような取り組みにより沿線の開発や居住を誘導、都市の賑わいを創出につなげ、立地適正化計画を具体化する必要があると考える。

課題 2：中高生の交通事故や送迎の負担、高齢化の進展など地域課題を解決し生活を支援する施策展開

- 他地域に比べ、中高生の公共交通利用（とりわけバス利用）が少なく、自転車による通学が顕著であり、交通事故増加につながっている可能性がある。また高齢化の進展も含め、自家用車による送迎負担が顕著になっている。
- 供給力に課題がある中、市内一円を課題 1 で記載するようなサービス提供を行うことは困難であるため、メリハリをつけ、郊外部では地域の実情に応じた生活を支援する公共交通サービスを形成していく必要がある。

課題 3：社会情勢や公共交通事業者を取り巻く環境に対応した地域公共交通の再編

- 全国的に公共交通事業者の人員不足が深刻化し、本市においても例外ではない状況で、限られた乗務員や車両などのリソースを効率的かつ効果的に運行に適用していくことが必要となる。
- 本市内では複数の交通事業者が運行しており、本町ラインのように交通事業者と行政が一体となり、市民に対して使いやすい公共交通サービスを提供していく必要がある。

課題 4：多様な世代が利用できる利用環境の整備及び利用促進の継続的な推進

- 公共交通の再編に伴い、拠点における待合環境の改善、鉄道駅等の拠点やバリアフリー化、運賃施策など、引き続き利用者が公共交通を利用しやすい環境を整備することが必要となる。
- また、若年層、通勤者、高齢者など多様な世代に対する情報提供や利用促進策について、今後も継続して実施していくことが必要
- 公共交通を全く意識していない市民、利用したことが一度もない市民も一定数存在することから、そうした層を取り込む施策が必要

課題 5：関連施策（DX、自転車、福祉、環境、道路渋滞、観光等）との連携

- 上位関連計画では、自転車施策、福祉施策、DX を通じた移動手段の確保などを含め、輸送資源の総動員による地域公共交通を検討することが求められている。
- また、現行計画において DX 事業と連携した公共交通の高度化や新たな公共交通システムの導入を位置付けており、GunMaaS を展開しているところであるが、継続して交通分野以外の他分野との連携により公共交通の価値を高めていく必要がある。

